

# 福岡大学学科履修規程

## 第 1 章 総 則

第 1 条 卒業資格を得るための履修は、学則第31条から第34条までの規定及びこの履修規程の定めるところによる。

## 第 2 章 科 目 の 履 修

第 2 条 (抜粋)

人文学部 (文化学科、歴史学科、日本語日本文学科、教育・臨床心理学科、英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科) の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

### 人文学部 文化学科 令和 2 年度入学生 (LC20台)

#### 【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計 24 単位以上	}	合計 44 単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上				
		自然科学…………… 4 単位以上				
(1) 共通教育科目	外国語科目	第 1 外国語…………… 8 単位以上	計 16 単位以上	}	合計 44 単位以上	
		第 2 外国語…………… 8 単位以上				
		保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目					
(2) 専門教育科目	必修科目	…………… 20 単位	計 8 単位以上	}	合計 72 単位以上	
		選択必修科目				思想文化科目群…………… 2 単位以上
	選択科目	…………… 2 単位以上	計 36 単位以上			計 52 単位以上
		思想文化科目群…………… 16 単位以上				
	社会文化科目群…………… 16 単位以上					
	文化学共通科目群…………… 4 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目					
	専門教育科目	…………… 計 12 単位以上				
	関連教育科目					

(注) 第 2 外国語は、同一外国語で 8 単位を修得しなければならない。8 単位を超えて修得した第 2 外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

### 卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第 2 外国語は同一外国語で 8 単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 71 を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 令和2年度入学生 (LC20台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育科目	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	西洋史A	2	西洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
	西アジアの文化A	2	西アジアの文化B	2	日本文化A	2	日本文化B	2	
	芸術学A	2	芸術学B	2	日本教育史A	2	西洋教育史A	2	
	政治学A	2	政治学B	2	日本憲法A	2	政治学A	2	
	法政商教心育論A	2	法経済社会学A	2	日本経済社会学B	2	商教心育論A	2	
	法政商教心育論B	2	社会教育・課程論	2	社会心理学A	2	商教心育論B	2	
	法政商教心育論C	2	基礎数学	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
	数理学入門	2	基礎数学	2	統計入門	2	文化人類学C	2	
自然科学	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球科学入門	2		
総合科目	地球環境と文化	2	生命・健康と医療現代を生きる	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2	
学修科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
専門教育科目	必修科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
		文化学科で学ぶI	2	文化学演習I	2	文化学演習III	2	文化学演習VI	2
	文化学科で学ぶII	2	文化学演習II	2	文化学演習IV	2	文化学演習VII	2	
	基礎演習I	2							
	基礎演習II	2							
	選択必修科目	思想文化科目群	哲学の基礎入門	2					
	社会文化科目群	理論社会学	2						
	思想文化科目群	古代ギリシア哲学	2	中国の思想史	2	思想文化文献講読I	2		
	社会文化科目群	中世ヨーロッパ哲学	2	日本の美術史	2	思想文化文献講読II	2		
	文化学共通科目群	近代ヨーロッパ哲学	2	西ヨーロッパ美術史	2	思想文化文献講読III	2		
文化学共通科目群	現代哲学	2	西日本美術史	2	思想文化文献講読IV	2			
文化学共通科目群	社会調査入門	2	心理学特講	2	文化心理学	2			
文化学共通科目群	社会人類学	2	社会心理学	2	文化心理学A	2			
文化学共通科目群	社会心理学	2	都市社会学	2	文化心理学B	2			
文化学共通科目群	比較社会学	2	現代社会学	2	文化心理学C	2			
文化学共通科目群	比較社会学	2	社会学方法論演習	2	文化心理学D	2			
文化学共通科目群	文化学特講	2	マス・コミュニケーション論	2	自然地理学B	2			
文化学共通科目群	社会思想史	2	メディア文化論	2					
文化学共通科目群	情報処理実習	2	応用倫理学	2					
文化学共通科目群	情報処理実習	2	自然地理学A	2	卒業論文	6			
文化学共通科目群	ギリシア語A	2	言語学概論A	2	図書館概論	2			
文化学共通科目群	ギリシア語B	2	言語学概論B	2	図書館資料論	2			
文化学共通科目群	ラテン語A	2	比較文学概論	2	図書館概論	2			
文化学共通科目群	ラテン語B	2	[東洋の文化と歴史A]	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2			
文化学共通科目群	生涯学習概論A	2	[東洋の文化と歴史B]	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2			
文化学共通科目群	生涯学習概論B	2	[東洋の文化と歴史C]	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2			
文化学共通科目群	[日本の文化と歴史A]	2	東洋の文化と歴史D	2	[ヨーロッパ地域文化特講D]	2			
文化学共通科目群	[日本の文化と歴史B]	2	東洋の文化と歴史A	2	東アジア相互理解演習A	2			
文化学共通科目群	日本の文化と歴史C	2	[西洋の文化と歴史A]	2	東アジア相互理解演習B	2			
文化学共通科目群	日本の文化と歴史D	2	[西洋の文化と歴史B]	2					
文化学共通科目群	博物館概論	2	[西洋の文化と歴史C]	2					
文化学共通科目群	博物館教育論	2	西洋の文化と歴史D	2					
文化学共通科目群	博物館資料論	2							
文化学共通科目群	中国言語文化概説A(文学)	2							
文化学共通科目群	神経・生理心理学	2							
文化学共通科目群	司法・犯罪心理学	2							
文化学共通科目群	心理学統計学	2							
文化学共通科目群	学習・言語心理学	2							
文化学共通科目群	感情・人格心理学	2							
文化学共通科目群	概説日本史	2							
文化学共通科目群	概説外国史	2							
文化学共通科目群	概説法律学	2							
文化学共通科目群	概説政治学	2							
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 平成31年度入学生 (LC19台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計44単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目	…………… 20 単位	計 8 単位以上	}	合計72単位以上
		選択必修科目			
		社会文化科目群…………… 2 単位以上			
	選択科目	思想文化科目群…………… 16 単位以上	計36単位以上	}	
社会文化科目群…………… 16 単位以上					
文化学共通科目群…………… 4 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目				}
	専門教育科目	…………… 計12単位以上			
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 平成31年度入学生 (LC19台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	西洋史A	2	西洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
	西アジアの文化A	2	西アジアの文化B	2	日本文化A	2	日本文化B	2	
	芸術学A	2	芸術学B	2	日本教育史A	2	西洋教育史A	2	
	政治学A	2	政治学B	2	日本憲法A	2	政治学A	2	
	法政商教心育論A	2	法経済社会教育の原理・課程論A	2	日本経済社会学B	2	商教地育論A	2	
	法政商教心育論B	2	法経済社会教育の原理・課程論B	2	日本社会学B	2	商教地育論B	2	
	法政商教心育論C	2	法経済社会教育の原理・課程論C	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
	法政商教心育論D	2	法経済社会教育の原理・課程論D	2	文化人類学B	2	文化人類学C	2	
自然科学	数学入門A	2	基礎数学A	2	統計入門A	2	物理科学入門A	2	
	数学入門B	2	基礎数学B	2	統計入門B	2	物理科学入門B	2	
総合科目	地球環境と文化	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2	
	福大生のためのキャリアデザイン	2	現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
育外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンス・イングリッシュⅠ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンス・イングリッシュⅡ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1				
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	△ドイツ語ⅡA	2				
		△ドイツ語ⅠB	2	△ドイツ語ⅡB	2				
		△フランス語ⅠA	2	△フランス語ⅡA	2				
		△フランス語ⅠB	2	△フランス語ⅡB	2				
		△中国語ⅠA	2	△中国語ⅡA	2				
		△中国語ⅠB	2	△中国語ⅡB	2				
△スペイン語ⅠA	2	△スペイン語ⅡA	2						
△スペイン語ⅠB	2	△スペイン語ⅡB	2						
△朝鮮語ⅠA	2	△朝鮮語ⅡA	2						
△朝鮮語ⅠB	2	△朝鮮語ⅡB	2						
△ロシア語ⅠA	2	△ロシア語ⅡA	2						
△ロシア語ⅠB	2	△ロシア語ⅡB	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ	2					
単位互換科目	他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	文化学科で学ぶⅠ	2	文化学演習Ⅰ	2	文化学演習Ⅲ	2	文化学演習Ⅴ	2
		文化学科で学ぶⅡ	2	文化学演習Ⅱ	2	文化学演習Ⅳ	2	文化学演習Ⅵ	2
	選択必修科目	思想文化科目群		哲学の基礎	2				
		社会文化科目群		芸術学入門	2				
	選択科目	思想文化科目群		理論社会学	2				
		社会文化科目群		心理文化学	2				
		思想文化科目群		古代ギリシア哲学	2	中国の思想	2	思想文化文献講読Ⅰ	2
		社会文化科目群		中世ヨーロッパ哲学	2	日本の美術	2	思想文化文献講読Ⅱ	2
	文化学共通科目群	文化学共		近代ヨーロッパ哲学	2	西洋美術史	2	思想文化文献講読Ⅲ	2
		通科目群		現代哲学	2	西洋美術史論	2	思想文化文献講読Ⅳ	2
関連教育科目	科学思想史A	2	社会学調査入門	2	応用心理学	2	文化心理学A	2	
	科学思想史B	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学B	2	
	科学思想史C	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学C	2	
	科学思想史D	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学D	2	
	科学思想史E	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学E	2	
	科学思想史F	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学F	2	
	科学思想史G	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学G	2	
	科学思想史H	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学H	2	
	科学思想史I	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学I	2	
	科学思想史J	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学J	2	
	科学思想史K	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学K	2	
	科学思想史L	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学L	2	
	科学思想史M	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学M	2	
	科学思想史N	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学N	2	
	科学思想史O	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学O	2	
	科学思想史P	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学P	2	
	科学思想史Q	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学Q	2	
	科学思想史R	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学R	2	
	科学思想史S	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学S	2	
	科学思想史T	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学T	2	
科学思想史U	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学U	2		
科学思想史V	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学V	2		
科学思想史W	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学W	2		
科学思想史X	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学X	2		
科学思想史Y	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学Y	2		
科学思想史Z	2	社会学人類学	2	応用心理学	2	文化心理学Z	2		
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 平成30年度入学生 (LC18台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}		
	第2外国語…………… 8 単位以上				
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 28 単位		計72単位以上	}	総計128単位以上
	選択科目	思想史科目群…………… 16 単位以上			
		比較文化科目群…………… 16 単位以上			
		文化学共通科目群…………… 4 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	
専門教育科目……………					
関連教育科目					

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 平成30年度入学生 (LC18台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	東洋史A	2	東洋史B	2	本邦史A	2	本邦史B	2	
	外国史論A	2	外国史論B	2	西日西文A	2	西日西文B	2	
社会科学	法政経商学A	2	法政経商学B	2	日本国憲法A	2	法政経商学A	2	
	政治学A	2	政治学B	2	政治学概論A	2	政治学概論B	2	
自然科学	数学A	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2	
	物理の地球環境	2	自然界と物質の科学	2	生活と環境の科学	2	地球圏科学入門	2	
総合科目	文化と教育	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2	
	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1		
	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1					
	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1					
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	△ドイツ語ⅡA	2				
		△ドイツ語ⅠB	2	△ドイツ語ⅡB	2				
		△フランス語ⅠA	2	△フランス語ⅡA	2				
		△フランス語ⅠB	2	△フランス語ⅡB	2				
		△中国語ⅠA	2	△中国語ⅡA	2				
		△中国語ⅠB	2	△中国語ⅡB	2				
△スペイン語ⅠA		2	△スペイン語ⅡA	2					
△スペイン語ⅠB		2	△スペイン語ⅡB	2					
△朝鮮語ⅠA	2	△朝鮮語ⅡA	2						
△朝鮮語ⅠB	2	△朝鮮語ⅡB	2						
△ロシア語ⅠA	2	△ロシア語ⅡA	2						
△ロシア語ⅠB	2	△ロシア語ⅡB	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1					
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	文化学基礎	2	哲学の基礎Ⅰ	2	文化学演習Ⅲ	2	文化学演習Ⅴ	2
		文化学基礎演習Ⅰ	2	哲学の基礎Ⅱ	2	文化学演習Ⅳ	2	文化学演習Ⅵ	2
		文化学基礎演習Ⅱ	2	社会行動論	2				
選択科目	思想史科目群		2	古代ギリシア哲学	2	現代哲学Ⅰ	2	日本美術論	2
			2	中世ヨーロッパ哲学	2	アジアの思想Ⅰ	2	西洋美術論	2
			2	近世ヨーロッパ哲学	2	アジアの思想Ⅱ	2	日本の思想	2
選択科目	比較文化科目群		2	言語の哲学	2	日本美術史	2	社会心理学	2
			2	社会調査法	2	比較社会学	2	社会心理学	2
			2	文化人類学	2	応用社会学	2	集団心理学	2
選択科目	文化学共通科目群		2	社会学	2	異文化心理学	2	都市心理学	2
			2	文化学特講Ⅰ	2	応用心理学	2		
			2	文化学特講Ⅱ	2	情報処理実習	2		
関連教育科目		科学思想史A	2	ギリシャ語A	2	言語学概論A	2	卒業論文	6
		科学思想史B	2	ギリシャ語B	2	言語学概論B	2	図書館概論	2
		日本文学概論Ⅰ	2	ラテン語A	2	比較文学概論	2	図書館資料	2
		日本文学概論Ⅱ	2	ラテン語B	2	[東洋の文化と歴史A]	2	国際法総論	4
		中国語文化概説A (文学)	2	人文地理学A	2	[東洋の文化と歴史B]	2	社会保障論	4
		憲法Ⅰ	2	人文地理学B	2	[東洋の文化と歴史C]	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2
		憲法Ⅱ	2	自然地理学A	2	東洋の文化と歴史D	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2
		民法入門	2	自然地理学B	2	[西洋の文化と歴史A]	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2
		民法総論	2	自然地理学C	2	[西洋の文化と歴史B]	2	ヨーロッパ地域文化特講D	2
		現代新聞学	2	地誌学A	2	[西洋の文化と歴史C]	2	東アジア相互理解演習A	2
			2	地誌学B	2	西洋の文化と歴史D	2	東アジア相互理解演習B	2
			2	生涯学習概論A	2				
			2	生涯学習概論B	2				
			2	[日本の文化と歴史A]	2				
			2	[日本の文化と歴史B]	2				
	2	日本の文化と歴史C	2						
	2	日本の文化と歴史D	2						
	2	博物館概論	2						
	2	博物館教育論	2						
	2	博物館資料論	2						
	4	経済史概論	4						
	他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目								
	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 平成29年度入学生 (LC17台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上				
		自然科学…………… 4 単位以上				
		総合系列科目 学修基盤科目				
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}		
		第2 外国語…………… 8 単位以上				
		(二カ国語履修可)				
	保健体育科目…………… 4 単位					
	単位互換科目					
(2) 専門教育科目	必修科目	…………… 28 単位	計72単位以上	}	総計128単位以上	
		選択科目				思想史科目群…………… 16 単位以上
						比較文化科目群…………… 16 単位以上
						文化学共通科目群…………… 4 単位以上
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}			
	専門教育科目					
	関連教育科目					

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2 外国語は同一外国語で8 単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 71を参照すること。



年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 平成29年度入学生 (LC17台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	東洋史A	2	東洋史B	2	日本史A	2	日本史B	2	
	外国史A	2	外国史B	2	西日史A	2	西日史B	2	
社会科学	法政経商学A	2	法政経商学B	2	政治学A	2	政治学B	2	
	経済学A	2	経済学B	2	社会学A	2	社会学B	2	
自然科学	数学A	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2	
	物理A	2	自然界と物質の科学	2	生活と環境の科学	2	地球科学入門	2	
総合科目	文化人類学	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2	
	環境教育	2	現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2	
外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
専門教育科目	必修科目	文化学基礎	2	哲学の基礎Ⅰ	2	文化学演習Ⅲ	2	文化学演習Ⅴ	2
		文化学基礎演習Ⅰ	2	哲学の基礎Ⅱ	2	文化学演習Ⅳ	2	文化学演習Ⅵ	2
	思想史科目群	2	古代ギリシア哲学	2	現代哲学Ⅰ	2	日西洋美術論	2	
	比較文化科目群	2	中世ヨーロッパ哲学	2	アジアの思想Ⅰ	2	日西洋美術の思想	2	
	文化学共通科目群	社会学	2	近世ヨーロッパ哲学	2	アジアの思想Ⅱ	2	社会心理学	2
		文化学特講Ⅰ	2	言語の哲学	2	日本美術史	2	社会心理学	2
	関連教育科目	科学思想史A	2	社会学特講Ⅱ	2	比較社会論	2	社会心理学	2
		科学思想史B	2	文化学特講Ⅲ	2	応用社会学	2	社会心理学	2
		日本文学概論Ⅰ	2	社会学入門	2	応用社会学特講	2	社会心理学	2
		日本文学概論Ⅱ	2	社会学特講Ⅰ	2	情報処理入門	2	応用社会学	2
中国語文化概説A(文学)		2	社会学特講Ⅱ	2	情報処理実習	2	卒業論文	6	
中国語文化概説B(文学)		2	社会学特講Ⅲ	2	マス・コミュニケーション論	2	図書館概論	2	
憲法Ⅰ		2	社会学特講Ⅳ	2	現代メディア論	2	図書館資料	2	
憲法Ⅱ		2	社会学特講Ⅴ	2		2	国際法総論	4	
民法入門		2	社会学特講Ⅵ	2		2	社会保障論	4	
民法総論		2	社会学特講Ⅶ	2		2	ヨーロッパ地域文化特講A	2	

(注) (1) [ ]内は今年度休講。



人文学部 文化学科 平成28年度入学生 (LC16台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 28 単位		計72単位以上	}	総計128単位以上
	選択科目	思想史科目群…………… 16 単位以上			
		比較文化科目群…………… 16 単位以上			
文化学共通科目群…………… 4 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 平成28年度入学生 (LC16台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
	東洋史A	2	東洋史B	2	日本通史A	2	日本通史B	2		
	外国史論A	2	外国史論B	2	西日西文A	2	西日西文B	2		
社会科学	法政経商学A	2	法政経商学B	2	日本教育史A	2	西洋教育史A	2		
	政治学A	2	政治学B	2	政治学概論A	2	政治学概論B	2		
自然科学	数学A	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2		
	物理の地球環境	2	自然界と物質の科学	2	生活と環境の科学	2	地球科学入門	2		
総合科目	文化と教育	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2		
	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1						
	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1						
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	△ドイツ語ⅡA	2					
		△ドイツ語ⅠB	2	△ドイツ語ⅡB	2					
		△フランス語ⅠA	2	△フランス語ⅡA	2					
		△フランス語ⅠB	2	△フランス語ⅡB	2					
		△中国語ⅠA	2	△中国語ⅡA	2					
		△中国語ⅠB	2	△中国語ⅡB	2					
△スペイン語ⅠA		2	△スペイン語ⅡA	2						
△スペイン語ⅠB		2	△スペイン語ⅡB	2						
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1						
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1								
単位互換科目 他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										
専門教育科目	必修科目	文化学基礎	2	哲学の基礎Ⅰ	2	文化学演習Ⅲ	2	文化学演習Ⅴ	2	
		文化学基礎演習Ⅰ	2	哲学の基礎Ⅱ	2	文化学演習Ⅳ	2	文化学演習Ⅵ	2	
		文化学基礎演習Ⅱ	2	社会行動論	2					
				社会システム論	2					
	選択科目	思想史科目群	古代ギリシア哲学	2	現代哲学Ⅰ	2	日西洋美術論	2	日西洋美術思想	2
			中世ヨーロッパ哲学	2	現代哲学Ⅱ	2	西洋美術史	2	西洋美術思想	2
			近世ヨーロッパ哲学	2	言語の哲学	2	日本美術史	2		
		比較文化科目群	社会調査特講Ⅰ	2	比較社会学	2	社会心理学	2	社会心理学	2
			文化人類学特講Ⅱ	2	比較文化学	2	社会心理学	2	社会心理学	2
			社会学特講Ⅲ	2	異文化心理学	2	社会心理学	2	社会心理学	2
文化学共通科目群	文化学特講Ⅰ	2	情報処理入門	2	応用倫理学	2				
	文化学特講Ⅱ	2	情報処理実習	2						
関連教育科目	科学思想史A	2	ギリシャ語A	2	言語学概論A	2	図書館概論	2		
	科学思想史B	2	ギリシャ語B	2	言語学概論B	2	図書館資料	2		
	日本文学概論Ⅰ	2	ラテン語A	2	比較文学概論	2	国際法総論	4		
	日本文学概論Ⅱ	2	ラテン語B	2	[東洋の文化と歴史A]	2	社会保障論	4		
	中国語文化概説A (文学)	2	人文地理学A	2	[東洋の文化と歴史B]	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2		
	憲法Ⅰ	2	人文地理学B	2	[東洋の文化と歴史C]	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2		
	憲法Ⅱ	2	自然地理学A	2	東洋の文化と歴史D	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2		
	民法入門	2	自然地理学B	2	[西洋の文化と歴史A]	2	[ヨーロッパ地域文化特講D]	2		
	民法総論	2	自然地理学C	2	[西洋の文化と歴史B]	2	東アジア相互理解演習A	2		
	現代新聞学	2	地誌学	2	西洋の文化と歴史C	2	東アジア相互理解演習B	2		
		地誌学	2	西洋の文化と歴史D	2					
卒業論文 6										
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目										
他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 平成27年度入学生 (LC15台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 28 単位		計72単位以上	}	総計128単位以上
	選択科目	思想史科目群…………… 16 単位以上			
		比較文化科目群…………… 16 単位以上			
文化学共通科目群…………… 4 単位以上					
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 平成27年度入学生 (LC15台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
	東洋史A	2	東洋史B	2	本邦史A	2	本邦史B	2		
	外国史論A	2	外国史論B	2	西日史A	2	西日史B	2		
社会科学	法政経済学A	2	法政経済学B	2	日本教育史A	2	西洋教育史A	2		
	政治学A	2	政治学B	2	政治学概論A	2	政治学概論B	2		
自然科学	数学A	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2		
	物理の地球環境	2	自然界と物質の科学	2	生活と環境の科学	2	地球科学入門	2		
総合科目	文化人類学	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2		
	地球文化と教育	2	現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンス・イングリッシュⅠ	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンス・イングリッシュⅡ	1			
	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1						
	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1						
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	△ドイツ語ⅡA	2					
		△ドイツ語ⅠB	2	△ドイツ語ⅡB	2					
		△フランス語ⅠA	2	△フランス語ⅡA	2					
		△フランス語ⅠB	2	△フランス語ⅡB	2					
		△中国語ⅠA	2	△中国語ⅡA	2					
		△中国語ⅠB	2	△中国語ⅡB	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ論	2						
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1								
	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
	単位互換科目	文化学基礎論	2	哲学の基礎Ⅰ	2	文化学演習Ⅲ	2	文化学演習Ⅴ	2	
専門教育科目	必修科目	文化学基礎演習Ⅰ	2	哲学の基礎Ⅱ	2	文化学演習Ⅳ	2	文化学演習Ⅵ	2	
		文化学基礎演習Ⅱ	2	社会行動論	2					
	選択科目	思想史科目群		古代ギリシア哲学	2	現代哲学Ⅰ	2	日西洋美術論	2	
		比較文化科目群		中世ヨーロッパ哲学	2	アジアの思想Ⅰ	2	日西洋美術論	2	
		文化学共通科目群		近世ヨーロッパ哲学	2	アジアの思想Ⅱ	2	日西洋美術論	2	
	関連教育科目	文化学共通科目群	社会学思想史A	2	言語の哲学	2	日本美術史	2	社会学概論	2
			社会学思想史B	2	社会調査法	2	比較社会学	2	社会学概論	2
			日本文学概論Ⅰ	2	社会人類学特講	2	応用社会学	2	社会学概論	2
			日本文学概論Ⅱ	2	社会学人類学特講	2	応用社会学特講	2	社会学概論	2
			中国語文化概説A (文学)	2	社会学人類学特講Ⅱ	2	情報処理実習	2	社会学概論	2
憲法Ⅰ	2	社会学思想史	2	マス・コミュニケーション論	2	社会学概論	2			
憲法Ⅱ	2	ギリシャ言語A	2	現代メディア論	2	卒業論文	6			
民法総論	2	ギリシャ言語B	2	言語学概論A	2	言語学概論B	2			
現代新聞学	2	ギリシャ言語C	2	比較文学概論	2	[東洋の文化と歴史A]	2			
		ギリシャ言語D	2	[西洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史B]	2			
		人文地理学A	2	[西洋の文化と歴史B]	2	[東洋の文化と歴史C]	2			
		人文地理学B	2	西洋の文化と歴史C	2	東洋の文化と歴史D	2			
		自然地理学A	2	西洋の文化と歴史D	2	図書館概論	2			
		自然地理学B	2	図書館資料論	2	国際法	4			
		地理学A	2	社会保障論	4					
		地理学B	2							
		生涯学習概論A	2							
		生涯学習概論B	2							
		[日本の文化と歴史A]	2							
		[日本の文化と歴史B]	2							
		日本の文化と歴史C	2							
		日本の文化と歴史D	2							
		博物館概論	2							
		博物館教育論	2							
		博物館資料論	2							
		経済史概論	4							
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目										
他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 文化学科 平成26年度入学生 (LC14台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計24単位以上	}	合計44単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上				
		自然科学…………… 4 単位以上				
		総合系列科目 学修基盤科目				
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}		
		第2外国語…………… 8 単位以上				
		(二カ国語履修可)				
(1) 共通教育科目	保健体育科目…………… 4 単位					
(1) 共通教育科目	単位互換科目					
(2) 専門教育科目	必修科目	…………… 28 単位	計72単位以上	}	総計128単位以上	
		選択科目				思想史科目群…………… 16 単位以上
						比較文化科目群…………… 16 単位以上
						文化学共通科目群…………… 4 単位以上
(3) 自由履修単位	共通教育科目					
	専門教育科目……………	計12単位以上				
	関連教育科目					

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 文化学科 平成26年度入学生 (LC14台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学研究A	2	宗教学研究B	2	
		日本史A	2	日本史B	2	本邦通史A	2	本邦通史B	2	
		東洋史A	2	東洋史B	2	西日通史A	2	西日通史B	2	
	社会科学	中外通史A	2	中外通史B	2	日西通史A	2	日西通史B	2	
		法政経商学A	2	法政経商学B	2	本邦教育史A	2	本邦教育史B	2	
		政治学A	2	政治学B	2	憲法論A	2	憲法論B	2	
		経済学A	2	経済学B	2	政治学概論A	2	政治学概論B	2	
	自然科学	数学A	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2	
		世界の地球環境	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球科学入門	2	
総合科目	文化と教育	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2		
	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1					
	第2	△ドイツ語ⅠA	2	△ドイツ語ⅡA	2					
		△ドイツ語ⅠB	2	△ドイツ語ⅡB	2					
		△フランス語ⅠA	2	△フランス語ⅡA	2					
		△フランス語ⅠB	2	△フランス語ⅡB	2					
		△中国語ⅠA	2	△中国語ⅡA	2					
		△中国語ⅠB	2	△中国語ⅡB	2					
		△スペイン語ⅠA	2	△スペイン語ⅡA	2					
		△スペイン語ⅠB	2	△スペイン語ⅡB	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ論	2						
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1								
単位互換科目		他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	文化学基礎	2	哲学の基礎Ⅰ	2	文化学演習Ⅲ	2	文化学演習Ⅴ	2	
		文化学基礎演習Ⅰ	2	哲学の基礎Ⅱ	2	文化学演習Ⅳ	2	文化学演習Ⅵ	2	
		文化学基礎演習Ⅱ	2	社会行動論	2					
				社会システム論	2					
	選択科目	思想史科目群			古代ギリシア哲学	2	現代哲学Ⅰ	2	日西洋美術論	2
					中世ヨーロッパ哲学	2	アジアの思想Ⅰ	2	日西洋美術論	2
					近世ヨーロッパ哲学	2	アジアの思想Ⅱ	2	日西洋美術論	2
		比較文化科目群			言語の哲学	2	日本美術史	2	社会心理学	2
					社会調査特講	2	比較社会学	2	社会心理学	2
					文化人類学特講	2	応用社会学	2	社会心理学	2
文化学共通科目群			社会学特講Ⅰ	2	情報処理入門	2	応用倫理学	2		
			社会学特講Ⅱ	2	情報処理実習	2				
関連教育科目			社会学特講Ⅲ	2	マス・コミュニケーション論	2				
			社会学特講Ⅳ	2	現代メディア論	2	卒業論文	6		
			社会学特講Ⅴ	2	言語学概論A	2	言語学概論B	2		
			社会学特講Ⅵ	2	比較文学概論	2	[東洋の文化と歴史A]	2		
			社会学特講Ⅶ	2	[西洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史B]	2		
			社会学特講Ⅷ	2	[西洋の文化と歴史B]	2	[東洋の文化と歴史C]	2		
			社会学特講Ⅷ	2	西洋の文化と歴史C	2	東洋の文化と歴史D	2		
			社会学特講Ⅷ	2	西洋の文化と歴史D	2	図書館概論	2		
			社会学特講Ⅷ	2	図書館資料論	2	国際法	4		
			社会学特講Ⅷ	2	社会保障論	4				
		他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目								
		他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								

(注) (1) [ ] 内は今年度休講。



人文学部 歴史学科 令和2年度入学生 (LH20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 40 単位以上				
	選択科目…………… 20 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}	}	総計128単位以上
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 71、79を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 令和2年度入学生 (LH20台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次															
		授業科目				授業科目				授業科目				授業科目			
共通教育科目	総合教養科目	哲学	理学	文学	法学	哲学	理学	文学	法学	論理	教育	文学	社会学	論理	教育	文学	社会学
		目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録	目録
		西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア	西ア
		芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術	芸術
		政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治	政治
		教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育
		心	心	心	心	心	心	心	心	心	心	心	心	心	心	心	心
		自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然
		環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境
		デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン	デザイン
第1年次				第2年次				第3年次				第4年次					
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目			
		単位		単位		単位		単位		単位		単位		単位			
育外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI		※インターメディアイト・イングリッシュI		※インターメディアイト・イングリッシュII		※インターメディアイト・イングリッシュIII		※インターメディアイト・イングリッシュIV		※インターメディアイト・イングリッシュV		※インターメディアイト・イングリッシュVI			
		△ドイ		△フ		△中		△ス		△朝		△ロ		△生			
		△ラ		△シ		△中		△ス		△朝		△ロ		△生			
		△中		△シ		△中		△ス		△朝		△ロ		△生			
		△ス		△シ		△中		△ス		△朝		△ロ		△生			
		△朝		△シ		△中		△ス		△朝		△ロ		△生			
		△ロ		△シ		△中		△ス		△朝		△ロ		△生			
		△生		△シ		△中		△ス		△朝		△ロ		△生			
		※生		△シ		△中		△ス		△朝		△ロ		△生			
		※生		△シ		△中		△ス		△朝		△ロ		△生			
他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目																	
必修科目		史学概論				卒業論文				8							
選択必修科目		各専修共通				考古学				専修史				専修西洋史			
選択科目		地域史概論				対外交渉史				国際関係史				思想史			
関連教育科目		社会科学				文化人類学				現代学				現代学			

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。  
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。  
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。  
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。  
 (5) [ ]内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 平成31年度入学生 (LH19台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 40 単位以上				
	選択科目…………… 20 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 71、79を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 平成31年度入学生 (LH19台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	宗東目西A	2	宗東目西B	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日経社地文A	2	日経社地文B	2
		法政商教心A	2	法政商教心B	2	日経社地文A	2	日経社地文B	2
	自然科学	物理学A	2	物理学B	2	統計人類学A	2	統計人類学B	2
		地球環境学A	2	地球環境学B	2	統計人類学A	2	統計人類学B	2
	総合系科目	総合系科目	2	総合系科目	2	国際化と日本	2	国際化と日本	2
		学修基盤科目	2	学修基盤科目	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2
	育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1				
	第2	△ドイ ツ 語 I A	2	△ドイ ツ 語 II B	2				
		△フ ラ ンス 語 I A	2	△フ ラ ンス 語 II B	2				
		△中 国 語 I A	2	△中 国 語 II B	2				
		△ス ペ ー ン 語 I A	2	△ス ペ ー ン 語 II B	2				
		△朝 鮮 語 I A	2	△朝 鮮 語 II B	2				
		△シ ン シ ュ ア 語 I A	2	△シ ン シ ュ ア 語 II B	2				
		△シ ン シ ュ ア 語 I A	2	△シ ン シ ュ ア 語 II B	2				
		△シ ン シ ュ ア 語 I A	2	△シ ン シ ュ ア 語 II B	2				
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1					
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	史学概論A	2	史学概論B	2			卒業論文	8
		史学入門A	2	史学入門B	2				
	選択必修科目	考古学概論A	2	考古学概論B	2	考古学概論A	2	考古学概論B	2
		考古学概論A	2	考古学概論B	2	考古学概論A	2	考古学概論B	2
		考古学概論A	2	考古学概論B	2	考古学概論A	2	考古学概論B	2
		考古学概論A	2	考古学概論B	2	考古学概論A	2	考古学概論B	2
		考古学概論A	2	考古学概論B	2	考古学概論A	2	考古学概論B	2
		考古学概論A	2	考古学概論B	2	考古学概論A	2	考古学概論B	2
		考古学概論A	2	考古学概論B	2	考古学概論A	2	考古学概論B	2
		考古学概論A	2	考古学概論B	2	考古学概論A	2	考古学概論B	2
選択科目	地域史概論	2	対外交渉史	2	国際関係史	2	国際関係史	2	
	考古学からみた文化と歴史A	2	〔日本の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	
	考古学からみた文化と歴史B	2	〔日本の文化と歴史B〕	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2	
	考古学からみた文化と歴史C	2	〔日本の文化と歴史C〕	2	〔東洋の文化と歴史C〕	2	〔東洋の文化と歴史C〕	2	
関連教育科目	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	
	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	
	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	
	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	
	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	
	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	
	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	
	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	
	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	
	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	社会科学概論A	2	社会科学概論B	2	

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。  
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。  
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。  
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。  
 (5) [ ]内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 平成30年度入学生 (LH18台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 40 単位以上				
	選択科目…………… 20 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 71、79を参照すること。







人文学部 歴史学科 平成29年度入学生 (LH17台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目……………			
(2) 専門教育科目	必修科目……………	16単位	計76単位以上	}	総計128単位以上
	選択必修科目……………	40単位以上			
	選択科目……………	20単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	総計128単位以上
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2 外国語は同一外国語で8 単位を修得しなければならない。
- (2) 第1 年次選択必修科目の各概説は、8 単位以上修得し、第2 年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4 単位修得しなければならない。
- (3) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4 年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8 単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4 年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 71、79を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 平成29年度入学生 (LH17台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
	日西	学A	2	日西	学B	2	日西	学A	2	日西	学B	2	
	芸文	学A	2	芸文	学B	2	芸文	学A	2	芸文	学B	2	
社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日政	学A	2	法政	学B	2	
	経商	学A	2	経商	学B	2	社経	学A	2	社経	学B	2	
自然科学	数物	学A	2	基礎	学A	2	統計	学A	2	物理	学A	2	
	新自	学A	2	ミク	学A	2	マク	学A	2	地自	学A	2	
総合系科目	地文	学A	2	生命・健康と医療	学A	2	国際化と日本	学A	2	科学・技術・情報と社会	学A	2	
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	学A	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学いかに学ぶか	学A	2	
育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次						
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目						
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1								
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1								
	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1									
	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1									
	第2	△△ドイ ツ 語 I A	2	△△ドイ ツ 語 II B	2								
		△△フ ラ ン ス 語 I A	2	△△フ ラ ン ス 語 II B	2								
		△△中 国 語 I A	2	△△中 国 語 II B	2								
		△△ス ペ ー ン 語 I A	2	△△ス ペ ー ン 語 II B	2								
		△△朝 鮮 語 I A	2	△△朝 鮮 語 II B	2								
		△△シ ン ア 語 I A	2	△△シ ン ア 語 II B	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1									
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	史学概論	学A	2				卒業論文	8				
		史学入門	学A	2									
	各専修共通	考古学概論	学A	2				考古学概論	2				
		考古学概論	学A	2				考古学概論	2				
		考古学概論	学A	2				考古学概論	2				
		考古学概論	学A	2				考古学概論	2				
	専修	考古学基礎演習	学A	2	考古学基礎演習	学A	2	考古学基礎演習	学A	2			
		考古学基礎演習	学A	2	考古学基礎演習	学A	2	考古学基礎演習	学A	2			
		考古学基礎演習	学A	2	考古学基礎演習	学A	2	考古学基礎演習	学A	2			
		考古学基礎演習	学A	2	考古学基礎演習	学A	2	考古学基礎演習	学A	2			
日本史修	日本史原典講読Ⅰ	学A	2	日本史原典講読Ⅱ	学A	2	日本史原典講読Ⅲ	学A	2				
	日本史原典講読Ⅱ	学A	2	日本史原典講読Ⅲ	学A	2	日本史原典講読Ⅳ	学A	2				
	日本史基礎演習Ⅰ	学A	2	日本史基礎演習Ⅱ	学A	2	日本史基礎演習Ⅲ	学A	2				
	日本史基礎演習Ⅱ	学A	2	日本史基礎演習Ⅲ	学A	2	日本史基礎演習Ⅳ	学A	2				
東洋史修	東洋史原典講読Ⅰ	学A	2	東洋史原典講読Ⅱ	学A	2	東洋史原典講読Ⅲ	学A	2				
	東洋史基礎演習	学A	2	東洋史基礎演習	学A	2	東洋史基礎演習	学A	2				
西洋史修	西洋史原典講読Ⅰ	学A	2	西洋史原典講読Ⅱ	学A	2	西洋史原典講読Ⅲ	学A	2				
	西洋史基礎演習	学A	2	西洋史基礎演習	学A	2	西洋史基礎演習	学A	2				
選択科目	西洋史	地域史概論	学A	2	対外交渉史	学A	2	国際関係史	学A	2			
		〔考古学からみた文化と歴史A〕	学A	2	〔日本の文化と歴史A〕	学A	2	〔東洋の文化と歴史A〕	学A	2			
		〔考古学からみた文化と歴史B〕	学A	2	〔日本の文化と歴史B〕	学A	2	〔東洋の文化と歴史B〕	学A	2			
		〔考古学からみた文化と歴史C〕	学A	2	〔日本の文化と歴史C〕	学A	2	〔東洋の文化と歴史C〕	学A	2			
		〔考古学からみた文化と歴史D〕	学A	2	〔日本の文化と歴史D〕	学A	2	〔東洋の文化と歴史D〕	学A	2			
		〔西洋の文化と歴史A〕	学A	2	〔西洋の文化と歴史B〕	学A	2	〔西洋の文化と歴史C〕	学A	2			
		〔西洋の文化と歴史D〕	学A	2	〔西洋の文化と歴史E〕	学A	2	〔西洋の文化と歴史F〕	学A	2			
		西洋の文化と歴史A	学A	2	西洋の文化と歴史B	学A	2	西洋の文化と歴史C	学A	2			
		西洋の文化と歴史D	学A	2	西洋の文化と歴史E	学A	2	西洋の文化と歴史F	学A	2			
		西洋の文化と歴史F	学A	2	西洋の文化と歴史G	学A	2	西洋の文化と歴史H	学A	2			
関連教育科目	社会科学概論	学A	2	文化人類学特講	学A	2	アジア宗教文化論Ⅰ	学A	2				
	思想史概論Ⅰ	学A	2	アジヤの思想史Ⅰ	学A	2	アジヤの思想史Ⅱ	学A	2				
	思想史概論Ⅱ	学A	2	アジヤの思想史Ⅱ	学A	2	アジヤの思想史Ⅲ	学A	2				
	思想史概論Ⅲ	学A	2	アジヤの思想史Ⅲ	学A	2	アジヤの思想史Ⅳ	学A	2				
	思想史概論Ⅳ	学A	2	アジヤの思想史Ⅳ	学A	2	アジヤの思想史Ⅴ	学A	2				
	思想史概論Ⅴ	学A	2	アジヤの思想史Ⅴ	学A	2	アジヤの思想史Ⅵ	学A	2				
	思想史概論Ⅵ	学A	2	アジヤの思想史Ⅵ	学A	2	アジヤの思想史Ⅶ	学A	2				
	思想史概論Ⅶ	学A	2	アジヤの思想史Ⅶ	学A	2	アジヤの思想史Ⅷ	学A	2				
	思想史概論Ⅷ	学A	2	アジヤの思想史Ⅷ	学A	2	アジヤの思想史Ⅸ	学A	2				
	思想史概論Ⅸ	学A	2	アジヤの思想史Ⅸ	学A	2	アジヤの思想史Ⅹ	学A	2				

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。  
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。  
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。  
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。  
 (5) [ ]内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 平成28年度入学生 (LH16台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目……………				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 40 単位以上				
	選択科目…………… 20 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目……………	計12単位以上	}	}	総計128単位以上
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 71、79を参照すること。



人文学部 歴史学科 平成27年度入学生 (LH15台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目……………			
(2) 専門教育科目	必修科目……………	16単位	計76単位以上	}	総計128単位以上
	選択必修科目……………	40単位以上			
	選択科目……………	20単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	総計128単位以上
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2 外国語は同一外国語で8 単位を修得しなければならない。
- (2) 第1 年次選択必修科目の各概説は、8 単位以上修得し、第2 年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4 単位修得しなければならない。
- (3) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4 年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8 単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4 年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 71、79を参照すること。



年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 平成27年度入学生 (LH15台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
	西洋	学A	2	西洋	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2	
	国文	学A	2	国文	学B	2	教文	学A	2	教文	学B	2	
社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日政	学A	2	日政	学B	2	
	経済	学A	2	経済	学B	2	社経	学A	2	社経	学B	2	
自然科学	数物	学A	2	基礎	学A	2	統計	学A	2	物理	学A	2	
	理地	学A	2	自然	学A	2	環境	学A	2	地球	学A	2	
総合系科目	地文	学A	2	生命・健康と医療	学A	2	国際化と日本	学A	2	科学・技術・情報と社会	学A	2	
学修基盤科目	文化と教育	学A	2	現代を生きる	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	学A	2	
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1								
	第2	△ドイ ツ 語 I A 2	2	△ドイ ツ 語 II B 2	2								
保健体育科目	単位互換科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1								
	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	史学	学A	2							卒業論文	8	
		歴史	学A	2									
	専修	考古学	学A	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2	考古学	学A	2
		東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2
		西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2
		日本史	学A	2	日本史	学A	2	日本史	学A	2	日本史	学A	2
	選択必修科目	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2	東洋史	学A	2
		西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2
	選択科目	地域史	学A	2	地域史	学A	2	地域史	学A	2	地域史	学A	2
		西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2	西洋史	学A	2
関連教育科目	科学	学A	2	科学	学A	2	科学	学A	2	科学	学A	2	
	思想	学A	2	思想	学A	2	思想	学A	2	思想	学A	2	
	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	社会学	学A	2	
	言語学	学A	2	言語学	学A	2	言語学	学A	2	言語学	学A	2	
	文学	学A	2	文学	学A	2	文学	学A	2	文学	学A	2	
	経済学	学A	2	経済学	学A	2	経済学	学A	2	経済学	学A	2	
	法	学A	2	法	学A	2	法	学A	2	法	学A	2	
	文化人類学	学A	2	文化人類学	学A	2	文化人類学	学A	2	文化人類学	学A	2	
	中国語	学A	2	中国語	学A	2	中国語	学A	2	中国語	学A	2	
	自然地理	学A	2	自然地理	学A	2	自然地理	学A	2	自然地理	学A	2	

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。  
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。  
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。  
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。  
 (5) [ ] 内は今年度休講。



人文学部 歴史学科 平成26年度入学生 (LH14台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
(1) 共通教育科目	保健体育科目…………… 4 単位	}	}	}	}
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 40 単位以上				
	選択科目…………… 20 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}	}	}
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。
- (3) 特講は、12単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p.71、79を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 平成26年度入学生 (LH14台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	
共通教育科目	人文科学	哲学	理学	文学	哲学	文学	論理	文学	論理	文学	
		史学	史学	史学	史学	史学	史学	史学	史学	史学	
	社会科学	法政	経済	政治	法政	経済	政治	法政	経済	政治	
		経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	
自然科学	数学	物理	化学	数学	物理	化学	数学	物理	化学		
	生物	生物	生物	生物	生物	生物	生物	生物	生物		
総合系科目	文化	環境	生命	健康	医療	国際	文化	科学	技術		
学修基盤科目	福大生	のための	キャリア	デザイン	アカデミック	スキル	ゼミ	アカデミック	スキル		
育	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次				
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		単位		
外国語科目	第1	※フレッシュマン	・イングリッシュ	I	1	※インターメディアイト	・イングリッシュ	I	1		
		※フレッシュマン	・イングリッシュ	II	1	※インターメディアイト	・イングリッシュ	II	1		
	第2	△ド	△イ	△ツ	△語	△I	△ド	△イ	△ツ	△語	
		△フ	△ラ	△ン	△ス	△語	△フ	△ラ	△ン	△ス	
		△中	△中	△中	△中	△中	△中	△中	△中	△中	
		△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	
		△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	
		△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	
		△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	
		△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	
保健体育科目	※生涯	スポーツ	演習	I	1	※生涯	スポーツ	演習	II		
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										
専門教育科目	必修科目	史学	学学	概論	A	卒	業	論	文		
		史学	学学	概論	B	2				8	
	選択必修科目	各専修共通	考古	学学	概論	A	2	考古	学学	概論	
			考古	学学	概論	B	2	考古	学学	概論	
		専修	日専史修	日本	史学	原典	I	2	日本	史学	原典
				日本	史学	原典	II	2	日本	史学	原典
			東洋史修	東洋	史学	原典	I	2	東洋	史学	原典
				東洋	史学	原典	II	2	東洋	史学	原典
				東洋	史学	原典	III	2	東洋	史学	原典
				東洋	史学	原典	IV	2	東洋	史学	原典
西洋史修	西洋	史学	原典	I	2	西洋	史学	原典			
	西洋	史学	原典	II	2	西洋	史学	原典			
選択科目	選択科目	地域	史学	概論	A	2	地域	史学	概論		
		地域	史学	概論	B	2	地域	史学	概論		
		地域	史学	概論	C	2	地域	史学	概論		
		地域	史学	概論	D	2	地域	史学	概論		
		地域	史学	概論	A	2	地域	史学	概論		
		地域	史学	概論	B	2	地域	史学	概論		
		地域	史学	概論	C	2	地域	史学	概論		
		地域	史学	概論	D	2	地域	史学	概論		
		地域	史学	概論	A	2	地域	史学	概論		
		地域	史学	概論	B	2	地域	史学	概論		
関連教育科目	関連教育科目	科学	学学	思想	A	2	科学	学学	思想		
		科学	学学	思想	B	2	科学	学学	思想		
		科学	学学	思想	C	2	科学	学学	思想		
		科学	学学	思想	D	2	科学	学学	思想		
		科学	学学	思想	A	2	科学	学学	思想		
		科学	学学	思想	B	2	科学	学学	思想		
		科学	学学	思想	C	2	科学	学学	思想		
		科学	学学	思想	D	2	科学	学学	思想		
		科学	学学	思想	A	2	科学	学学	思想		
		科学	学学	思想	B	2	科学	学学	思想		

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。  
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。  
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。  
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。  
 (5) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 平成25年度入学生 (LH13台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 40 単位以上				
	選択科目…………… 20 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}	}	総計128単位以上
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2 外国語は同一外国語で8 単位を修得しなければならない。
- (2) 第1 年次選択必修科目の各概説は、8 単位以上修得し、第2 年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4 単位修得しなければならない。
- (3) 特講は、12 単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4 年次の演習は、その専修の科目を12 単位以上修得し、そのうち8 単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4 年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 71、79を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 歴史学科 平成25年度入学生 (LH13台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																				
		授業科目				授業科目				授業科目				授業科目								
共通教育科目	人文科学	哲学	理学	文学	A	2	哲学	理学	文学	B	2	論宗	理教	学	A	2	論宗	理教	学	B	2	
		日西	中芸	国文	A	2	日西	中芸	国文	B	2	東日	西日	文	A	2	東日	西日	文	B	2	
		法政	経商	教地	A	2	法政	経商	教地	B	2	日政	社学	会	A	2	日政	社学	会	B	2	
		教育	心理	学	A	2	教育	心理	学	B	2	育理	原	学	A	2	育理	原	学	B	2	
社会科学	法政	経商	教地	A	2	法政	経商	教地	B	2	日政	社学	会	A	2	日政	社学	会	B	2		
	教育	心理	学	A	2	教育	心理	学	B	2	育理	原	学	A	2	育理	原	学	B	2		
	文化	人類	学	A	2	文化	人類	学	B	2	文化	人類	学	A	2	文化	人類	学	B	2		
	自然	科学	学	A	2	自然	科学	学	B	2	物理	科学	学	A	2	物理	科学	学	B	2		
自然科学	数学	物理	学	A	2	数学	物理	学	B	2	統計	入	門	A	2	統計	入	門	B	2		
	地球	環境	学	A	2	地球	環境	学	B	2	環境	学	学	A	2	環境	学	学	B	2		
	生物	学	A	2	生物	学	B	2	生命	倫理	と	医	療	技	術	学	A	2				
	情報	学	A	2	情報	学	B	2	情報	学	学	A	2	情報	学	学	B	2				
総合系科目	地球	環境	学	A	2	地球	環境	学	B	2	生命	倫理	と	医	療	技	術	学	A	2		
	人口	文化	学	A	2	人口	文化	学	B	2	情報	学	学	A	2	情報	学	学	B	2		
	健康	と	医	療	学	A	2	健康	と	医	療	学	B	2	国際	化	と	日	本	学	A	2
	科学	と	社	会	学	A	2	科学	と	社	会	学	B	2	文化	と	教	育	学	A	2	
外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次							
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目							
	単位		単位		単位		単位		単位		単位		単位		単位							
	1		1		1		1		1		1		1		1							
保健体育科目	※フレッシュマン・イングリッシュI		※インターメディアイト・イングリッシュI		※フレッシュマン・イングリッシュII		※インターメディアイト・イングリッシュII		※フレッシュマン・イングリッシュIII		※インターメディアイト・イングリッシュIII		※フレッシュマン・イングリッシュIV		※インターメディアイト・イングリッシュIV							
	1		1		1		1		1		1		1		1							
	1		1		1		1		1		1		1		1							
	1		1		1		1		1		1		1		1							
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目																					
	卒業論文																					
	8																					
	必修科目																					
専門教育科目	各専修共通	史学	学	概	論	A	2	史学	学	概	論	B	2	卒	業	論	文	8				
		史学	学	概	論	A	2	史学	学	概	論	B	2	卒	業	論	文	8				
		史学	学	概	論	A	2	史学	学	概	論	B	2	卒	業	論	文	8				
		史学	学	概	論	A	2	史学	学	概	論	B	2	卒	業	論	文	8				
専修	考古	学	学	概	論	A	2	考古	学	学	概	論	B	2	卒	業	論	文	8			
	考古	学	学	概	論	A	2	考古	学	学	概	論	B	2	卒	業	論	文	8			
	考古	学	学	概	論	A	2	考古	学	学	概	論	B	2	卒	業	論	文	8			
	考古	学	学	概	論	A	2	考古	学	学	概	論	B	2	卒	業	論	文	8			
日本史修	日本	史	原	典	講	読	A	2	日本	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
	日本	史	原	典	講	読	A	2	日本	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
	日本	史	原	典	講	読	A	2	日本	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
	日本	史	原	典	講	読	A	2	日本	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
東洋史修	東洋	史	原	典	講	読	A	2	東洋	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
	東洋	史	原	典	講	読	A	2	東洋	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
	東洋	史	原	典	講	読	A	2	東洋	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
	東洋	史	原	典	講	読	A	2	東洋	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
西洋史修	西洋	史	原	典	講	読	A	2	西洋	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
	西洋	史	原	典	講	読	A	2	西洋	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
	西洋	史	原	典	講	読	A	2	西洋	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
	西洋	史	原	典	講	読	A	2	西洋	史	原	典	講	読	B	2	卒	業	論	文	8	
選択科目	地	域	史	概	論	A	2	地	域	史	概	論	B	2	卒	業	論	文	8			
	地	域	史	概	論	A	2	地	域	史	概	論	B	2	卒	業	論	文	8			
	地	域	史	概	論	A	2	地	域	史	概	論	B	2	卒	業	論	文	8			
	地	域	史	概	論	A	2	地	域	史	概	論	B	2	卒	業	論	文	8			
関連教育科目	科	学	思	想	史	A	2	科	学	思	想	史	B	2	卒	業	論	文	8			
	科	学	思	想	史	A	2	科	学	思	想	史	B	2	卒	業	論	文	8			
	科	学	思	想	史	A	2	科	学	思	想	史	B	2	卒	業	論	文	8			
	科	学	思	想	史	A	2	科	学	思	想	史	B	2	卒	業	論	文	8			

(注) (1) 第1年次選択必修科目の各概説は、8単位以上修得し、第2年次選択必修科目は、その専修の原典講読(考古学専修については、考古学方法論(含、実習))及び基礎演習を各4単位修得しなければならない。  
 (2) 特講は、12単位以上修得しなければならない。  
 (3) 第3・4年次の演習は、その専修の科目を12単位以上修得し、そのうち8単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。  
 (4) 第3・4年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。  
 (5) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 歴史学科 平成24年度入学生 (LH12台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 16 単位	計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 40 単位以上				
	選択科目…………… 20 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}	}	総計128単位以上
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2 外国語は同一外国語で8 単位を修得しなければならない。
- (2) 第1 年次選択必修科目の各概説は、8 単位以上修得し、第2 年次選択必修科目は、その専修の原典講読（考古学専修については、考古学方法論（含、実習））及び基礎演習を各4 単位修得しなければならない。
- (3) 特講は、12 単位以上修得しなければならない。
- (4) 第3・4 年次の演習は、その専修の科目を12 単位以上修得し、そのうち8 単位は同一ローマ数字のA・B・C・Dを修得しなければならない。
- (5) 第3・4 年次の演習は、各専修の規定の単位以外に、他の専修の演習も履修することができる。
- (6) 他専修科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 71、79を参照すること。







人文学部 日本語日本文学科 令和2年度入学生 (LJ20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	} 計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
総合系列科目 学修基盤科目					
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	} 計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目……………				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	} 計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 24 単位以上				
	選択科目…………… 28 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	} 計12単位以上	}	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 71、80を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 令和2年度入学生 (LJ20台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教養科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	
		西洋文学A	2	西洋文学B	2	宗東日西文学A	2	宗東日西文学B	2	
		西洋文学A	2	西洋文学B	2	宗東日西文学A	2	宗東日西文学B	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日本教育史A	2	日本教育史B	2	
		政治学B	2	政治学C	2	日本教育史A	2	日本教育史B	2	
		政治学C	2	政治学D	2	日本教育史A	2	日本教育史B	2	
	自然科学	数学A	2	数学B	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
		数学B	2	数学C	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
		数学C	2	数学D	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2	
	総合科学	地球環境文化と教育	2	生命・健康と医療現代を生きる	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2	
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2						
外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
専門教育科目	必修科目	日本語学概論I	2	日本語学概論II	2			卒業論文及び卒業論文指導	8	
		日本語学概論II	2	日本語学概論III	2					
	選択必修科目	日本語学概論I	2	日本語学概論II	2	[古代語演習a]	4	[古代語演習b]	4	
		日本語学概論II	2	日本語学概論III	2	近代語演習a	4	近代語演習b	4	
		日本語学概論III	2	日本語学概論IV	2	現代語演習a	4	現代語演習b	4	
		比較文学概論	2	比較文学概論II	2	古典文学演習I a	4	古典文学演習I b	4	
				比較文学概論III	2	古典文学演習II a	4	古典文学演習II b	4	
				比較文学概論IV	2	近代文学演習I a	4	近代文学演習I b	4	
				比較文学概論V	2	近代文学演習II a	4	近代文学演習II b	4	
				比較文学概論VI	2	近代文学演習III a	4	近代文学演習III b	4	
		比較文学概論VII	2	[古典文学及び比較文学演習a]	4	[古典文学及び比較文学演習b]	4			
選択科目	地域文化研究	2	日本語表現法I	2	日本語学特講I a	2	[日本語学特講I b]	2		
	地域語研究	2	日本語表現法II	2	日本語学特講II a	2	[日本語学特講II b]	2		
	漢学研究	2	漢学講義I	2	日本語学特講III a	2	[日本語学特講III b]	2		
	漢学研究II	2	漢学講義II	2	日本語学特講IV a	2	[日本語学特講IV b]	2		
	近代文学及び比較文学講義I	2	近代文学及び比較文学講義II	2	日本語学特講V a	2	[日本語学特講V b]	2		
			近代文学及び比較文学講義III	2	日本語学特講VI a	2	[日本語学特講VI b]	2		
			日本語教育法I	2	日本文学特講I a	2	[日本文学特講I b]	2		
			日本語教育法II	2	日本文学特講II a	2	[日本文学特講II b]	2		
					日本文学特講III a	2	[日本文学特講III b]	2		
					日本文学特講IV a	2	[日本文学特講IV b]	2		
関連教育科目	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論A	2	日本文学特講V a	2	[日本文学特講V b]	2		
	社会学類学	2	イギリス文化・文学概論B	2	日本文学特講VI a	2	[日本文学特講VI b]	2		
	日本美術史	2	アメリカ文化・文学概論A	2	日本文学特講VII a	2	[日本文学特講VII b]	2		
	日本美術史II	2	アメリカ文化・文学概論B	2	日本文学特講VIII a	2	[日本文学特講VIII b]	2		
	考古学概説A	2	言語学概論A	2	比較文学特講I a	2	[比較文学特講I b]	2		
	考古学概説B	2	言語学概論B	2	比較文学特講II a	2	[比較文学特講II b]	2		
	考古学概説C	2	歴史学資料論A	2	比較文学特講III a	2	[比較文学特講III b]	2		
	考古学概説D	2	歴史学資料論B	2	比較文学特講IV a	2	[比較文学特講IV b]	2		
	東洋史概説A	2	地域史概論	2	社会言語学特講	2	心理言語学特講	2		
	東洋史概説B	2	憲法II	2	日本語教育法III	2	日本語教授法演習I	2		
西洋史概説A	2	比較社会心理学	2	日本語教育法IV	2	日本語教授法演習II	2			
西洋史概説B	2	文化地理学	2	ドイツ文学概論A	2	ドイツ文学概論B	2			
英語学概論A	2	コンピュータ入門I	2	フランス文学概論A	2	フランス文学概論B	2			
英語学概論B	2	コンピュータ入門II	2	比較文化論	2	民俗文化論	2			
英語学概論C	2	現代新思想史A	2	[日本の文化と歴史A]	2	[日本の文化と歴史B]	2			
英語学概論D	2	現代新思想史B	2	日本の文化と歴史C	2	日本の文化と歴史D	2			
				[東洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史B]	2			
				東洋の文化と歴史C	2	東洋の文化と歴史D	2			
				[西洋の文化と歴史A]	2	[西洋の文化と歴史B]	2			
				西洋の文化と歴史C	2	西洋の文化と歴史D	2			
				マスメディア文化論	2	メディア文化論	2			
				図書館概論	2	図書館資料論	2			
				朝鮮史	2	朝鮮史	2			
				博物館概論	2	博物館経営論	2			
				博物館資料論	2					

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語学概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単元以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単元以上を履修しなければならない。  
 (2) 演習はa、bにわたり8単元以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちにIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) [ ]内は今年度休講。

人文学部 日本語日本文学科 平成31年度入学生 (LJ19台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	} 計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
総合系列科目 学修基盤科目					
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	} 計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目……………				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	} 計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 24 単位以上				
	選択科目…………… 28 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目……………	} 計12単位以上	}	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 71、80を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 平成31年度入学生 (LJ19台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 西洋史A 2 西アジアの文化A 2 芸文A 2	2	哲学B 2 倫理学B 2 西洋史B 2 西アジアの文化B 2 芸文B 2	2	論理学A 2 宗東日西本教育憲史A 2 教洋学A 2 文文学A 2 文文学A 2	2	論理学B 2 宗東日西本教育憲史B 2 教洋学B 2 文文学B 2 文文学B 2	2
		社会科学	法政商教心学A 2 治育学B 2 理学B 2 心学A 2	2	法経社教育の原理・課程論学B 2 社会学A 2 心理学B 2 心学B 2	2	日本国憲法史A 2 日経社地文文化人類学A 2 本国教育史B 2 社会心理学B 2 文化人類学A 2	2	政治学A 2 商教心学A 2 教育論学B 2 地理学B 2 文化人類学B 2	2
		自然科学	数学入門学A 2 数理の地球学B 2 新しい自然環境学B 2 自然科学と人間学A 2	2	基礎数学学B 2 自然界と物質の化学学B 2 ミクロの生物科学学B 2	2	統計学A 2 生活と環境の化学学B 2 マクロの生物学学B 2	2	物理科学入門学A 2 地球科学入門学B 2 自然環境学B 2 自然科学入門学B 2	2
		総合学修科目	地球文化と教育学A 2 福大生のためのキャリアデザイン学B 2	2	生命・健康と医療の現代を生きる学B 2 福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか学B 2	2	国際化と日本学B 2	2	科学・技術・情報と社会学B 2	2
	外国語科目	第1	※フレッシュマンイングリッシュI	1	※インターメディアイトイングリッシュI	1				
			※フレッシュマンイングリッシュII	1	※インターメディアイトイングリッシュII	1				
		第2	△ドイ ツ 語 I A B 2	2	△ドイ ツ 語 II A B 2	2				
			△フ ラ ンス 語 I A B 2	2	△フ ラ ンス 語 II A B 2	2				
			△中 国 語 I A B 2	2	△中 国 語 II A B 2	2				
			△ス ペ イ ン 語 I A B 2	2	△ス ペ イ ン 語 II A B 2	2				
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ論	2						
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が 適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	日本文学史I	2	日本語史I	2			卒業論文及び卒業論文指導	8	
		日本文学講義I	2	日本語講義I	2					
	選択必修科目	日本語学概論I	2	[古代語調査研究法]	2	[古代語演習a]	4	[古代語演習b]	4	
		日本語学概論II	2	近代語調査研究法	2	近代語演習a	4	近代語演習b	4	
		日本語学概論III	2	現代語調査研究法	2	現代語演習a	4	現代語演習b	4	
		日本語学概論IV	2	古典文学調査研究法I	2	古典文学演習Ia	4	古典文学演習Ib	4	
		日本語学概論V	2	古典文学調査研究法II	2	古典文学演習IIa	4	古典文学演習IIb	4	
		日本語学概論VI	2	近代文学調査研究法I	2	近代文学演習Ia	4	近代文学演習Ib	4	
		日本語学概論VII	2	近代文学調査研究法II	2	近代文学演習IIa	4	近代文学演習IIb	4	
		日本語学概論VIII	2	近代文学調査研究法III	2	近代文学演習IIIa	4	近代文学演習IIIb	4	
比較文学概論	2	古典文学及び比較文学調査研究法	2	[古典文学及び比較文学演習a]	4	[古典文学及び比較文学演習b]	4			
選択科目	地域文化研究	2	日本語表現法I	2	日本語学特講Ia	2	[日本語学特講Ib]	2		
	地域語研究	2	日本語表現法II	2	日本語学特講IIa	2	[日本語学特講IIb]	2		
	芸能研究	2	漢文学講義I	2	日本語学特講IIIa	2	[日本語学特講IIIb]	2		
	近代文学及び比較文学講義I	2	漢文学講義II	2	日本語学特講IVa	2	[日本語学特講IVb]	2		
			近代文学及び比較文学講義II	2	日本語学特講Va	2	[日本語学特講Vb]	2		
			近代文学及び比較文学講義III	2	日本語学特講VIa	2	[日本語学特講VIb]	2		
			日本語教育法I	2	日本文学特講Ia	2	[日本文学特講Ib]	2		
			日本語教育法II	2	日本文学特講IIa	2	[日本文学特講IIb]	2		
					日本文学特講IIIa	2	[日本文学特講IIIb]	2		
					日本文学特講IVa	2	[日本文学特講IVb]	2		
関連教育科目	中国言語文化概説A (文学)	2	イギリス文化・文学概説A	2	日本文学特講Va	2	[日本文学特講Vb]	2		
	韓国言語文化概説A (文学)	2	ドイツ文学概説B	2	日本文学特講VIa	2	[日本文学特講VIb]	2		
	文化人類学特講	2	アメリカ文化・文学概説A	2	日本文学特講VIIa	2	[日本文学特講VIIb]	2		
	社会人類学	2	アメリカ文化・文学概説B	2	日本文学特講VIIIa	2	[日本文学特講VIIIb]	2		
	日本美術史	2	言語学概論A	2	比較文学特講Ia	2	[比較文学特講Ib]	2		
	日本美術史	2	言語学概論B	2	比較文学特講IIa	2	[比較文学特講IIb]	2		
	日本文学概説A	2	歴史学資料論A	2	[比較文学特講IIIa]	2	[比較文学特講IIIb]	2		
	日本文学概説B	2	歴史学資料論B	2	[比較文学特講IVa]	2	[比較文学特講IVb]	2		
	日本文学概説C	2	地域史概論	2	社会言語学特講	2	心理言語学特講	2		
	日本文学概説D	2	憲法比較社会論	2	日本語教育法III	2	日本語教授法演習I	2		
日本文学概説E	2	比較社会心理学	2	日本語教育法IV	2	日本語教授法演習II	2			
日本文学概説F	2	文化地理学	2	ドイツ文学概説A	2	ドイツ文学概説B	2			
日本文学概説G	2	コンピュータ入門I	2	フランス文学概説A	2	フランス文学概説B	2			
日本文学概説H	2	コンピュータ入門II	2	比較文化論	2	民俗文化論	2			
日本文学概説I	2	現代新学思想史B	2	[日本の文化と歴史A]	2	[日本の文化と歴史B]	2			
日本文学概説J	2			[日本の文化と歴史C]	2	[日本の文化と歴史D]	2			
日本文学概説K	2			[東洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史B]	2			
日本文学概説L	2			[東洋の文化と歴史C]	2	[東洋の文化と歴史D]	2			
日本文学概説M	2			[西洋の文化と歴史A]	2	[西洋の文化と歴史B]	2			
日本文学概説N	2			[西洋の文化と歴史C]	2	[西洋の文化と歴史D]	2			
日本文学概説O	2			マス・コミュニケーション論	2	メディア文化論	2			
日本文学概説P	2			図書館概論	2	図書館資料論	2			
日本文学概説Q	2			図書館概論	2	朝鮮史	2			
日本文学概説R	2			博物館概論	2	博物館経営論	2			
日本文学概説S	2			博物館資料論	2					
日本文学概説T	2									
日本文学概説U	2									
日本文学概説V	2									
日本文学概説W	2									
日本文学概説X	2									
日本文学概説Y	2									
日本文学概説Z	2									
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が 適当と認める授業科目										
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が 適当と認める科目										

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語学概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。  
 (2) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちにIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 日本語日本文学科 平成30年度入学生 (LJ18台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	合計40単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計76単位以上	}	}	総計128単位以上
	選択必修科目…………… 24 単位以上				
	選択科目…………… 28 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}	}	総計128単位以上
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 71、80を参照すること。



年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 平成30年度入学生 (LJ18台)

\*印は必修
△印は選択必修

Main table with columns for '第1・2・3・4年次', '授業科目', and '単位'. It is organized into sections: '共通教育科目' (General Education), '外国語科目' (Foreign Language), '専門教育科目' (Specialized Education), and '関連教育科目' (Related Education). It lists various subjects like Philosophy, History, Literature, and Languages with their respective units and credits.

(注) (1) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単元以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単元以上を履修しなければならない。(2) 演習はa、bにわたり8単元以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。(3) 日本語教育法Ⅰ、日本語教育法Ⅱ、日本語教育法Ⅲ、日本語教育法Ⅳの履修についてはⅠ、Ⅱを履修したのちⅢ、Ⅳを履修し、日本語教授法演習Ⅰ、日本語教授法演習Ⅱは、日本語教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。(4) [ ] 内は今年度休講。



人文学部 日本語日本文学科 平成29年度入学生 (LJ17台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計40単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上		
		(二カ国語履修可)		
(1) 共通教育科目	保健体育科目…………… 4 単位			
(1) 共通教育科目	単位互換科目……………			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計76単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目…………… 24 単位以上			
	選択科目…………… 28 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目……………	計12単位以上	総計128単位以上	
	専門教育科目……………			
	関連教育科目……………			

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 71、80を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 平成29年度入学生 (LJ17台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
	西洋	学A	2	西洋	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2	
	国文	学A	2	国文	学B	2	文	学A	2	文	学B	2	
	芸術	学A	2	芸術	学B	2	教	学A	2	教	学B	2	
社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日	学A	2	政	学A	2	
	商教	学B	2	社	学A	2	経	学B	2	商	学B	2	
自然科学	数	学A	2	数	学B	2	地	学A	2	化	学A	2	
	理	学B	2	理	学B	2	統	学B	2	計	学A	2	
総合	学A	2	生命・健康と医療	学A	2	国際化と日本	学A	2	科学・技術・情報と社会	学A	2		
学修	学A	2	現代を生きる	学A	2		学A	2		学A	2		
科目	学A	2	福大生のためのキャリアデザイン	学A	2		学A	2		学A	2		
科目	学A	2	福大生のためのキャリアデザイン	学A	2		学A	2		学A	2		
外国語科目	第1	※フレッシュマンイングリッシュI	1	※インターメディアイトイングリッシュI	1								
		※フレッシュマンイングリッシュII	1	※インターメディアイトイングリッシュII	1								
第2	第2	△ドイ ツ 語 I A B	2	△ドイ ツ 語 II A B	2								
		△ドイ ツ 語 I A B	2	△ドイ ツ 語 II A B	2								
		△フ ラ ン ス 語 I A B	2	△フ ラ ン ス 語 II A B	2								
		△中 国 語 I A B	2	△中 国 語 II A B	2								
		△ス ペ イ ン 語 I A B	2	△ス ペ イ ン 語 II A B	2								
		△朝 鮮 語 I A B	2	△朝 鮮 語 II A B	2								
		△ロ シ ア 語 I A B	2	△ロ シ ア 語 II A B	2								
		△ロ シ ア 語 I A B	2	△ロ シ ア 語 II A B	2								
		△ロ シ ア 語 I A B	2	△ロ シ ア 語 II A B	2								
		△ロ シ ア 語 I A B	2	△ロ シ ア 語 II A B	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1									
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	日本文学史I	2	日本語史I	2					卒業論文及び卒業論文指導	8		
		日本文学講義I	2	日本語講義I	2								
選択必修科目	選択必修科目	日本文学概論I	2	[古代語調査研究法]	2	[古代語演習a]	4	[古代語演習b]	4				
		日本文学概論II	2	近代語調査研究法	2	近代語演習a	4	近代語演習b	4				
選択科目	選択科目	地域文化研究	2	日本語表現法I	2	日本語特講I a	2	[日本語特講I b]	2				
		地域語研究	2	日本語表現法II	2	日本語特講II a	2	[日本語特講II b]	2				
関連教育科目	関連教育科目	中国言語文化概説A(文学)	2	イギリス文化・文学概説A	2	ドイツ文学概説A	2	フランス文学概説B	2				
		韓国言語文化概説A(文学)	2	アメリカ文化・文学概説A	2	比較文化論	2	異文化理解	2				
		文化人類学特講	2	アメリカ文化・文学概説B	2	[日本の文化と歴史A]	2	[日本の文化と歴史B]	2				
		社会人類学	2	言語学概論A	2	日本の文化と歴史C	2	[日本の文化と歴史D]	2				
		日本文学美術史	2	言語学概論B	2	[東洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史B]	2				
		日本文学概説A	2	歴史学資料論A	2	東洋の文化と歴史C	2	[西洋の文化と歴史A]	2				
		日本文学概説B	2	歴史学資料論B	2	西洋の文化と歴史C	2	[西洋の文化と歴史B]	2				
		日本文学概説C	2	地域史概論	2	マシ・コミュニケーション論	2	西洋の文化と歴史D	2				
		日本文学概説D	2	憲法	2	マシ・コミュニケーション論	2	現代メディア論	2				
		日本文学概説E	2	憲法	2	マシ・コミュニケーション論	2	現代メディア論	2				
		日本文学概説F	2	比較社会心理学	2	図書館概論	2	図書館資料論	2				
		日本文学概説G	2	社会心理学	2	図書館概論	2	図書館資料論	2				
		日本文学概説H	2	社会心理学	2	図書館概論	2	図書館資料論	2				
		日本文学概説I	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説J	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説K	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説L	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説M	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説N	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説O	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説P	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説Q	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説R	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説S	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説T	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説U	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説V	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説W	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説X	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説Y	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		日本文学概説Z	2	文化心理学	2	博物館概論	2	博物館経営論	2				
		他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目		他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。  
 (2) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちにIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 日本語日本文学科 平成28年度入学生 (LJ16台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上			
外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計40単位以上	
	第2 外国語…………… 8 単位以上			
	(二カ国語履修可)			
保健体育科目…………… 4 単位				
単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計76単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目…………… 24 単位以上			
	選択科目…………… 28 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	総計128単位以上	
	専門教育科目			
	関連教育科目			

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2 外国語は同一外国語で8 単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4 科目8 単位以上、調査研究法はこれらのうちから4 科目8 単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、b にわたり8 単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 71、80を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 平成28年度入学生 (LJ16台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
	西洋	学A	2	西洋	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2	
	国文	学A	2	国文	学B	2	文	学A	2	文	学B	2	
社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日	学A	2	政	学A	2	
	商教	学B	2	社	学A	2	経	学B	2	商	学B	2	
自然科学	数	学A	2	基	学B	2	統	学A	2	物	学A	2	
	理	学B	2	礎	学B	2	計	学B	2	理	学B	2	
総合	地	学A	2	命・	学A	2	国	学A	2	科	学A	2	
学修	文	学A	2	健	学A	2	際	学A	2	学	学A	2	
科目	化	学A	2	康	学A	2	化	学A	2	学	学A	2	
目	と	学A	2	と	学A	2	と	学A	2	と	学A	2	
	教	学A	2	医	学A	2	日	学A	2	社	学A	2	
	育	学A	2	療	学A	2	本	学A	2	会	学A	2	
	基	学A	2	を	学A	2	国	学A	2	学	学A	2	
	目	育	学A	を	学A	2	際	学A	2	学	学A	2	
	目	育	学A	ふ	学A	2	化	学A	2	学	学A	2	
				か									
外国語科目	第1	※フレッシュマンイングリッシュI	1	※インターメディアイトイングリッシュI	1								
		※フレッシュマンイングリッシュII	1	※インターメディアイトイングリッシュII	1								
第2	第2	△△ドイ ツ 語 I A B	2	△△ドイ ツ 語 II A B	2								
		△△フ ラ ン ス 語 I A B	2	△△フ ラ ン ス 語 II A B	2								
		△△中 国 語 I A B	2	△△中 国 語 II A B	2								
		△△ス ペ イ ン 語 I A B	2	△△ス ペ イ ン 語 II A B	2								
		△△朝 鮮 語 I A B	2	△△朝 鮮 語 II A B	2								
		△△ロ シ ア 語 I A B	2	△△ロ シ ア 語 II A B	2								
		△△シ ア 語 I A B	2	△△シ ア 語 II A B	2								
		△△シ ア 語 I A B	2	△△シ ア 語 II A B	2								
		△△シ ア 語 I A B	2	△△シ ア 語 II A B	2								
		△△シ ア 語 I A B	2	△△シ ア 語 II A B	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1									
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												
専門教育科目	必修科目	日本文学史I	2	日本文学史I	2					卒業論文及び卒業論文指導	8		
		日本文学講義I	2	日本文学講義II	2								
選択必修科目	日本文学概論I	日本文学概論I	2	[古代語調査研究法]	2	[古代語演習a]	4	[古代語演習b]	4				
		日本文学概論II	2	近代語調査研究法	2	近代語演習a	4	近代語演習b	4				
選択科目	地域文化研究	地域文化研究	2	日本語表現法I	2	日本語特講I a	2	[日本語特講I b]	2				
		地域語研究II	2	日本語表現法II	2	日本語特講II a	2	[日本語特講II b]	2				
関連教育科目	中国言語文化概説A(文学)	中国言語文化概説A(文学)	2	イギリス文化・文学概説A	2	ドイツ文学概説A	2	フランス文学概説B	2				
		韓国言語文化概説A(文学)	2	アメリカ文化・文学概説A	2	比較文化論	2	異文化理解	2				
	文化人類学特講	2	アメリカ文化・文学概説B	2	[日本の文化と歴史A]	2	[日本の文化と歴史B]	2					
	社会人類学	2	言語学概論A	2	日本の文化と歴史C	2	[日本の文化と歴史D]	2					
	日本美術史	2	言語学概論B	2	[東洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史B]	2					
	日本文学史	2	言語学概論C	2	東洋の文化と歴史C	2	[西洋の文化と歴史A]	2					
	日本文学史概説A	2	歴史学資料論A	2	西洋の文化と歴史D	2	[西洋の文化と歴史B]	2					
	日本文学史概説B	2	歴史学資料論B	2	西洋の文化と歴史E	2	[西洋の文化と歴史C]	2					
	日本文学史概説C	2	地域史概論	2	現代メディア論	2	西洋の文化と歴史F	2					
	日本文学史概説D	2	憲法	2	図書館概論	2	現代メディア論	2					
	日本文学史概説E	2	憲法	2	図書館概論	2	図書館概論	2					
	日本文学史概説F	2	比較社会心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説G	2	社会心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説H	2	社会心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説I	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説J	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説K	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説L	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説M	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説N	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説O	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説P	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説Q	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説R	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説S	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説T	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説U	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説V	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説W	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説X	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説Y	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	日本文学史概説Z	2	文化心理学	2	図書館概論	2	博物館概論	2					
	他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目												
	他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目												

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。  
 (2) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちにIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 日本語日本文学科 平成27年度入学生 (LJ15台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計40単位以上
		第2外国語…………… 8 単位以上		
		(二カ国語履修可)		
(1) 共通教育科目	保健体育科目…………… 4 単位			
(1) 共通教育科目	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計76単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目…………… 24 単位以上			
	選択科目…………… 28 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	総計128単位以上	
	専門教育科目			
	関連教育科目			

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 71、80を参照すること。



年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 平成27年度入学生 (LJ15台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																		
		授業科目				授業科目				授業科目				授業科目						
共通教養科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2	
		西洋	学A	2	西洋	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2	
		日西	学A	2	日西	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2	
		中国	学A	2	中国	学B	2	文	学A	2	文	学B	2	文	学A	2	文	学B	2	
		芸	学A	2	芸	学B	2	本	学A	2	本	学B	2	本	学A	2	本	学B	2	
	社会科学	法政	学A	2	法政	学B	2	日	学A	2	日	学B	2	日	学A	2	日	学B	2	
		商	学B	2	商	学A	2	本	学B	2	本	学A	2	本	学B	2	本	学A	2	
		教	学B	2	教	学A	2	国	学B	2	国	学A	2	国	学B	2	国	学A	2	
		育	学A	2	育	学B	2	文	学A	2	文	学B	2	文	学A	2	文	学B	2	
		論	学A	2	論	学B	2	化	学A	2	化	学B	2	化	学A	2	化	学B	2	
自然科学	数	学A	2	数	学B	2	統	学A	2	統	学B	2	統	学A	2	統	学B	2		
	物	学A	2	物	学B	2	計	学A	2	計	学B	2	計	学A	2	計	学B	2		
	理	学A	2	理	学B	2	生	学A	2	生	学B	2	生	学A	2	生	学B	2		
	の	学A	2	の	学B	2	活	学A	2	活	学B	2	活	学A	2	活	学B	2		
	世	学A	2	世	学B	2	マ	学A	2	マ	学B	2	マ	学A	2	マ	学B	2		
総合科目	地	学A	2	生	学A	2	国	学A	2	科	学A	2	科	学A	2	科	学A	2		
学修科目	福	学A	2	福	学A	2	福	学A	2	福	学A	2	福	学A	2	福	学A	2		
		第1年次				第2年次				第3年次				第4年次						
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1															
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1															
		※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1															
		※フレッシュマン・イングリッシュIV	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1															
	第2	△[ド]	2	△[ド]	2															
		△[フ]	2	△[フ]	2															
		△[中]	2	△[中]	2															
		△[ス]	2	△[ス]	2															
		△[朝]	2	△[朝]	2															
		△[ロ]	2	△[ロ]	2															
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1																
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目																			
専門教育科目	必修科目	日本文学	2	日本語史	2														卒業論文及び卒業論文指導	8
		古典文学	2	古典文学	2															
	選択必修科目	日本文学	2	[古代語調査研究法]	2	[古代語演習a]	4	[古代語演習b]	4											
		日本語学	2	近代語調査研究法	2	近代語演習a	4	近代語演習b	4											
		日本文学	2	現代語調査研究法	2	現代語演習a	4	現代語演習b	4											
		日本文学	2	古典文学調査研究法I	2	古典文学演習Ia	4	古典文学演習Ib	4											
		比較文学	2	古典文学調査研究法II	2	古典文学演習IIa	4	古典文学演習IIb	4											
			近代文学調査研究法I	2	近代文学演習Ia	4	近代文学演習Ib	4												
			近代文学調査研究法II	2	近代文学演習IIa	4	近代文学演習IIb	4												
			近現代文学調査研究法III	2	近現代文学演習IIIa	4	近現代文学演習IIIb	4												
選択科目	地域文化	2	日本語表現法I	2	日本語学特講Ia	2	[日本語学特講Ib]	2												
	地域語	2	日本語表現法II	2	日本語学特講IIa	2	[日本語学特講IIb]	2												
	芸能	2	漢文学講読II	2	日本語学特講IIIa	2	[日本語学特講IIIb]	2												
	芸能	2	漢文学講読I	2	日本語学特講IVa	2	[日本語学特講IVb]	2												
	近代文学	2	近代文学及び比較文学講読II	2	日本語学特講V a	2	[日本語学特講V b]	2												
	近代文学	2	近代文学及び比較文学講読III	2	日本語学特講VI a	2	[日本語学特講VI b]	2												
	近代文学	2	日本語教育法I	2	日本文学特講II a	2	[日本文学特講II b]	2												
	近代文学	2	日本語教育法II	2	日本文学特講III a	2	[日本文学特講III b]	2												
関連教育科目	中国語	2	イギリス文化・文学概論A	2	ドイツ文学概論A	2	フランス文学概論A	2												
	韓国語	2	イギリス文化・文学概論B	2	ドイツ文学概論B	2	フランス文学概論B	2												
	文化	2	アメリカ文化・文学概論A	2	イギリス文化各論A	2	アメリカ文化各論A	2												
	社会	2	アメリカ文化・文学概論B	2	イギリス文化各論B	2	アメリカ文化各論B	2												
	美術	2	言語学概論A	2	ドイツ事情概論A	2	フランス事情概論A	2												
	史論	2	言語学概論B	2	フランス事情概論B	2	ドイツ事情概論B	2												
	考古	2	歴史学資料論A	2	東アジア地域事情特講A	2	[東アジア地域事情特講B]	2												
	古学	2	歴史学資料論B	2	比較文化論	2	異文化理解	2												
	史概	2	地域史概論	2	[日本の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史A]	2												
	日史	2	憲法	2	[日本の文化と歴史B]	2	[東洋の文化と歴史B]	2												

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語学概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。  
 (2) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) [ ]内は今年度休講。



人文学部 日本語日本文学科 平成26年度入学生 (LJ14台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計128単位以上	
	第2 外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)			
保健体育科目…………… 4 単位	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計76単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目…………… 24 単位以上			
	選択科目…………… 28 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上		
	専門教育科目			
	関連教育科目			

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2 外国語は同一外国語で8 単位を修得しなければならない。
- (2) 日本文学概論ⅠⅡ、日本語学概論ⅠⅡ、比較文学概論についてはこれらのうちから4 科目8 単位以上、調査研究法はこれらのうちから4 科目8 単位以上を履修しなければならない。
- (3) 演習はa、b にわたり8 単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。

詳細は、p. 71、80を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 日本語日本文学科 平成26年度入学生 (LJ14台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次																	
		授業科目				授業科目				授業科目				授業科目					
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	
		社会科学	政治学A	2	政治学B	2	政治学A	2	政治学B	2	政治学A	2	政治学B	2	政治学A	2	政治学B	2	
		自然科学	数学A	2	数学B	2	数学A	2	数学B	2	数学A	2	数学B	2	数学A	2	数学B	2	
		総合科目	環境学A	2	環境学B	2	環境学A	2	環境学B	2	環境学A	2	環境学B	2	環境学A	2	環境学B	2	
		学修科目	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	キャリアデザイン	2	
	外国語科目	第1	フレッシュマン・イングリッシュI	1	フレッシュマン・イングリッシュI	1	フレッシュマン・イングリッシュI	1	フレッシュマン・イングリッシュI	1	フレッシュマン・イングリッシュI	1	フレッシュマン・イングリッシュI	1	フレッシュマン・イングリッシュI	1	フレッシュマン・イングリッシュI	1	
		第2	△[ド] イ	2	△[ド] イ	2	△[ド] イ	2	△[ド] イ	2	△[ド] イ	2	△[ド] イ	2	△[ド] イ	2	△[ド] イ	2	
		保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1	
		単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目																
		必修科目	日本文学史I	2	日本文学史II	2	日本語史I	2	日本語史II	2	古典文学講読I	2	古典文学講読II	2	卒業論文及び卒業論文指導	8			
専門教育科目	選択必修科目	日本文学概論I	2	日本語概論I	2	比較文学概論I	2	日本文学概論II	2	日本語概論II	2	比較文学概論II	2	[古代語演習a]	4	[古代語演習b]	4		
		日本文学概論II	2	日本語概論II	2	比較文学概論II	2	日本文学概論III	2	日本語概論III	2	比較文学概論III	2	[近代語演習a]	4	[近代語演習b]	4		
		日本文学概論III	2	日本語概論III	2	比較文学概論III	2	日本文学概論IV	2	日本語概論IV	2	比較文学概論IV	2	[現代語演習a]	4	[現代語演習b]	4		
		日本文学概論IV	2	日本語概論IV	2	比較文学概論IV	2	日本文学概論V	2	日本語概論V	2	比較文学概論V	2	[古典文学演習a]	4	[古典文学演習b]	4		
		日本文学概論V	2	日本語概論V	2	比較文学概論V	2	日本文学概論VI	2	日本語概論VI	2	比較文学概論VI	2	[近代文学演習a]	4	[近代文学演習b]	4		
	選択科目	地域文化研究	2	地域文化研究	2	地域文化研究	2	地域文化研究	2	地域文化研究	2	地域文化研究	2	地域文化研究	2	地域文化研究	2	地域文化研究	2
		漢学研究	2	漢学研究	2	漢学研究	2	漢学研究	2	漢学研究	2	漢学研究	2	漢学研究	2	漢学研究	2	漢学研究	2
		漢学研究II	2	漢学研究II	2	漢学研究II	2	漢学研究II	2	漢学研究II	2	漢学研究II	2	漢学研究II	2	漢学研究II	2	漢学研究II	2
		漢学研究III	2	漢学研究III	2	漢学研究III	2	漢学研究III	2	漢学研究III	2	漢学研究III	2	漢学研究III	2	漢学研究III	2	漢学研究III	2
		漢学研究IV	2	漢学研究IV	2	漢学研究IV	2	漢学研究IV	2	漢学研究IV	2	漢学研究IV	2	漢学研究IV	2	漢学研究IV	2	漢学研究IV	2
関連教育科目	中国言語文化概説A(文学)	2	中国言語文化概説A(文学)	2	中国言語文化概説A(文学)	2	中国言語文化概説A(文学)	2	中国言語文化概説A(文学)	2	中国言語文化概説A(文学)	2	中国言語文化概説A(文学)	2	中国言語文化概説A(文学)	2	中国言語文化概説A(文学)	2	
	韓国言語文化概説A(文学)	2	韓国言語文化概説A(文学)	2	韓国言語文化概説A(文学)	2	韓国言語文化概説A(文学)	2	韓国言語文化概説A(文学)	2	韓国言語文化概説A(文学)	2	韓国言語文化概説A(文学)	2	韓国言語文化概説A(文学)	2	韓国言語文化概説A(文学)	2	
	文化人類学特講	2	文化人類学特講	2	文化人類学特講	2	文化人類学特講	2	文化人類学特講	2	文化人類学特講	2	文化人類学特講	2	文化人類学特講	2	文化人類学特講	2	
	社会学特講	2	社会学特講	2	社会学特講	2	社会学特講	2	社会学特講	2	社会学特講	2	社会学特講	2	社会学特講	2	社会学特講	2	
	日本文学史	2	日本文学史	2	日本文学史	2	日本文学史	2	日本文学史	2	日本文学史	2	日本文学史	2	日本文学史	2	日本文学史	2	
	言語学概論A	2	言語学概論A	2	言語学概論A	2	言語学概論A	2	言語学概論A	2	言語学概論A	2	言語学概論A	2	言語学概論A	2	言語学概論A	2	
	言語学概論B	2	言語学概論B	2	言語学概論B	2	言語学概論B	2	言語学概論B	2	言語学概論B	2	言語学概論B	2	言語学概論B	2	言語学概論B	2	
	歴史学概論A	2	歴史学概論A	2	歴史学概論A	2	歴史学概論A	2	歴史学概論A	2	歴史学概論A	2	歴史学概論A	2	歴史学概論A	2	歴史学概論A	2	
	歴史学概論B	2	歴史学概論B	2	歴史学概論B	2	歴史学概論B	2	歴史学概論B	2	歴史学概論B	2	歴史学概論B	2	歴史学概論B	2	歴史学概論B	2	
	情報処理概論I	4	情報処理概論I	4	情報処理概論I	4	情報処理概論I	4	情報処理概論I	4	情報処理概論I	4	情報処理概論I	4	情報処理概論I	4	情報処理概論I	4	

(注) (1) 日本文学概論I II、日本語概論I II、比較文学概論についてはこれらのうちから4科目8単位以上、調査研究法はこれらのうちから4科目8単位以上を履修しなければならない。  
 (2) 演習はa、bにわたり8単位以上を履修しなければならない。なお、演習は、調査研究法を履修したのちに履修することを原則とする。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちにIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 令和2年度入学生 (LP20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}		
	第2外国語…………… 8 単位以上				
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計66単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 12 単位以上				
	選択科目…………… 30 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上	}		
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 令和2年度入学生 (LP20台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
		日本文学A	2	日本文学B	2	東洋文学A	2	東洋文学B	2	
		西アジアの文化A	2	西アジアの文化B	2	西アジアの文化C	2	西アジアの文化D	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	社会学A	2	社会学B	2	
		法政学A	2	法政学B	2	経済学A	2	経済学B	2	
		教育心理学A	2	教育心理学B	2	教育心理学C	2	教育心理学D	2	
	自然科学	物理学A	2	物理学B	2	化学A	2	化学B	2	
		生物科学A	2	生物科学B	2	環境科学A	2	環境科学B	2	
		地球環境学A	2	地球環境学B	2	地球環境学C	2	地球環境学D	2	
総合科目	生命科学	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2				
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
教育	第1年次				第2年次		第3年次		第4年次	
	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目
専門教育	外国語科目	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1	アドバンス・イングリッシュI	1	アドバンス・イングリッシュII	1	
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	※インターメディアイト・イングリッシュIII	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュIV	1	※インターメディアイト・イングリッシュIV	1					
	必修科目	△[ド] イ	2	△[ド] イ	2					
		△[フ] ラ	2	△[フ] ラ	2					
		△[中] ス	2	△[中] ス	2					
		△[中] ス	2	△[中] ス	2					
		△[朝] 鮮	2	△[朝] 鮮	2					
		△[ロ] シ	2	△[ロ] シ	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1						
	※生涯スポーツ演習III	1	※生涯スポーツ演習IV	1						
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
専門教育	必修科目	基礎演習A	2	基礎演習B	2	専門演習I	2	専門演習II	2	
		基礎演習C	2	基礎演習D	2	専門演習III	2	専門演習IV	2	
		基礎演習E	2	基礎演習F	2					
		基礎演習G	2	基礎演習H	2					
	選択必修科目	教育心理学	2	教育心理学	2					
		教育心理学	2	教育心理学	2					
		教育心理学	2	教育心理学	2					
		教育心理学	2	教育心理学	2					
		教育心理学	2	教育心理学	2					
		教育心理学	2	教育心理学	2					
選択科目	共通科目群									
	公認心理師科目群	心理学的支援法	2	心理学的アセスメント	2	卒心	2	卒業研究	6	
	キャリアデザイン科目群	キャリア形成概論	2	キャリア形成基礎論	2	キャリアデザイン調査実習II	2	社会教育経営論A	2	
	学校教員科目群	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2	
	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2		
	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2		
関連教育科目	コ	2	コ	2	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2				
	ン	2	ン	2	教育方法論	2				
	ビ	2	ビ	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2				
	ュ	2	ュ	2	教育相談	2				
	一	2	一	2	社会教育実習	1				
	タ	2	タ	2	〔日本の文化と歴史A〕	2	〔西洋の文化と歴史A〕	2		
	入	2	入	2	〔日本の文化と歴史B〕	2	〔西洋の文化と歴史B〕	2		
	門	2	門	2	〔日本の文化と歴史C〕	2	〔日本の文化と歴史C〕	2		
	学	2	学	2	〔日本の文化と歴史D〕	2	〔日本の文化と歴史D〕	2		
	学	2	学	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2		

(注) (1) ( ) 内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 平成31年度入学生 (LP19台)

【卒業要件】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}		
	第2外国語…………… 8 単位以上				
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 24単位	計66単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 12単位以上				
	選択科目…………… 30単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上	}		
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 平成31年度入学生 (LP19台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次															
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位							
共通教育科目	総合教養科目	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2				
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2				
		日西	学A	2	日西	学B	2	東日	学A	2	東日	学B	2				
		アジアの文	学A	2	アジアの文	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2				
	社会科学	法政商	学A	2	法経社	学A	2	日本	学A	2	政商	学A	2				
		治育	学B	2	済会	学A	2	本教	学B	2	教育	学A	2				
		心育	学B	2	教育の原理・課程	学A	2	育憲	学B	2	地文	学A	2				
	自然科学	教新	学A	2	基礎	学A	2	統計	学A	2	物理	学A	2				
		理い	学A	2	自然	学A	2	生活	学A	2	地球	学A	2				
		自然	学A	2	ミク	学A	2	マク	学A	2	自然	学A	2				
総合系科目	地文	学A	2	生命・健康と医療	学A	2	国際化と日本	学A	2	科学・技術・情報と社会	学A	2					
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	学A	2	現代を生きる	学A	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	学A	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかにつぶか	学A	2					
専門教育科目	外国語科目	第1年次				第2年次				第3年次				第4年次			
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位	
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1										
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1										
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅢ	1												
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅣ	1												
		△ドイツ語Ⅰ	2	△ドイツ語Ⅱ	2												
		△フランス語Ⅰ	2	△フランス語Ⅱ	2												
		△中国語Ⅰ	2	△中国語Ⅱ	2												
		△スペイン語Ⅰ	2	△スペイン語Ⅱ	2												
△朝鮮語Ⅰ	2	△朝鮮語Ⅱ	2														
△ロシア語Ⅰ	2	△ロシア語Ⅱ	2														
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1													
	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1															
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目																
専門教育科目	必修科目	基礎演習A	2	基礎演習B	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2				
		キャリア形成基礎論Ⅰ	2	キャリア形成基礎論Ⅱ	2												
		教育心理学概論Ⅰ	2	教育心理学概論Ⅱ	2												
		臨床心理学概論	2														
	選択必修科目	教育心理学	2	学校心理学	2	心理教育学	2										
		発達心理学	2	教育心理学	2	心理教育学	2										
		教育心理学	2	心理教育学	2	心理教育学	2										
		教育心理学	2	心理教育学	2	心理教育学	2										
		教育心理学	2	心理教育学	2	心理教育学	2										
		教育心理学	2	心理教育学	2	心理教育学	2										
共通科目群	心理学	2	心理学	2	心理学	2											
	心理学	2	心理学	2	心理学	2											
	心理学	2	心理学	2	心理学	2											
	心理学	2	心理学	2	心理学	2											
公認心理師科目群	心理学的支援	2	心理学的支援	2	心理学的支援	2											
	社会的・集団心理	2	社会的・集団心理	2	社会的・集団心理	2											
	精神疾患とその治療	2	精神疾患とその治療	2	精神疾患とその治療	2											
	公認心理師の職責	2	公認心理師の職責	2	公認心理師の職責	2											
キャリアデザイン科目群	労働と法制度	2	労働と法制度	2	労働と法制度	2											
	地域教育デザイン	2	地域教育デザイン	2	地域教育デザイン	2											
	キャリアカウンセリング	2	キャリアカウンセリング	2	キャリアカウンセリング	2											
	社会教育演習Ⅰ	2	社会教育演習Ⅱ	2	社会教育演習Ⅲ	2											
学校教員科目群	法と子どもの権利	2	法と子どもの権利	2	法と子どもの権利	2											
	教育福祉	2	教育福祉	2	教育福祉	2											
	教育社会学	2	教育社会学	2	教育社会学	2											
	教育社会学	2	教育社会学	2	教育社会学	2											
関連教育科目	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2	総合的な学習の時間と特別活動の指導法	2											
	教育方法論	2	教育方法論	2	教育方法論	2											
	生徒指導論(進路指導を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2	生徒指導論(進路指導を含む)	2											
	教育相談	2	教育相談	2	教育相談	2											
	〔日本の文化と歴史A〕	2	〔日本の文化と歴史A〕	2	〔日本の文化と歴史A〕	2											
	〔日本の文化と歴史B〕	2	〔日本の文化と歴史B〕	2	〔日本の文化と歴史B〕	2											
	〔日本の文化と歴史C〕	2	〔日本の文化と歴史C〕	2	〔日本の文化と歴史C〕	2											
	〔日本の文化と歴史D〕	2	〔日本の文化と歴史D〕	2	〔日本の文化と歴史D〕	2											
	〔東洋の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2	〔東洋の文化と歴史A〕	2											
	〔東洋の文化と歴史B〕	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2	〔東洋の文化と歴史B〕	2											

(注) (1) ( ) 内は今年度休講。



人文学部 教育・臨床心理学科 平成30年度入学生 (LP18台)

【卒業要件】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}		
	第2外国語…………… 8 単位以上				
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 24単位	計66単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 12単位以上				
	選択科目…………… 30単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上	}		
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 平成30年度入学生 (LP18台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次															
		授業科目				授業科目				授業科目				授業科目			
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学	文学	歴史	外国語	哲学	文学	歴史	外国語	論宗	理学	学論	論宗	理学	学論	
		社会科学	法政	経済	商学	地文	法政	経済	商学	地文	法政	経済	商学	地文	法政	経済	
		自然科学	数学	物理	化学	生物	基礎	数学	物理	化学	生物	統計	環境	化学	物理	生物	
		総合系科目	現代	文化	環境	教育	生命	健康	医療	現代	文化	環境	教育	生命	健康	医療	
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	※フレッシュマン・イングリッシュII	※フレッシュマン・イングリッシュIII	※フレッシュマン・イングリッシュIV	※インターメディアイト・イングリッシュI	※インターメディアイト・イングリッシュII	※インターメディアイト・イングリッシュIII	※インターメディアイト・イングリッシュIV	アドバンスト・イングリッシュI	アドバンスト・イングリッシュII					
			△ドイ	△ドイ	△ドイ	△ドイ	△ドイ	△ドイ	△ドイ	△ドイ	△ドイ	△ドイ					
		第2	△中	△中	△中	△中	△中	△中	△中	△中	△中	△中					
			△ス	△ス	△ス	△ス	△ス	△ス	△ス	△ス	△ス	△ス					
			△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝	△朝					
			△ロ	△ロ	△ロ	△ロ	△ロ	△ロ	△ロ	△ロ	△ロ	△ロ					
保健体育科目	※生涯	※生涯	スポーツ	スポーツ	※生涯	※生涯	スポーツ	スポーツ									
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目																
専門教育科目	必修科目	基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習		
		基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習	基礎	演習		
	選択必修科目	教育	学	校	格	心	理	学	学	論							
		教育	学	校	格	心	理	学	学	論							
選択科目	共通科目群	心	理	学	研	究	法	学	研	究	心	理	学	支	援		
	公認心理師科目群	心	理	学	研	究	法	学	研	究	心	理	学	支	援		
	キャリアデザイン科目群	社	会	教	育	計	画	社	会	教	育	計	画	社	会		
	学校教員科目群	法	多	様	性	の	教	育	学	論	特	別	活	動	論		
関連教育科目	コン	地	域	史	概	論	地	域	史	概	論	特	別	活	動		
		地	域	史	概	論	地	域	史	概	論	特	別	活	動		
	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	入	門	学	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ		
	現	代	新	聞	学	現	代	新	聞	学	現	代	新	聞	学		
	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	入	門	学	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ		
	現	代	新	聞	学	現	代	新	聞	学	現	代	新	聞	学		
	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	入	門	学	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ		
	現	代	新	聞	学	現	代	新	聞	学	現	代	新	聞	学		
	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	入	門	学	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ		
	現	代	新	聞	学	現	代	新	聞	学	現	代	新	聞	学		
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目																	
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目																	

(注) (1) [ ]内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 平成29年度入学生 (LP17台)

【卒業要件】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}		
	第2外国語…………… 8 単位以上				
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 24単位	計66単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 12単位以上				
	選択科目…………… 30単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上	}		
	専門教育科目……………				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p.71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 平成29年度入学生 (LP17台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位				
共通教育科目	人文科学	哲学	A	2	哲学	B	2	論宗	A	2	論宗	B	2
		倫理	A	2	倫理	B	2	日本	A	2	日本	B	2
		東洋史	A	2	東洋史	B	2	西洋史	A	2	西洋史	B	2
		外国史	A	2	外国史	B	2	通史	A	2	通史	B	2
	社会科学	政治学	A	2	政治学	B	2	憲法	A	2	憲法	B	2
		経済学	A	2	経済学	B	2	社会学	A	2	社会学	B	2
		商学	A	2	商学	B	2	教育心理学	A	2	教育心理学	B	2
		地学	A	2	地学	B	2	文化人類学	A	2	文化人類学	B	2
	自然科学	物理学	A	2	物理学	B	2	化学	A	2	化学	B	2
		生物学	A	2	生物学	B	2	環境学	A	2	環境学	B	2
		地球科学	A	2	地球科学	B	2	物理学入門	A	2	物理学入門	B	2
	総合系科目	現代教育	A	2	現代教育	B	2	国際化と日本	A	2	国際化と日本	B	2
	学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	A	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	A	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	A	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	A	2
	教育科目			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
				授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
外国語科目		第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1					
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1					
第2		△	△ドイ	2	△ドイ	2							
		△	△ツ	2	△ツ	2							
		△	△フ	2	△フ	2							
		△	△ラ	2	△ラ	2							
		△	△中	2	△中	2							
		△	△ス	2	△ス	2							
		△	△ベ	2	△ベ	2							
		△	△朝	2	△朝	2							
保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ論	2								
単位互換科目		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											
専門教育科目		必修科目	基礎	Ⅰ	2	基礎	Ⅲ	2	専門	Ⅰ	2	専門	Ⅲ
	演習		Ⅱ	2	演習	Ⅳ	2	演習	Ⅱ	2	演習	Ⅳ	2
	基礎		2	基礎	2								
	選択必修科目	学校	2	学校	2								
		臨床	2	臨床	2								
		心理学	2	心理学	2								
		心理学	2	心理学	2								
		心理学	2	心理学	2								
		心理学	2	心理学	2								
		心理学	2	心理学	2								
		心理学	2	心理学	2								
	選択科目	教育	2	教育	2	心理	2	心理	2	臨床	2	臨床	2
		心理学	2	心理学	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2
		心理学	2	心理学	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2
		心理学	2	心理学	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2
心理学		2	心理学	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	
心理学		2	心理学	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	
心理学		2	心理学	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	
心理学		2	心理学	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	臨床	2	
関連教育科目	コンピュータ	Ⅰ	2	地域	2	地域	2	地域	2	地域	2	地域	2
	コンピュータ	Ⅱ	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2
	現代新	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史
		2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史
		2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史
		2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史
		2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史
		2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史
		2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史
		2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史
		2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史
		2	史	2	史	2	史	2	史	2	史	2	史

(注) (1) [ ]内は今年度休講。

人文学部 教育・臨床心理学科 平成28年度入学生 (LP16台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計128単位以上	
	第2外国語…………… 8 単位以上			
	(二カ国語履修可)			
保健体育科目…………… 4 単位				
単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計66単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目…………… 12 単位以上			
	選択科目…………… 30 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上		
	専門教育科目			
	関連教育科目			

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 平成28年度入学生 (LP16台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	哲学史A	2	哲学史B	2	論宗本	2	論宗本	2
		日本史A	2	日本史B	2	本教史通	2	本教史通	2
		東洋史A	2	東洋史B	2	西日西	2	西日西	2
		中外史論A	2	中外史論B	2	本教史通	2	本教史通	2
	社会科学	法政経商教地文	2	法政経商教心	2	日政経社教心	2	法政経社教心	2
		政治学A	2	政治学B	2	社会学A	2	社会学B	2
		経済学A	2	経済学B	2	社会学C	2	社会学D	2
		教育論A	2	教育論B	2	教育論C	2	教育論D	2
	自然科学	数物理の基礎	2	自然界と物質の科学	2	生活と環境の科学	2	物理科学入門	2
		生物の基礎	2	ミクロの生物学	2	マクロの生物学	2	地球科学入門	2
		化学の基礎	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2
		環境教育	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2
総合系科目	現代教育	2		2		2		2	
	福大生のためのキャリアデザイン	2		2		2		2	
外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		
	単位		単位		単位		単位		
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅠ	1	アドバンスト・イングリッシュⅠ	1		
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイト・イングリッシュⅡ	1	アドバンスト・イングリッシュⅡ	1		
	第2	△△ ドイツ語Ⅰ	2	△△ ドイツ語Ⅱ	2				
		△△ フランス語Ⅰ	2	△△ フランス語Ⅱ	2				
		△△ 中国語Ⅰ	2	△△ 中国語Ⅱ	2				
		△△ スペイン語Ⅰ	2	△△ スペイン語Ⅱ	2				
		△△ 朝鮮語Ⅰ	2	△△ 朝鮮語Ⅱ	2				
		△△ ロシア語Ⅰ	2	△△ ロシア語Ⅱ	2				
		△△ シンハラ語Ⅰ	2	△△ シンハラ語Ⅱ	2				
△△ シンハラ語Ⅲ		2	△△ シンハラ語Ⅳ	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1					
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	基礎演習Ⅰ	2	基礎演習Ⅱ	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2
		基礎演習Ⅲ	2	基礎演習Ⅳ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2
		基礎演習Ⅴ	2						
		基礎演習Ⅵ	2						
	選択必修科目	学校臨床心理学	2	学校臨床心理学	2				
		発達心理学	2	発達心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2				
		キャリア教育論	2	キャリア教育論	2				
	選択科目	教育心理学研究法	2	教育心理学研究法	2	臨床心理学実習Ⅰ	2	臨床心理学実習Ⅱ	2
		臨床心理学実習Ⅰ	2	臨床心理学実習Ⅱ	2	臨床心理学実習Ⅲ	2	臨床心理学実習Ⅳ	2
		臨床心理学実習Ⅴ	2	臨床心理学実習Ⅵ	2	臨床心理学実習Ⅶ	2	臨床心理学実習Ⅷ	2
		臨床心理学実習Ⅷ	2	臨床心理学実習Ⅷ	2	臨床心理学実習Ⅷ	2	臨床心理学実習Ⅷ	2
関連教育科目	コンピュータ入門Ⅰ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	特別活動論	2	特別活動論	2	
	コンピュータ入門Ⅲ	2	コンピュータ入門Ⅳ	2	社会教育演習Ⅰ	2	社会教育演習Ⅱ	2	
	コンピュータ入門Ⅴ	2	コンピュータ入門Ⅵ	2	社会教育演習Ⅲ	2	社会教育演習Ⅳ	2	
	コンピュータ入門Ⅶ	2	コンピュータ入門Ⅷ	2	社会教育演習Ⅴ	2	社会教育演習Ⅵ	2	

(注) (1) [ ]内は今年度休講。



人文学部 教育・臨床心理学科 平成27年度入学生 (LP15台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
(1) 共通教育科目	保健体育科目…………… 4 単位				
(1) 共通教育科目	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 24 単位	計66単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 12 単位以上				
	選択科目…………… 30 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計22単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

(1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。

詳細は、p. 71を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 教育・臨床心理学科 平成27年度入学生 (LP15台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位				
共通教育科目	人文科学	哲学	A	2	哲学	B	2	論宗	A	2	論宗	B	2
		日本史	A	2	日本史	B	2	本教史	A	2	本教史	B	2
		東洋史	A	2	東洋史	B	2	本教史	A	2	本教史	B	2
		東外史	A	2	東外史	B	2	本教史	A	2	本教史	B	2
	社会科学	法政	A	2	法政	B	2	日政	A	2	日政	B	2
		経済	A	2	経済	B	2	本教	A	2	本教	B	2
		商学	A	2	商学	B	2	本教	A	2	本教	B	2
		教育	A	2	教育	B	2	本教	A	2	本教	B	2
	自然科学	数物	A	2	基礎	A	2	統計	A	2	物理	A	2
		理の	A	2	自然界	B	2	生活	B	2	地球	B	2
総合系科目	現代	A	2	生命・健康	A	2	国際化	A	2	科学・技術	A	2	
	福大生のためのキャリアデザイン	A	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	A	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	A	2	福大を学ぶ・福大でいかにつぶか	A	2	
外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次						
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位					
専門教育科目	必修科目	基礎	2	基礎	2	専門	2	専門	2				
		演習	2	演習	2	演習	2	演習	2				
	選択必修科目	心理学	2	心理学	2	心理学	2	心理学	2				
		臨床心理学	2	臨床心理学	2	臨床心理学	2	臨床心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2				
		発達心理学	2	発達心理学	2	発達心理学	2	発達心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2				
		教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2	教育心理学	2				
選択科目	心理学	2	心理学	2	心理学	2	心理学	2					
	臨床心理学	2	臨床心理学	2	臨床心理学	2	臨床心理学	2					

(注) (1) [ ]内は今年度休講。

人文学部 英語学科 令和2年度入学生 (LE20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	}	総計128単位以上
		コース別必修科目…………… 4 単位			
	選択必修科目…………… 8 単位以上				
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上			
		コース別選択科目…………… 8 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)  
 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 71、82～83を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 令和2年度入学生 (LE20台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通	教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本史A 2 西洋史A 2 西アジアの文化A 2 芸術A 2	2	哲学B 2 倫理学B 2 日本史B 2 西洋史B 2 西アジアの文化B 2 芸術B 2	2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋学A 2 日本文化学A 2 西文A 2	2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋学B 2 日本文化学B 2 西文B 2	2			
		社会科学	政治学A 2 法政商教心育理A 2 社会学B 2 心理学B 2	2	政治学B 2 法政商教心育理B 2 社会学A 2 心理学A 2	2	日本国憲学B 2 日経社地会理A 2 社会学B 2 文化人類学A 2	2	政治学A 2 法政商教心育理A 2 社会学A 2 心理学A 2	2			
		自然科学	数学入門A 2 物理の世界A 2 新しい地球環境A 2 自然科学と人間A 2	2	基礎数学A 2 自然界と物質の化学A 2 ミクロの生物学A 2	2	統計入門A 2 生活と環境の化学A 2 マクロの生物学A 2	2	物理科学入門A 2 地球圏科学入門A 2 自然科学入門A 2	2			
		総合科目	地文化と教育A 2 福大生のためのキャリアデザインA 2	2	生命・健康と医療A 2 現代を生きるA 2 アカデミックスキルズゼミI 2	2	国際化と日本A 2 アカデミックスキルズゼミII 2	2	科学・技術・情報と社会A 2 福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶかA 2	2			
		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次					
		授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		単位			
		教育	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI 1 ※フレッシュマン・イングリッシュII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIII 1 ※フレッシュマン・イングリッシュIV 1	1	※インターメディアイトイングリッシュI 1 ※インターメディアイトイングリッシュII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIII 1 ※インターメディアイトイングリッシュIV 1	1	アドバンスト・イングリッシュI 1 アドバンスト・イングリッシュII 1	1			
				第2	△ドクトランツ語学I 2 △ドクトランツ語学II 2 △中ラフ語学I 2 △中ラフ語学II 2 △中ラフ語学III 2 △中ラフ語学IV 2 △朝イイ語学I 2 △朝イイ語学II 2 △朝イイ語学III 2 △朝イイ語学IV 2	2	△ドクトランツ語学I 2 △ドクトランツ語学II 2 △中ラフ語学I 2 △中ラフ語学II 2 △中ラフ語学III 2 △中ラフ語学IV 2 △朝イイ語学I 2 △朝イイ語学II 2 △朝イイ語学III 2 △朝イイ語学IV 2	2					
				保健体育科目	※生涯スポーツ演習I 1 ※生涯スポーツ演習II 1	1	※生涯スポーツ論 2	2					
				単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門	必修科目			英文法A 2 英文法B 2 基礎演習A 2 基礎演習B 2 英会話I 2 英会話II 2 英語学概論A 2 英語学概論B 2 スピーチ・コミュニケーション概論A 2 スピーチ・コミュニケーション概論B 2 イギリス文化・文学概論A 2 イギリス文化・文学概論B 2 アメリカ文化・文学概論A 2 アメリカ文化・文学概論B 2	2	英語読解I 1 英語読解II 1 英語ライティングA 1 英語ライティングB 1 英会話I 1 英会話II 1 英語音声A 2 英語音声B 2	1	英語読解II A 1 英語読解II B 1	1				
				英語圏文化研修 4 英語プレゼンテーションA 2 英語プレゼンテーションB 2 メディアと英語文学A 2 メディアと英語文学B 2	4								
				他コースの全科目									
				言語コミュニケーション	英語学演習I A 2 英語学演習I B 2 スピーチ・コミュニケーション演習I A 2 スピーチ・コミュニケーション演習I B 2	2	英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2					
				選択科目	英語学の諸相I A 2 英語学の諸相I B 2 スピーチ・コミュニケーション研究I A 2 スピーチ・コミュニケーション研究I B 2	2	英語学の諸相II A 2 英語学の諸相II B 2 スピーチ・コミュニケーション研究II A 2 スピーチ・コミュニケーション研究II B 2	2					
				文化文学コース科目	イギリス文化・文学演習I A 2 イギリス文化・文学演習I B 2 アメリカ文化・文学演習I A 2 アメリカ文化・文学演習I B 2	2	イギリス文化・文学演習II A 2 イギリス文化・文学演習II B 2 アメリカ文化・文学演習II A 2 アメリカ文化・文学演習II B 2	2					
		選択必修科目											
		選択科目	イギリス文化・文学演習II A 2 イギリス文化・文学演習II B 2 アメリカ文化・文学演習II A 2 アメリカ文化・文学演習II B 2	2									
		関連教育科目	必修科目	比較文学概論I 2 日本文学概論II 2 日本文学概論III 2 憲法入門II 2 憲法入門III 2 民法入門II 2 民法入門III 2 現代思想史A 2 現代思想史B 2	2	文化人類学特講 2 社会思想史 2 ドイツ文学概論A 2 ドイツ文学概論B 2 フランス文学概論A 2 フランス文学概論B 2 日本語教育法I 2 日本語教育法II 2 コンピュータ入門III 2 コンピュータ入門IV 2 中国語文化概説A(文学) 2 債権法I 2 債権法II 2 債権法III 2	2	社会思想史 2 ドイツ文学概論A 2 ドイツ文学概論B 2 フランス文学概論A 2 フランス文学概論B 2 日本語教育法III 2 日本語教育法IV 2 欧米各国史A 2 欧米各国史B 2 [日本の文化と歴史A] 2 [日本の文化と歴史B] 2 [日本の文化と歴史C] 2 [日本の文化と歴史D] 2 [東洋の文化と歴史A] 2 [東洋の文化と歴史B] 2 東洋の文化と歴史C 2 東洋の文化と歴史D 2	2				
				イギリス文化・文学演習II A 2 イギリス文化・文学演習II B 2 アメリカ文化・文学演習II A 2 アメリカ文化・文学演習II B 2	2								
英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2												
英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2												
英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2												
英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2												
英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2												
英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2												
英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2												
英語学演習II A 2 英語学演習II B 2 スピーチ・コミュニケーション演習II A 2 スピーチ・コミュニケーション演習II B 2	2												
人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目 他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目													

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。  
 (4) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修については、I、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (5) [ ]内は今年度休講。

人文学部 英語学科 平成31年度入学生 (LE19台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
外国語科目	}	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	}	総計128単位以上
		コース別必修科目…………… 4 単位			
	選択必修科目…………… 8 単位以上				
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上			
		コース別選択科目…………… 8 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目				
	専門教育科目		計12単位以上		
	関連教育科目				

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)  
 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 71、82～83を参照すること。



# 年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

## 人文学部 英語学科 平成31年度入学生 (LE19台)

※印は必修  
△印は選択必修

共通教育科目		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
総合教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理哲学A	2	論理哲学B	2	
		西洋史A	2	西洋史B	2	宗教学A	2	宗教学B	2	
		芸術A	2	芸術B	2	東洋文芸A	2	東洋文芸B	2	
	社会科学	政治学A	2	経済社会学A	2	日本教育史A	2	政治教育史A	2	
自然科学	数学A	2	基礎数学A	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2		
	物理A	2	自然界と物質の科学A	2	統計学A	2	物理科学入門A	2		
	地球環境学A	2	生命・健康と医療A	2	生活と環境の科学A	2	地球科学入門A	2		
総合系科目	地球環境学B	2	現代を生きる	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2		
学修基盤科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学を学ぶ福岡大学でいかに学ぶか	2		
教育科目	外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教育科目	外国語科目	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイトイングリッシュI	1	アドバンス・イングリッシュI	1			
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイトイングリッシュII	1	アドバンス・イングリッシュII	1			
教育科目	外国語科目	△△ドイ ツ 語 I A	2	△△ドイ ツ 語 II A	2					
		△△フ ラ ン ス 語 I A	2	△△フ ラ ン ス 語 II A	2					
教育科目	保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1					
		単位互換科目		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が「相当と認める科目」						
専門教育科目	必修科目	英文法A	2	英語読解I A	1	英語読解II A	1			
		基礎演習A	1	英語ライティングA	1	英語読解II B	1			
専門教育科目	選択科目	英語プレゼンテーションA	2	英語プレゼンテーションB	2	英語圏文化研修	4			
		メディアと英語文学A	2	異文化コミュニケーションA	2	アカデミックライティング	2	英語圏地域研究A	2	
専門教育科目	言語コミュニケーション	英語学特講I A	2	英語学特講II A	2	英語学演習I A	2	英語学演習II A	2	
		スピーチ・コミュニケーション特講I A	2	スピーチ・コミュニケーション特講II A	2	英語学演習I B	2	英語学演習II B	2	
専門教育科目	文化文学コース科目	イギリス文化・文学概論A	2	イギリス文化・文学演習I A	2	イギリス文化・文学演習II A	2			
		アメリカ文化・文学概論A	2	アメリカ文化・文学演習I B	2	アメリカ文化・文学演習II B	2			
専門教育科目	関連教育科目	比較文学概論I	2	文化人類学特講	2	社会思想史	2	[西洋の文化と歴史A]	2	
		日本文学概論II	2	社会人類学	2	ドイツ文学概論A	2	[西洋の文化と歴史B]	2	
専門教育科目	関連教育科目	中国言語文化概論A	2	社ギリシア語A	2	ドイツ文学概論B	2	[西洋の文化と歴史C]	2	
		憲法II	2	ラテン語A	2	フランス文学概論A	2	[西洋の文化と歴史D]	2	
専門教育科目	関連教育科目	民法入門	2	日本語学概論I	2	フランス文学概論B	2	マス・コミュニケーション論	2	
		コンピュータ入門II	2	日本語学概論II	2	日本語教育法III	2	メディア文化論	2	
専門教育科目	関連教育科目	現代新思想史	2	日本語学概論A	2	日本語教育法IV	2	図書館概論	2	
			2	日本語学概論B	2	欧米各国史A	2	図書館資料論	2	
専門教育科目	関連教育科目		2	日本語教育法I	2	欧米各国史B	2	国際法総論	4	
			2	日本語教育法II	2	[日本の文化と歴史A]	2	債権総論	4	
専門教育科目	関連教育科目		2	日本語教育法III	2	[日本の文化と歴史B]	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2	
			2	日本語教育法IV	2	[日本の文化と歴史C]	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2	
専門教育科目	関連教育科目		2	債権各論	4	[日本の文化と歴史D]	2	[ヨーロッパ地域文化特講C]	2	
			2	コンピュータ入門III	2	[東洋の文化と歴史A]	2	[ヨーロッパ地域文化特講D]	2	
専門教育科目	関連教育科目		2	コンピュータ入門IV	2	[東洋の文化と歴史B]	2	東アジア相互理解演習A	2	
			2		2	[東洋の文化と歴史C]	2	東アジア相互理解演習B	2	
専門教育科目	関連教育科目		2		2	[東洋の文化と歴史D]	2	社会調査入門	2	
			2		2		2	日本語教授法演習I	2	
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が「相当と認める授業科目」								
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が「相当と認める科目」								

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。  
 (4) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修については、I、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (5) [ ] 内は今年度休講。



人文学部 英語学科 平成30年度入学生 (LE18台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上	総合系列科目 学修基盤科目		
外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計128単位以上	
	第2 外国語…………… 8 単位以上			
保健体育科目…………… 4 単位	単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	
		コース別必修科目…………… 4 単位		
	選択必修科目…………… 8 単位以上			
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上		
コース別選択科目…………… 8 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	
	専門教育科目			
	関連教育科目			

- (注) 1 英語学科の学生で、言語・コミュニケーション、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(学科履修規程第4条別表参照)  
 2 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 71、82～83を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 平成30年度入学生 (LE18台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 2 倫理学A 2 日本文学A 2 西国文A 2 芸文A 2	2	哲学B 2 倫理学B 2 日本文学B 2 西国文B 2 芸文B 2	2	論理学A 2 宗東日西本教育憲法A 2 洋史学A 2 文文学A 2 文文学A 2	2	論理学B 2 宗東日西本教育憲法B 2 洋史学B 2 文文学B 2 文文学B 2	2
		社会科学	法政商教心育理A 2 治学学B 2 育理学学B 2 論学学A 2	2	法経社教心育理B 2 済学学A 2 育原学論B 2	2	日本国憲法A 2 日経社地文計人類学A 2 本教育憲法B 2 済学学B 2 学学B 2	2	政商教心育理A 2 治学学B 2 育理学学B 2 論学学B 2	2
		自然科学	数物新自自然科学A 2 理の地球と人A 2 理の地球と人A 2 理の地球と人A 2	2	基礎数学A 2 自然界と物質の化学A 2 ミクロの生物科学A 2	2	統計人類学A 2 生活と環境の化学A 2 マクロの生物科学A 2	2	物理科学入門A 2 文化人類学B 2 地球科学入門A 2 自然科学入門A 2	2
		総合科目	地球環境と教育A 2 福大生のためのキャリアデザインA 2	2	生命・健康と医療A 2 現代を生きるA 2 アカデミックスキルズゼミI 2	2	国際化と日本A 2 アカデミックスキルズゼミII 2	2	科学・技術・情報と社会A 2 福岡大学学芸部福岡大学でいかに学ぶかA 2	2
	保健体育科目	単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
		単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
	専門教育科目	必修科目	英文法A 2 英文法B 2 基礎演習A 1 基礎演習B 1 会話I 1 会話II 1 英語学概論A 1 英語学概論B 2 スピーチ・コミュニケーション概論A 2 スピーチ・コミュニケーション概論B 2 イギリス文化・文学概論A 2 イギリス文化・文学概論B 2 アメリカ文化・文学概論A 2 アメリカ文化・文学概論B 2	2	英語読解I 1 英語読解II 1 英語ライティングA 1 英語ライティングB 1 会話II 1 英語音声学A 2 英語音声学B 2	1	英語読解II A 1 英語読解II B 1	1		
			英語圏文化研修A 4 アカデミックライティングA 2 ビジネスライティングA 2 英会話III A 1 英会話III B 1 異文化コミュニケーションA 2 異文化コミュニケーションB 2 イギリス文化各論A 2 イギリス文化各論B 2 アメリカ文化各論A 2 アメリカ文化各論B 2	4						
		選択科目	他コースの全科目							
			英語学特講I 2 英語学特講II 2 スピーチ・コミュニケーション特講I 2 スピーチ・コミュニケーション特講II 2	2	英語学特講II A 2 英語学特講II B 2 スピーチ・コミュニケーション特講II A 2 スピーチ・コミュニケーション特講II B 2	2				
文化文学コース科目		必修科目	イギリス文化・文学演習I 2 イギリス文化・文学演習II 2 アメリカ文化・文学演習I 2 アメリカ文化・文学演習II 2	2						
		選択必修科目	イギリス文化・文学演習I 2 イギリス文化・文学演習II 2 アメリカ文化・文学演習I 2 アメリカ文化・文学演習II 2	2						
選択科目		イギリス文化と文学I 2 イギリス文化と文学II 2 アメリカ文化と文学I 2 アメリカ文化と文学II 2	2							
		イギリス文化と文学I 2 イギリス文化と文学II 2 アメリカ文化と文学I 2 アメリカ文化と文学II 2	2							
関連教育科目		比較文学概論I 2 日本文学概論I 2 日本文学概論II 2 中国語文化概論A(文学) 2 憲法II 2 民法入門 2 民法総論 2 コンピュータ入門II 2 コンピュータ入門III 2 現代新開学 2 科学思想史B 2	2	文化人類学特講 2 社会人類学 2 社ギリシヤ語A 2 社ギリシヤ語B 2 テレン語A 2 テレン語B 2 日本語学概論I 2 日本語学概論II 2 日本語学概論III 2 日本語学概論IV 2 日本文学史I 2 日本文学史II 2 言語学概論A 2 言語学概論B 2 日本語教育法I 2 日本語教育法II 2 日語教育各論 4 権権 4 コンピュータ入門III 2 コンピュータ入門IV 2	2	[社会哲学入門] 2 [社会思想史] 2 [ドイツ文学概論A] 2 [ドイツ文学概論B] 2 [フランス文学概論A] 2 [フランス文学概論B] 2 [日本語教育法III] 2 [日本語教育法IV] 2 [欧米各国史A] 2 [欧米各国史B] 2 [日本の文化と歴史A] 2 [日本の文化と歴史B] 2 [日本の文化と歴史C] 2 [日本の文化と歴史D] 2 [東洋の文化と歴史A] 2 [東洋の文化と歴史B] 2 [東洋の文化と歴史C] 2 [東洋の文化と歴史D] 2	2	[西洋の文化と歴史A] 2 [西洋の文化と歴史B] 2 [西洋の文化と歴史C] 2 [西洋の文化と歴史D] 2 [マシ・コミュニケーション論] 2 [現代メディア] 2 [図書館概論] 2 [図書館資料] 2 [国際法総論] 4 [債権総論] 4 [ヨーロッパ地域文化特講A] 2 [ヨーロッパ地域文化特講B] 2 [ヨーロッパ地域文化特講C] 2 [ヨーロッパ地域文化特講D] 2 [東アジア相互理解演習A] 2 [東アジア相互理解演習B] 2 [日本語教授法演習I] 2 [日本語教授法演習II] 2		
		人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目 他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。  
(2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
(3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。  
(4) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修については、I、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
(5) [ ]内は今年度休講。

人文学部 英語学科 平成29年度入学生 (LE17台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
(1) 共通教育科目	保健体育科目…………… 4 単位				
(1) 共通教育科目	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	}	総計128単位以上
		コース別必修科目…………… 4 単位			
	選択必修科目…………… 8 単位以上				
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上			
(2) 専門教育科目	コース別選択科目…………… 8 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 英語学科の学生で、言語、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(年次別授業科目表参照)

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 71、82～83を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 平成29年度入学生 (LE17台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 倫理学A 日本文学A 西洋史学A 中国文学A 芸文術A	2 2 2 2 2 2	哲学B 倫理学B 日本文学B 西洋史学B 中国文学B 芸文術B	2 2 2 2 2 2	論理学A 宗東日西本 教洋文 学学学学学	2 2 2 2 2 2	論理学B 宗東日西本 教洋文 学学学学学	2 2 2 2 2 2
		社会科学	法政商教心 治育理	2 2 2 2	法経社教心 育理原論B	2 2 2 2	日本国憲 教育法 政治学 社会学 文化人類学	2 2 2 2 2	政商教心 治育理	2 2 2 2
		自然科学	数学入 物理の地球 新自然	2 2 2	基礎数学 自然界と物質の ミクロの生物科学	2 2 2	統計学 生活と環境の マクロの生物科学	2 2 2	物理科学入門 地球科学入門 自然科学入門	2 2 2
		総合系科目 学修基盤科目	地球環境 文化と教育 福大生のためのキャリアデザイン	2 2 2	生命・健康と医療 現代を生きる アカデミックスキルズゼミⅠ	2 2 2	国際化と日本 アカデミックスキルズゼミⅡ	2 2	科学・技術・情報と社会 福岡大学学芸部福岡大学でいかに学ぶか	2 2
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅠ	1	アドバンス・イングリッシュⅠ	1		
			※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディアイトイングリッシュⅡ	1	アドバンス・イングリッシュⅡ	1		
		第2	△△ドイ ツ 語 I A	2	△△ドイ ツ 語 II A	2				
			△△フ ラ ンス 語 I A	2	△△フ ラ ンス 語 II A	2				
			△△中 国 語 I A	2	△△中 国 語 II A	2				
			△△ス ペ イ ン 語 I A	2	△△ス ペ イ ン 語 II A	2				
△△朝 鮮 語 I A	2	△△朝 鮮 語 II A	2							
△△ロ シ ア 語 I A	2	△△ロ シ ア 語 II A	2							
保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	※生涯スポーツ演習Ⅱ	1						
単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	英文法A	2	英語読解ⅠA	1	英語読解ⅡA	1			
		英文法B	2	英語読解ⅠB	1	英語読解ⅡB	1			
		基礎演習A	1	英語ライティングⅠA	1					
		基礎演習B	1	英語ライティングⅠB	1					
	英会話ⅠA	1	英会話ⅡA	1						
	英会話ⅠB	1	英会話ⅡB	1						
	英語学概論A	2	英語音声学B	2						
	英語学概論B	2								
	スピーチ・コミュニケーション概論A	2								
	スピーチ・コミュニケーション概論B	2								
イギリス文化・文学概論A	2									
イギリス文化・文学概論B	2									
アメリカ文化・文学概論A	2									
アメリカ文化・文学概論B	2									
選択科目				英語プレゼンテーションA	2	英語ライティングⅡA	1	英語圏地域研究A	2	
				英語プレゼンテーションB	2	英語ライティングⅡB	1	英語圏地域研究B	2	
				メディアと英語文学A	2	英会話ⅢA	1	英語圏文化と社会A	2	
				メディアと英語文学B	2	英会話ⅢB	1	英語圏文化と社会B	2	
						英語コミュニケーション研究A	1	実践英語学研究A	2	
						英語コミュニケーション研究B	1	実践英語学研究B	2	
					イギリス文化各論A	2	観光・ビジネス英語メ	2		
					イギリス文化各論B	2	ディア	2		
					アメリカ文化各論A	2	卒業論文	6		
					アメリカ文化各論B	2	卒業研究	3		
言語コース科目	必修科目			他コースの全科目						
				英語史A	2					
	選択必修科目			英語	2					
						英語学演習ⅠA	2	英語学演習ⅡA	2	
	選択科目					英語学演習ⅠB	2	英語学演習ⅡB	2	
						スピーチ・コミュニケーション演習ⅠA	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡA	2	
						スピーチ・コミュニケーション演習ⅠB	2	スピーチ・コミュニケーション演習ⅡB	2	
						スピーチ・コミュニケーション演習ⅡB	2			
	必修科目			英語学特講ⅠA	2	英語学特講ⅡA	2			
				英語学特講ⅠB	2	英語学特講ⅡB	2			
選択必修科目			スピーチ・コミュニケーション特講ⅠA	2	スピーチ・コミュニケーション特講ⅡA	2				
			スピーチ・コミュニケーション特講ⅠB	2	スピーチ・コミュニケーション特講ⅡB	2				
必修科目			英米文学入門A	2						
			英米文学入門B	2						
選択科目					イギリス文化・文学演習ⅠA	2	イギリス文化・文学演習ⅡA	2		
					イギリス文化・文学演習ⅠB	2	イギリス文化・文学演習ⅡB	2		
					アメリカ文化・文学演習ⅠA	2	アメリカ文化・文学演習ⅡA	2		
					アメリカ文化・文学演習ⅠB	2	アメリカ文化・文学演習ⅡB	2		
関連教育科目	比較文学概論Ⅰ			イギリスの文化と文学ⅠA	2	イギリスの文化と文学ⅡA	2	西洋の文化と歴史A	2	
				イギリスの文化と文学ⅠB	2	イギリスの文化と文学ⅡB	2	西洋の文化と歴史B	2	
	日本文学概論Ⅱ			アメリカの文化と文学ⅠA	2	アメリカの文化と文学ⅡA	2	西洋の文化と歴史C	2	
				アメリカの文化と文学ⅠB	2	アメリカの文化と文学ⅡB	2	西洋の文化と歴史D	2	
	中国語文化概論A(文学)					[社会哲学入門]	2	マス・コミュニケーション論	2	
						[社会思想史]	2	現代メディア	2	
	憲法Ⅱ					[ドイツ文学概論A]	2	図書館概論	2	
						[ドイツ文学概論B]	2	図書資料	2	
	民法入門					[フランス文学概論A]	2	国際法総論	4	
						[フランス文学概論B]	2	債権総論	2	
民法総論					[日本語教育法Ⅲ]	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2		
					[日本語教育法Ⅳ]	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2		
コンピュータ入門Ⅱ					[日本語教育法Ⅱ]	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2		
					[日本語教育法Ⅰ]	2	[ヨーロッパ地域文化特講D]	2		
コンピュータ入門Ⅲ					[日本の文化と歴史A]	2	[ヨーロッパ地域文化特講E]	2		
					[日本の文化と歴史B]	2	[ヨーロッパ地域文化特講F]	2		
現代新開学					[日本の文化と歴史C]	2	[東洋の文化と歴史A]	2		
					[日本の文化と歴史D]	2	[東洋の文化と歴史B]	2		
現代思想史B					[東洋の文化と歴史C]	2	東アジア相互理解演習A	2		
					[東洋の文化と歴史D]	2	東アジア相互理解演習B	2		
					[東洋の文化と歴史E]	2	日本語教授法演習Ⅰ	2		
					[東洋の文化と歴史F]	2	日本語教授法演習Ⅱ	2		

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。  
 (4) 日本語教育法Ⅰ、日本語教育法Ⅱ、日本語教育法Ⅲ、日本語教育法Ⅳの履修については、Ⅰ、Ⅱを履修したのちⅢ、Ⅳを履修し、日本語教授法演習Ⅰ、日本語教授法演習Ⅱは、日本語教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (5) [ ]内は今年度休講。

人文学部 英語学科 平成28年度入学生 (LE16台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
(1) 共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		(二カ国語履修可)			
(1) 共通教育科目	保健体育科目…………… 4 単位				
(1) 共通教育科目	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	}	総計128単位以上
		コース別必修科目…………… 4 単位			
	選択必修科目…………… 8 単位以上				
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上			
(2) 専門教育科目	コース別選択科目…………… 8 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 英語学科の学生で、言語、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(年次別授業科目表参照)

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 71、82～83を参照すること。



年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 平成28年度入学生 (LE16台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	哲学A 倫理学A 日本文学A 西洋文学A 中国文学A 芸文術A	2	哲学B 倫理学B 日本文学B 西洋文学B 中国文学B 芸文術B	2	論理学A 宗教学A 東洋学A 日本文学A 西洋文学A 中国文学A	2	論理学B 宗教学B 東洋学B 日本文学B 西洋文学B 中国文学B	2
		社会科学	法政商学A 政治学A 教育心理学A	2	法経社教心育原論B 経済学A 社会学A 心理学B	2	日本国憲法A 日経社地学B 経済学B 社会学B 文化人類学A	2	政治学A 政商教育学A 商教心理学A 教育論B 文化人類学B	2
		自然科学	数学入門A 物理の地球と宇宙A 新自然環境科学A	2	基礎数学A 自然界と物質の化学A ミクロの生物科学A	2	統計学A 生活と環境の化学A マクロの生物科学A	2	物理科学入門A 地球科学入門A 自然科学入門A	2
		総合系科目 学修基盤科目	地球環境教育A 福大生のためのキャリアデザインA	2	生命・健康と医療A 現代を生きるA アカデミックスキルズゼミI	2	国際化と日本A アカデミックスキルズゼミII	2	科学・技術・情報と社会A 福岡大学学芸部福岡大学でいかに学ぶかA	2
	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI ※フレッシュマン・イングリッシュII ※フレッシュマン・イングリッシュIII ※フレッシュマン・イングリッシュIV	1	※インターメディアイトイングリッシュI ※インターメディアイトイングリッシュII ※インターメディアイトイングリッシュIII ※インターメディアイトイングリッシュIV 海外英語研修	1	アドバンス・イングリッシュI アドバンス・イングリッシュII	1		
		第2	△△ドイ ツ 語 I A △△イ ツ 語 I B △△フ ラ ンス 語 I A △△フ ラ ンス 語 I B △△中 国 語 語 語 I A △△中 国 語 語 語 I B △△ス ペ イ ン 語 語 語 I A △△ス ペ イ ン 語 語 語 I B △△朝 鮮 語 語 語 I A △△朝 鮮 語 語 語 I B △△ロ シ ア 語 語 語 I A △△ロ シ ア 語 語 語 I B	2	△△ドイ ツ 語 II A △△イ ツ 語 II B △△フ ラ ンス 語 II A △△フ ラ ンス 語 II B △△中 国 語 語 語 II A △△中 国 語 語 語 II B △△ス ペ イ ン 語 語 語 II A △△ス ペ イ ン 語 語 語 II B △△朝 鮮 語 語 語 II A △△朝 鮮 語 語 語 II B △△ロ シ ア 語 語 語 II A △△ロ シ ア 語 語 語 II B	2				
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習I ※生涯スポーツ演習II	1	※生涯スポーツ論	2					
	単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
	専門教育科目	必修科目	英文法A 英文法B 基礎演習A 基礎演習B 英会話I 英会話II 英語学概論A 英語学概論B スピーチ・コミュニケーション概論A スピーチ・コミュニケーション概論B イギリス文化・文学概論A イギリス文化・文学概論B アメリカ文化・文学概論A アメリカ文化・文学概論B	2	英語読解I A 英語読解I B 英語ライティングI A 英語ライティングI B 英会話I A 英会話I B 英語音声学A 英語音声学B	1	英語読解II A 英語読解II B	1		
				2	英語プレゼンテーションA 英語プレゼンテーションB メディアと英語文学A メディアと英語文学B	2	英語ライティングII A 英語ライティングII B 英会話II A 英会話II B 英語コミュニケーション研究A 英語コミュニケーション研究B イギリス文化各論A イギリス文化各論B アメリカ文化各論A アメリカ文化各論B	4	英語圏文化研修 英語圏地域研究A 英語圏地域研究B 英語圏社会A 英語圏社会B 実践英語学研究A 実践英語学研究B 観光・ビジネス英語 卒業論文 卒業研究	4
			2	英語学特講I A 英語学特講I B スピーチ・コミュニケーション特講I A スピーチ・コミュニケーション特講I B	2	英語学特講II A 英語学特講II B スピーチ・コミュニケーション特講II A スピーチ・コミュニケーション特講II B	2			
			2	イギリス文化・文学演習I A イギリス文化・文学演習I B アメリカ文化・文学演習I A アメリカ文化・文学演習I B	2	イギリス文化・文学演習II A イギリス文化・文学演習II B アメリカ文化・文学演習II A アメリカ文化・文学演習II B	2			
選択科目			英語史A 英語史B	2						
			英語学演習I A 英語学演習I B スピーチ・コミュニケーション演習I A スピーチ・コミュニケーション演習I B	2	英語学演習II A 英語学演習II B スピーチ・コミュニケーション演習II A スピーチ・コミュニケーション演習II B	2				
言語コース科目		必修科目	英語史A 英語史B	2						
		選択必修科目								
文化文学コース科目		必修科目								
		選択必修科目								
関連教育科目	必修科目	比較文学概論I 日本文学概論I 日本文学概論II 中国語文化概論A(文学) 憲法II 民法入門 民法総論 コンピュータ入門II コンピュータ入門III 現代新開学 科学思想史B	2	文化人類学特講 社会人類学 社ギリシヤ語A 社ギリシヤ語B テラテン語A テラテン語B 日本語学概論I 日本語学概論II 日本語学概論III 日本語学概論IV 日本文学史I 日本文学史II 日本文学史III 日本文学史IV 言語学概論A 言語学概論B 言語学概論C 言語学概論D 日本語教育法I 日本語教育法II 日債権各論 コンピュータ入門III コンピュータ入門IV	2	[社会哲学入門] 社会思想史 ドイツ文学概論A ドイツ文学概論B フランス文学概論A フランス文学概論B 日本語教育法III 日本語教育法IV 欧米各国史A 欧米各国史B [日本の文化と歴史A] [日本の文化と歴史B] 日本の文化と歴史C 日本の文化と歴史D [東洋の文化と歴史A] [東洋の文化と歴史B] 東洋の文化と歴史C 東洋の文化と歴史D	2	[西洋の文化と歴史A] [西洋の文化と歴史B] 西洋の文化と歴史C 西洋の文化と歴史D マス・コミュニケーション論 現代メディア 図書館概論 図書館資料 国際法総論 債権総論 ヨーロッパ地域文化特講A ヨーロッパ地域文化特講B [ヨーロッパ地域文化特講C] [ヨーロッパ地域文化特講D] 東アジア相互理解演習A 東アジア相互理解演習B 日本語教授法演習I 日本語教授法演習II	2	
	選択科目									
人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目 他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。  
(2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
(3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。  
(4) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修については、I、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
(5) [ ]内は今年度休講。



人文学部 英語学科 平成27年度入学生 (LE15台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計40単位以上	
				第2外国語…………… 8 単位以上
	(二カ国語履修可)			
保健体育科目…………… 4 単位				
単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	総計128単位以上
		コース別必修科目…………… 4 単位		
	選択必修科目…………… 8 単位以上			
	選択科目	選択科目…………… 20 単位以上		
		コース別選択科目…………… 8 単位以上		
(3) 自由履修単位	共通教育科目			
	専門教育科目…………… 計12単位以上			
	関連教育科目			

(注) 英語学科の学生で、言語、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(年次別授業科目表参照)

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の選択必修科目は、自コースに設置されている科目から定められた組合せで8単位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の選択科目は、『選択科目』として、「学科共通選択科目」「他コース科目」から合計20単位以上を修得し、『コース別選択科目』として「自コース選択科目」から8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 他コース科目の修得単位が「学科共通選択科目」「他コース科目」の必要単位数（合計20単位以上）を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (5) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 71、82～83を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 英語学科 平成27年度入学生 (LE15台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目	
共通教育科目	総合教養科目	哲学A	2	哲学B	2	論理哲学A	2	論理哲学B	2
		倫理哲学A	2	倫理哲学B	2	宗東日西本	2	宗東日西本	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日本教育史A	2	日本教育史B	2
	自然科学	数学A	2	数学B	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2
総合科目	地球環境学	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2	
専攻科目	福大生のためのキャリアデザイン	2	現代を生きる	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学学芸・福岡大学でいかに学ぶか	2	
外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイトイングリッシュI	1	アドバンス・イングリッシュI	1		
	第2	△△ドイ ツ 語 I A	2	△△ドイ ツ 語 II A	2				
保健体育科目	単位互換科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1				
	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	英文法A	2	英語読解I A	1	英語読解II A	1		
	選択科目	英語プレゼンテーションA	2	英語プレゼンテーションB	2	英語ライティングII A	1	英語圏地域研究A	2
言語コース科目	必修科目	英語学概論A	2	英語学概論B	2	英語学演習I A	2	英語学演習II A	2
	選択科目	英語学特講I A	2	英語学特講II A	2	英語学演習II B	2	英語学演習II B	2
文化文学コース科目	必修科目	イギリス文化・文学概論A	2	イギリス文化・文学概論B	2	イギリス文化各論A	2	イギリス文化・文学演習II A	2
	選択科目	イギリス文化・文学概論B	2	イギリス文化・文学概論A	2	イギリス文化各論B	2	イギリス文化・文学演習II B	2
関連教育科目	必修科目	比較文学概論I	2	比較文学概論II	2	イギリス文化・文学演習I A	2	イギリス文化・文学演習II A	2
	選択科目	比較文学概論II	2	比較文学概論I	2	イギリス文化・文学演習I B	2	イギリス文化・文学演習II B	2
他コースの全科目								卒業論文	6
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								卒業研究	3
人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目								卒業論文	6
他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								卒業研究	3

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) 「他コースの全科目」とは、各自が所属するコース以外の「コース科目」をいう。  
 (4) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修については、I、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (5) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 英語学科 平成26年度入学生 (LE14台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上		
	自然科学…………… 4 単位以上			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位以上	第2外国語…………… 8 単位以上	計16単位以上	合計40単位以上
	保健体育科目…………… 4 単位	単位互換科目		
(2) 専門教育科目	必修科目	必修科目…………… 36 単位	計76単位以上	総計128単位以上
		コース必修科目…………… 4 単位		
	選択必修科目	選択必修科目…………… 6 単位以上	計76単位以上	
		コース選択必修科目…………… 16 単位以上		
	選択科目…………… 14 単位以上			
(3) 自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上	
	専門教育科目			
	関連教育科目			

(注) 英語学科の学生で、言語、文化・文学の各コースを選択した者は、原則として、コース所定の科目を履修するものとする。(年次別授業科目表参照)

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 専門教育科目の学科共通選択必修科目は、定められた組合せで6単位を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目の各コース選択必修科目は、定められた組合せで16単位を修得しなければならない。
- (4) 専門教育科目の選択科目として、「学科共通選択科目」「自コース選択科目」「他コース科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (5) 他コース科目の修得単位が選択科目の必要単位数(14単位以上)を超えた場合は、自由履修単位に算入する。
- (6) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。

詳細は、p. 71、82～83を参照すること。

# 年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

## 人文学部 英語学科 平成26年度入学生 (LE14台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通	総合教養科目	人文学	哲学A 2	哲学B 2	論理科学A 2	論理科学B 2	哲学A 2	哲学B 2	論理科学A 2	論理科学B 2
		社会科学	政治学A 2	政治学B 2	社会学A 2	社会学B 2	社会学A 2	社会学B 2	社会学A 2	社会学B 2
		自然科学	物理学A 2	物理学B 2	化学A 2	化学B 2	化学A 2	化学B 2	化学A 2	化学B 2
		総合科目	現代教養A 2	現代教養B 2	現代教養C 2	現代教養D 2	現代教養E 2	現代教養F 2	現代教養G 2	現代教養H 2
教育	外国語科目	第1年次	英語A 1	英語B 1	英語C 1	英語D 1	英語E 1	英語F 1	英語G 1	英語H 1
		第2年次	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		第3年次	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		第4年次	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
専門	教育	必修科目	英語A 1	英語B 1	英語C 1	英語D 1	英語E 1	英語F 1	英語G 1	英語H 1
		選択必修科目	英語A 1	英語B 1	英語C 1	英語D 1	英語E 1	英語F 1	英語G 1	英語H 1
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
教育	言語コース	必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
教育	文化・文学コース	必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
教育	関連教育科目	必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		選択科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2
		必修科目	英語A 2	英語B 2	英語C 2	英語D 2	英語E 2	英語F 2	英語G 2	英語H 2

(注) (1) 英語圏文化研修は英語学科が実施する海外研修の参加者が履修する。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) 日本語教育法Ⅰ、日本語教育法Ⅱ、日本語教育法Ⅲ、日本語教育法Ⅳの履修についてはⅠ、Ⅱを履修したのちⅢ、Ⅳを履修し、日本語教授法Ⅰ、日本語教授法Ⅱは、日本語教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) [ ]内は今年度休講。

人文学部 ドイツ語学科 令和2年度入学生 (LG20台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目……………				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 24単位	計64単位以上	}	}	総計124単位以上
	選択必修科目…………… 24単位以上				
	選択科目…………… 16単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目……………	計20単位以上	}	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目……………				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 32単位	計68単位以上	}	}	総計124単位以上
	選択必修科目…………… 22単位以上				
	選択科目…………… 14単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目……………	計16単位以上	}	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、84～86を参照すること。



年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 令和2年度入学生 (LG20台)		第1・2・3・4年次									
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論 理 学A 2	論 理 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	
		社会科学	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	本 文 学A 2	本 文 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	
		自然科学	法政 学A 2	法政 学B 2	日 本 学A 2	日 本 学B 2	政 治 学A 2	政 治 学B 2	政 治 学A 2	政 治 学B 2	
		総合系科目	学 学A 2	学 学B 2	学 学A 2	学 学B 2	学 学A 2	学 学B 2	学 学A 2	学 学B 2	
	外国語科目	第1	※ ドイツ語 I A 2	※ ドイツ語 II A 2	アドバンスト・イングリッシュ II 1						
		第2	△ フラッシュマン・イングリッシュ I 1 △ フラッシュマン・イングリッシュ II 1 △ フラッシュマン・イングリッシュ III 1 △ フラッシュマン・イングリッシュ IV 1 △ フランス語 I A B 2 △ フランス語 II A B 2 △ 中国語 I A B 2 △ 中国語 II A B 2 △ スパニッシュ I A B 2 △ スパニッシュ II A B 2 △ シンシアーズ I A B 2 △ シンシアーズ II A B 2	△ インターメディア・イングリッシュ I 1 △ インターメディア・イングリッシュ II 1 △ インターメディア・イングリッシュ III 1 △ インターメディア・イングリッシュ IV 1 △ フランス語 I A B 2 △ フランス語 II A B 2 △ 中国語 I A B 2 △ 中国語 II A B 2 △ スパニッシュ I A B 2 △ スパニッシュ II A B 2 △ シンシアーズ I A B 2 △ シンシアーズ II A B 2							
	保健体育科目	※ 生涯スポーツ演習 I 1	※ 生涯スポーツ演習 II 1								
	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
	専門教育科目	必修科目	両コース共通科目	ドイツ語基礎演習 A 1	ドイツ語基礎演習 B 1	演習 I A 2	演習 I B 2	演習 II A 2	演習 II B 2		
			ドイツ語圏コース科目	ドイツ語基礎演習 A 1	ドイツ語基礎演習 B 1	ドイツ語基礎演習 A 1	ドイツ語基礎演習 B 1				
ヨーロッパ特別コース科目			日本語リテラシー A 2	日本語リテラシー B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ヨーロッパ地域文化特講 A 2	ヨーロッパ地域文化特講 B 2	ヨーロッパ言語文化特講 A 2	ヨーロッパ言語文化特講 B 2	
ドイツ語圏コース科目			ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	
選択必修科目		両コース共通科目	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	
		ドイツ語圏特別コース科目	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	
選択科目		両コース共通科目	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	
		ドイツ語圏特別コース科目	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	ドイツ語圏文化基礎論 A 2	ドイツ語圏文化基礎論 B 2	
関連教育科目		比較文学概論 I 2	比較文学概論 II 2	比較文学概論 III 2	比較文学概論 IV 2	比較文学概論 V 2	比較文学概論 VI 2	比較文学概論 VII 2	比較文学概論 VIII 2	比較文学概論 IX 2	
		日本文学概論 I 2	日本文学概論 II 2	日本文学概論 III 2	日本文学概論 IV 2	日本文学概論 V 2	日本文学概論 VI 2	日本文学概論 VII 2	日本文学概論 VIII 2	日本文学概論 IX 2	
	憲法思想史 I 2	憲法思想史 II 2	憲法思想史 III 2	憲法思想史 IV 2	憲法思想史 V 2	憲法思想史 VI 2	憲法思想史 VII 2	憲法思想史 VIII 2	憲法思想史 IX 2		
	コンピュータ新思想史 I 2	コンピュータ新思想史 II 2	コンピュータ新思想史 III 2	コンピュータ新思想史 IV 2	コンピュータ新思想史 V 2	コンピュータ新思想史 VI 2	コンピュータ新思想史 VII 2	コンピュータ新思想史 VIII 2	コンピュータ新思想史 IX 2		
	現代思想史 I 2	現代思想史 II 2	現代思想史 III 2	現代思想史 IV 2	現代思想史 V 2	現代思想史 VI 2	現代思想史 VII 2	現代思想史 VIII 2	現代思想史 IX 2		
	西洋思想史 I 2	西洋思想史 II 2	西洋思想史 III 2	西洋思想史 IV 2	西洋思想史 V 2	西洋思想史 VI 2	西洋思想史 VII 2	西洋思想史 VIII 2	西洋思想史 IX 2		
	文化人類学特講 I 2	文化人類学特講 II 2	文化人類学特講 III 2	文化人類学特講 IV 2	文化人類学特講 V 2	文化人類学特講 VI 2	文化人類学特講 VII 2	文化人類学特講 VIII 2	文化人類学特講 IX 2		
	社会学概論 I 2	社会学概論 II 2	社会学概論 III 2	社会学概論 IV 2	社会学概論 V 2	社会学概論 VI 2	社会学概論 VII 2	社会学概論 VIII 2	社会学概論 IX 2		
	社会学概論 I 2	社会学概論 II 2	社会学概論 III 2	社会学概論 IV 2	社会学概論 V 2	社会学概論 VI 2	社会学概論 VII 2	社会学概論 VIII 2	社会学概論 IX 2		
	社会学概論 I 2	社会学概論 II 2	社会学概論 III 2	社会学概論 IV 2	社会学概論 V 2	社会学概論 VI 2	社会学概論 VII 2	社会学概論 VIII 2	社会学概論 IX 2		

※印は必修  
△印は選択必修

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目目に振り替えることができる。  
(2) 選択科目目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」がある場合は「卒業論文」者は、どちらか一方のみを履修できる。  
(3) [ ] 内は今年度休講。



人文学部 ドイツ語学科 平成31年度入学生 (LG19台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目……………		計20単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目……………		計16単位以上	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、84～86を参照すること。

# 年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 平成31年度入学生 (LG19台)			第1・2・3・4年次								
			授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位		
共通教育科目	総合合教育科目	人文科学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論宗 東日西 本 文 教 育 学A 2	論宗 東日西 本 文 教 育 学B 2	論宗 東日西 本 文 教 育 学A 2	論宗 東日西 本 文 教 育 学B 2	論宗 東日西 本 文 教 育 学A 2	論宗 東日西 本 文 教 育 学B 2	
		社会科学	法学 政治 学A 2	法学 政治 学B 2	日西 本 文 教 育 学A 2	日西 本 文 教 育 学B 2	日西 本 文 教 育 学A 2	日西 本 文 教 育 学B 2	日西 本 文 教 育 学A 2	日西 本 文 教 育 学B 2	
		自然科学	理学 地球 学A 2	理学 地球 学B 2	日西 本 文 教 育 学A 2	日西 本 文 教 育 学B 2	日西 本 文 教 育 学A 2	日西 本 文 教 育 学B 2	日西 本 文 教 育 学A 2	日西 本 文 教 育 学B 2	
		総合系科目 学修基礎科目	地文化 環境 学A 2	地文化 環境 学B 2	生命・健康と医療 学A 2	生命・健康と医療 学B 2	国際化と日本 学A 2	国際化と日本 学B 2	科学・技術・情報と社会 学A 2	科学・技術・情報と社会 学B 2	
				第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
				授業科目		授業科目		授業科目		授業科目	
				単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	
	外国語科目	第1	※ドイツ語 I A/B	2	※ドイツ語 II A/B	2	アドバンスト・イングリッシュ II	1			
		第2	△ フレッシュマン・イングリッシュ II △ フレッシュマン・イングリッシュ III △ フレッシュマン・イングリッシュ IV △ フランソンス語 I A/B △ フランソンス語 II A/B △ 中国語 I A/B △ 中国語 II A/B △ 朝鮮語 I A/B △ 朝鮮語 II A/B △ シンシア語 I A/B △ シンシア語 II A/B	2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2	△ インターメディア・イングリッシュ II △ インターメディア・イングリッシュ III △ インターメディア・イングリッシュ IV △ 海外英語研修 A △ フランソンス語 II A/B △ 中国語 II A/B △ 中国語 III A/B △ スペイン語 II A/B △ 朝鮮語 II A/B △ シンシア語 II A/B	1 1 1 2 2 2 2 2 2 2					
	保健体育科目	単位互換科目	※生涯スポーツ演習 I ※生涯スポーツ演習 II	1 1	※生涯スポーツ論	2					
他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											
専門教育科目	必修科目	両コース共通科目	ドイツ語基礎演習 A 1 ドイツ語基礎演習 B 1 ドイツ語基礎演習 C 1	1 1 1			演習 I A 2 演習 I B 2	2 2	演習 II A 2 演習 II B 2	2 2	
		ドイツ語圏コース科目	ゲルマニスティク入門 A ゲルマニスティク入門 B	2 2	ドイツ語基礎講読 A ドイツ語基礎講読 B ドイツ語圏文化基礎論 A ドイツ語圏文化基礎論 B	2 2 2 2					
		ヨーロッパ特別コース科目	日本語リテラシー A 日本語リテラシー B ヨーロッパ学入門 A ヨーロッパ学入門 B	2 2 2 2	クロスカルチャラルリテラシー A クロスカルチャラルリテラシー B コミュニケーション基礎 A コミュニケーション基礎 B プレゼンテーション基礎 A プレゼンテーション基礎 B	2 2 2 2 2 2					
		両コース共通科目			ヨーロッパ地域文化特講 A ヨーロッパ地域文化特講 B ヨーロッパ言語文化特講 A ヨーロッパ言語文化特講 B ヨーロッパ表象文化特講 A ヨーロッパ表象文化特講 B ドイツ語圏地域文化講読 A ドイツ語圏地域文化講読 B ドイツ語圏言語文化講読 A ドイツ語圏言語文化講読 B ドイツ語圏表象文化講読 A ドイツ語圏表象文化講読 B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			[ヨーロッパ地域文化特講 C] [ヨーロッパ地域文化特講 D] [ヨーロッパ言語文化特講 C] [ヨーロッパ言語文化特講 D] [ヨーロッパ表象文化特講 C] [ヨーロッパ表象文化特講 D] ドイツ語圏地域文化講読 C ドイツ語圏地域文化講読 D ドイツ語圏言語文化講読 C ドイツ語圏言語文化講読 D ドイツ語圏表象文化講読 C ドイツ語圏表象文化講読 D	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	ドイツ語圏コース科目			[ドイツ語作文 A] [ドイツ語作文 B] [ドイツ語会話 A] [ドイツ語会話 B]	2 2 2 2			ドイツ語作文 C ドイツ語作文 D ドイツ語会話 C ドイツ語会話 D	2 2 2 2		
	ヨーロッパ特別コース科目			ヨーロッパ文化基礎論 A ヨーロッパ文化基礎論 B	2 2		[ヨーロッパ地域文化講読 A] [ヨーロッパ地域文化講読 B] ヨーロッパ言語文化講読 A ヨーロッパ言語文化講読 B [ヨーロッパ表象文化講読 A] [ヨーロッパ表象文化講読 B] コミュニケーション理論と実践 A コミュニケーション理論と実践 B プレゼンテーション理論と実践 A プレゼンテーション理論と実践 B	2 2 2 2 2 2 2 2	[ヨーロッパ地域文化講読 C] [ヨーロッパ地域文化講読 D] [ヨーロッパ言語文化講読 C] [ヨーロッパ言語文化講読 D] [ヨーロッパ表象文化講読 C] [ヨーロッパ表象文化講読 D] コミュニケーション理論と実践 C コミュニケーション理論と実践 D [プレゼンテーション理論と実践 C] [プレゼンテーション理論と実践 D]	2 2 2 2 2 2 2 2	
	両コース共通科目			ドイツ語圏現地研修 ドイツ文学史 A ドイツ文学史 B ヨーロッパ学 I C T I B ヨーロッパ学 I C T II B	4 2 2 1 1		ドイツ文法論 A ドイツ文法論 B ドイツ語学概論 A ドイツ語学概論 B ヨーロッパ言語文化概論 A ヨーロッパ言語文化概論 B ヨーロッパ学 I C T I B ヨーロッパ学 I C T II B	2 2 2 2 2 2 1 1	ドイツ文学概論 A ドイツ文学概論 B ヨーロッパ地域文化概論 A ヨーロッパ地域文化概論 B ヨーロッパ表象文化概論 A ヨーロッパ表象文化概論 B	2 2 2 2 2 2	
	ドイツ語圏コース科目						時事ドイツ語 A 時事ドイツ語 B	2 2	卒業論文 B	8	
	ヨーロッパ特別コース科目			フランス語圏現地研修 フランス文学史 A フランス文学史 B	4 2 2		時事ヨーロッパ A 時事ヨーロッパ B フランス文法論 A フランス文法論 B フランス語学概論 A フランス語学概論 B	2 2 2 2 2 2	実務外国語 A 実務外国語 B フランス文学概論 A フランス文学概論 B	2 2 2 2	
	関連教育科目	選択科目	比較文学概論	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 A イギリス文化・文学概論 B	2 2	卒業研究	6	
日本文学概論 II			2	社会人類学	2	アメリカ文化・文学概論 A アメリカ文化・文学概論 B	2 2	アメリカ文化・文学概論 A アメリカ文化・文学概論 B	2 2		
中国言語文化概説 A(文学)			2	リシアン語 A リシアン語 B	2 2	[日本の文化と歴史 A] [日本の文化と歴史 B]	2 2	[日本の文化と歴史 C] [日本の文化と歴史 D]	2 2		
憲法総論			2	ラテ語 I ラテ語 II	2 2	[東洋の文化と歴史 A] [東洋の文化と歴史 B] [東洋の文化と歴史 C] [東洋の文化と歴史 D]	2 2 2 2	日本の文化と歴史 C 日本の文化と歴史 D 東洋の文化と歴史 C 東洋の文化と歴史 D	2 2 2 2		
法入門 II			2	日本語学概論 II	2	[西洋の文化と歴史 A] [西洋の文化と歴史 B]	2 2	西洋の文化と歴史 C 西洋の文化と歴史 D	2 2		
コンピュータ入門 II			2	日本文学概論 II	2	マスメディア文化論	2	図書館概論	2		
現代新思想入門			2	日本文学概論 II	2	欧米各国史 A 欧米各国史 B	2 2	国際法総論	4		
科学史			2	言語学概論 A 言語学概論 B	2 2	フランス語圏地域文化講読 A フランス語圏地域文化講読 B	2 2	国際法総論	4		
西洋史概説 A			2	西言語学概論 A 西言語学概論 B	2 2	フランス語圏言語文化講読 A フランス語圏言語文化講読 B	2 2	親族法	2		
西洋史概説 B			2	古キリシアン哲学 中世ヨーロッパ哲学 現代ヨーロッパ哲学	2 2 2	フランス語圏表象文化講読 A フランス語圏表象文化講読 B 東アジア相互理解演習 A 東アジア相互理解演習 B	2 2 2 2	[フランス語圏地域文化講読 C] [フランス語圏地域文化講読 D] フランス語圏言語文化講読 C フランス語圏言語文化講読 D フランス語圏表象文化講読 C フランス語圏表象文化講読 D	2 2 2 2		
人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目 他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											

※印は必修  
△印は選択必修

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。  
(2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
(3) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 ドイツ語学科 平成30年度入学生 (LG18台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目……………				
(2)専門教育科目	必修科目……………24単位	計64単位以上	}		総計124単位以上
	選択必修科目……………24単位以上				
	選択科目……………16単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目……………	計20単位以上	}		
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目……………				
(2)専門教育科目	必修科目……………32単位	計68単位以上	}		総計124単位以上
	選択必修科目……………22単位以上				
	選択科目……………14単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目……………	計16単位以上	}		
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、84～86を参照すること。





人文学部 ドイツ語学科 平成29年度入学生 (LG17台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	計40単位以上	}	総計124単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上					
		自然科学…………… 4 単位以上					
(1)共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	計16単位以上	}	}	}	}
		学修基盤科目					
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)					
		第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)					
		保健体育科目…………… 4 単位					
		単位互換科目……………					
(2)専門教育科目	必修科目…………… 24単位	計64単位以上	}	}	}	}	}
	選択必修科目…………… 24単位以上						
	選択科目…………… 16単位以上						
(3)自由履修単位	共通教育科目……………	計20単位以上	}	}	}	}	}
	専門教育科目……………						
	関連教育科目……………						

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	計40単位以上	}	総計124単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上					
		自然科学…………… 4 単位以上					
(1)共通教育科目	外国語科目	総合系列科目	計16単位以上	}	}	}	}
		学修基盤科目					
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)					
		第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)					
		保健体育科目…………… 4 単位					
		単位互換科目……………					
(2)専門教育科目	必修科目…………… 32単位	計68単位以上	}	}	}	}	}
	選択必修科目…………… 22単位以上						
	選択科目…………… 14単位以上						
(3)自由履修単位	共通教育科目……………	計16単位以上	}	}	}	}	}
	専門教育科目……………						
	関連教育科目……………						

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、84～86を参照すること。





人文学部 ドイツ語学科 平成28年度入学生 (LG16台)

【卒業要件】

〈ドイツ語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目			
(2)専門教育科目	必修科目…………… 24単位	}	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目…………… 24単位以上				
	選択科目…………… 16単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	}	計20単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	自然科学…………… 4 単位以上	計16単位以上	}	
		総合系列科目 学修基盤科目			
		第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)			
		保健体育科目…………… 4 単位			}
		単位互換科目			
(2)専門教育科目	必修科目…………… 32単位	}	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目…………… 22単位以上				
	選択科目…………… 14単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	}	計16単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

〈ドイツ語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、84～86を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 平成28年度入学生 (LG16台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 西洋史学	2	哲学 西洋史学	2	論理 西洋史学	2	論理 西洋史学	2
		社会科学	政治学 社会学	2	政治学 社会学	2	政治学 社会学	2	政治学 社会学	2
		自然科学	物理学 化学	2	物理学 化学	2	物理学 化学	2	物理学 化学	2
		総合系科目 学修基礎科目	地文化 環境教育	2	生命・健康と医療 アカデミックスキルズゼミI	2	国際化と日本 アカデミックスキルズゼミII	2	科学・技術・情報と社会 福岡大学を学ぶ福岡大学への入学か	2
	外国語科目	第1	※ドイツ語 I A	2	※ドイツ語 II A	2				
		第2	△ フレッシュマン・イングリッシュII	1	△ インターメディア・イングリッシュII	1	アドバンスト・イングリッシュII	1		
			△ フレッシュマン・イングリッシュIII	1	△ インターメディア・イングリッシュIII	1				
			△ フレッシュマン・イングリッシュIV	1	△ インターメディア・イングリッシュIV	1				
			△ フランソンス語 I A	2	△ フランソンス語 II A	2				
			△ フランソンス語 II A	2	△ フランソンス語 III A	2				
保健体育科目 単位互換科目	※生涯スポーツ演習 I	1	※生涯スポーツ演習 II	1						
専門教育科目	必修科目	ドイツ語基礎演習 A	1			演習 I A	2	演習 II A	2	
		ドイツ語基礎演習 B	1			演習 I B	2	演習 II B	2	
		ドイツ語基礎演習 C	1							
		ドイツ語基礎演習 D	1							
	選択必修科目	ドイツ語圏文化基礎 A	2	ドイツ語圏文化基礎 B	2					
		ドイツ語圏文化基礎 C	2	ドイツ語圏文化基礎 D	2					
		ドイツ語圏文化基礎 E	2	ドイツ語圏文化基礎 F	2					
		ドイツ語圏文化基礎 G	2	ドイツ語圏文化基礎 H	2					
		ドイツ語圏文化基礎 I	2	ドイツ語圏文化基礎 J	2					
		ドイツ語圏文化基礎 K	2	ドイツ語圏文化基礎 L	2					
選択科目	ドイツ語圏文化基礎 M	2	ドイツ語圏文化基礎 N	2						
	ドイツ語圏文化基礎 O	2	ドイツ語圏文化基礎 P	2						
	ドイツ語圏文化基礎 Q	2	ドイツ語圏文化基礎 R	2						
	ドイツ語圏文化基礎 S	2	ドイツ語圏文化基礎 T	2						

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 ドイツ語学科 平成27年度入学生 (LG15台)

【卒業要件】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	合計40単位以上	
		社会科学…………… 4 単位以上			
	自然科学…………… 4 単位以上				
外国語科目	総合系列科目		計16単位以上	合計40単位以上	
	学修基盤科目				
	第1外国語…………… 8 単位 (ドイツ語)				
		第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目……………20単位		計76単位以上	総計128単位以上	
	選択必修科目	A群……………32単位 B群…………… 8 単位以上			40単位以上
	選択科目……………16単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目		計12単位以上		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 選択必修科目A群の各グループは、いずれもその内4科目8単位を選択履修すること。
- (3) 選択必修科目B群は、8単位を選択履修すること。
- (4) 選択必修科目B群の各種「特講」の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」及び「ドイツ文学講読(A・B・C・D)、ドイツ語学講読(A・B・C・D)、ドイツ事情講読(A・B・C・D)」を履修する者は、「ドイツ語ⅠA」(2単位)及び「ドイツ語ⅠB」(2単位)を修得していなければならない。

詳細は、p.71、84、87を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 ドイツ語学科 平成27年度入学生 (LG15台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	総合教養科目	哲学史A	2	哲学史B	2	論理学A	2	論理学B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西中芸史A	2	西中芸史B	2	日西文芸史A	2	日西文芸史B	2
		法政商学A	2	法政商学B	2	政治学A	2	政治学B	2
	自然科学	物理学A	2	物理学B	2	化学A	2	化学B	2
		生物学A	2	生物学B	2	環境学A	2	環境学B	2
	総合科目	現代社会と環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2
		福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルゼミⅠ	2	アカデミックスキルゼミⅡ	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2
	育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	必修科目	ドイツ語基礎会話Ⅰ	2	ドイツ語基礎会話Ⅱ	2	演習Ⅰ	4	演習Ⅱ	4
		ゲルマニスティク入門A	2						
	A群	ドイツ文学基礎講読A	2	ドイツ文学基礎講読B	2	ドイツ文学講読A	2	ドイツ文学講読B	2
		ドイツ語学基礎講読A	2	ドイツ語学基礎講読B	2	ドイツ語学講読A	2	ドイツ語学講読B	2
		ドイツ事情基礎講読A	2	ドイツ事情基礎講読B	2	ドイツ事情講読A	2	ドイツ事情講読B	2
		ドイツ事情基礎講読A	2	ドイツ事情基礎講読B	2	ドイツ事情講読A	2	ドイツ事情講読B	2
	B群	ドイツ文学特講A	2	ドイツ文学特講B	2	ドイツ文学特講C	2	ドイツ文学特講D	2
		ドイツ語学特講A	2	ドイツ語学特講B	2	ドイツ語学特講C	2	ドイツ語学特講D	2
	選択科目	ドイツ文学基礎講読A	2	ドイツ文学基礎講読B	2	ドイツ文学講読A	2	ドイツ文学講読B	2
		ドイツ語学基礎講読A	2	ドイツ語学基礎講読B	2	ドイツ語学講読A	2	ドイツ語学講読B	2
ドイツ事情基礎講読A		2	ドイツ事情基礎講読B	2	ドイツ事情講読A	2	ドイツ事情講読B	2	
ドイツ事情基礎講読A		2	ドイツ事情基礎講読B	2	ドイツ事情講読A	2	ドイツ事情講読B	2	
関連教育科目	比較文学概論Ⅰ	2	比較文学概論Ⅱ	2	社会哲学入門	2	西洋の文化と歴史A	2	
	日本文学概論Ⅰ	2	日本文学概論Ⅱ	2	社会思想史	2	西洋の文化と歴史B	2	
	中国語文化概説A	2	中国語文化概説B	2	イギリス文化・文学概論A	2	西洋の文化と歴史C	2	
	憲法入門Ⅰ	2	憲法入門Ⅱ	2	アメリカ文化・文学概論A	2	西洋の文化と歴史D	2	
	憲法入門Ⅱ	2	憲法入門Ⅲ	2	アメリカ文化・文学概論B	2	マス・コミュニケーション論	2	
	コンピュータ入門Ⅰ	2	コンピュータ入門Ⅱ	2	フランス文化・文学概論A	2	現代図書館概論	2	
	コンピュータ入門Ⅱ	2	コンピュータ入門Ⅲ	2	フランス文化・文学概論B	2	図書館概論	2	
	現代新思想史A	2	現代新思想史B	2	日本の文化と歴史A	2	欧米各国史A	2	
	現代新思想史B	2	現代新思想史C	2	日本の文化と歴史B	2	欧米各国史B	2	
	現代新思想史C	2	現代新思想史D	2	日本の文化と歴史C	2	欧米各国史C	2	
現代新思想史D	2	現代新思想史E	2	日本の文化と歴史D	2	欧米各国史D	2		
人文学部他学科及び他学部の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

- (注) (1) 選択必修科目A群の各グループは、いずれもその内4科目8単位を選択履修すること。  
 (2) 選択必修科目B群は、8単位を選択履修すること。  
 (3) 選択必修科目B群の各種「特講」の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。  
 (4) [ ]内は今年度休講。

「学科履修条件」

「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」及び「ドイツ文学講読(A・B・C・D)、ドイツ語学講読(A・B・C・D)、ドイツ事情講読(A・B・C・D)」を履修する者は、「ドイツ語ⅠA」(2単位)及び「ドイツ語ⅠB」(2単位)を修得していなければならない。



人文学部 フランス語学科 令和2年度入学生 (LF20台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計20単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計16単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、88～90を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 令和2年度入学生 (LF20台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		社会科学	社会学A	2	社会学B	2	政治学A	2	政治学B	2
		自然科学	物理学A	2	物理学B	2	化学A	2	化学B	2
		総合系科目	総合系科目	2	総合系科目	2	総合系科目	2	総合系科目	2
	外国語科目	第1	フランス語I A	2	フランス語II A	2				
		第2	△ フランス語I B	2	△ フランス語II B	2	アドバンスト・イングリッシュII	1		
			△ ドイツ語I A	2	△ ドイツ語II A	2				
			△ 中国語I A	2	△ 中国語II A	2				
			△ 韓国語I A	2	△ 韓国語II A	2				
			△ 朝鮮語I A	2	△ 朝鮮語II A	2				
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1						
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	フランス語基礎演習A	1			演習I A	2	演習II A	2	
		フランス語基礎演習B	1			演習I B	2	演習II B	2	
		フランス語基礎会話A	1							
		フランス語基礎会話B	1							
	選択必修科目	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2				
		ヨーロッパ特別コース科目	日本語リテラシーA	2	日本語リテラシーB	2				
		両コース共通科目	フランス語圏地域文化特講A	2	フランス語圏地域文化特講B	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2	ヨーロッパ地域文化特講D	2
		フランス語圏コース科目	フランス語圏言語文化特講A	2	フランス語圏言語文化特講B	2	ヨーロッパ言語文化特講C	2	ヨーロッパ言語文化特講D	2
		ヨーロッパ特別コース科目	ヨーロッパ表象文化特講A	2	ヨーロッパ表象文化特講B	2	ヨーロッパ表象文化特講C	2	ヨーロッパ表象文化特講D	2
		両コース共通科目	フランス語圏表象文化特講A	2	フランス語圏表象文化特講B	2	フランス語圏表象文化特講C	2	フランス語圏表象文化特講D	2
関連教育科目	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2	
	ヨーロッパ特別コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	ヨーロッパ言語文化特講A	2	ヨーロッパ言語文化特講B	2	
	両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	ヨーロッパ言語文化特講C	2	ヨーロッパ言語文化特講D	2	
	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	ヨーロッパ表象文化特講A	2	ヨーロッパ表象文化特講B	2	
	ヨーロッパ特別コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	ヨーロッパ表象文化特講C	2	ヨーロッパ表象文化特講D	2	
	両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏表象文化特講A	2	フランス語圏表象文化特講B	2	
	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏表象文化特講C	2	フランス語圏表象文化特講D	2	
	ヨーロッパ特別コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏表象文化特講A	2	フランス語圏表象文化特講B	2	
	両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏表象文化特講C	2	フランス語圏表象文化特講D	2	
	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏表象文化特講A	2	フランス語圏表象文化特講B	2	

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) [ ] 内は今年度休講。



人文学部 フランス語学科 平成31年度入学生 (LF19台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (フランス語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			}
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目		計20単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (フランス語)	計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			}
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目		計16単位以上	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、88～90を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 平成31年度入学生 (LF19台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文学	哲学 理学 学A 2	哲学 理学 学B 2	論理 学A 2	論理 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2	哲学 史学 学A 2	哲学 史学 学B 2
		社会科学	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2	西学 史学 学A 2	西学 史学 学B 2
		社会科学	法政 学A 2	法政 学B 2	法政 学A 2	法政 学B 2	法政 学A 2	法政 学B 2	法政 学A 2	法政 学B 2
		社会科学	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2	政治 学A 2	政治 学B 2
	総合系科目	自然科学	物理学 学A 2	物理学 学B 2	物理学 学A 2	物理学 学B 2	物理学 学A 2	物理学 学B 2	物理学 学A 2	物理学 学B 2
		社会科学	社会学 学A 2	社会学 学B 2	社会学 学A 2	社会学 学B 2	社会学 学A 2	社会学 学B 2	社会学 学A 2	社会学 学B 2
	学修基礎科目	地文化	地文化 学A 2	地文化 学B 2	地文化 学A 2	地文化 学B 2	地文化 学A 2	地文化 学B 2	地文化 学A 2	地文化 学B 2
		環境教育	環境教育 学A 2	環境教育 学B 2	環境教育 学A 2	環境教育 学B 2	環境教育 学A 2	環境教育 学B 2	環境教育 学A 2	環境教育 学B 2
	第1年次	第1	フランス語 I A	2	フランス語 II A	2	フランス語 III A	2	フランス語 IV A	2
		第2	フランス語 I B	2	フランス語 II B	2	フランス語 III B	2	フランス語 IV B	2
外国語科目	第1	フランス語 I A	2	フランス語 II A	2	フランス語 III A	2	フランス語 IV A	2	
	第2	フランス語 I B	2	フランス語 II B	2	フランス語 III B	2	フランス語 IV B	2	
保健体育科目	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	フランス語基礎演習A	1	フランス語基礎演習B	1	フランス語基礎演習C	1	フランス語基礎演習D	1	
		フランス語基礎演習A	1	フランス語基礎演習B	1	フランス語基礎演習C	1	フランス語基礎演習D	1	
		フランス語基礎演習A	1	フランス語基礎演習B	1	フランス語基礎演習C	1	フランス語基礎演習D	1	
		フランス語基礎演習A	1	フランス語基礎演習B	1	フランス語基礎演習C	1	フランス語基礎演習D	1	
	選択必修科目	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏文化基礎論C	2	フランス語圏文化基礎論D	2
		ヨーロッパ特別コース科目	ヨーロッパ文化基礎論A	2	ヨーロッパ文化基礎論B	2	ヨーロッパ文化基礎論C	2	ヨーロッパ文化基礎論D	2
	選択科目	両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏文化基礎論C	2	フランス語圏文化基礎論D	2
		フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏文化基礎論C	2	フランス語圏文化基礎論D	2
	選択科目	ヨーロッパ特別コース科目	ヨーロッパ文化基礎論A	2	ヨーロッパ文化基礎論B	2	ヨーロッパ文化基礎論C	2	ヨーロッパ文化基礎論D	2
		フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏文化基礎論C	2	フランス語圏文化基礎論D	2
関連教育科目	選択科目	比較文学概論	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論A	2	アメリカ文化・文学概論A	2	
		日本文学概論	2	社会学	2	イギリス文化・文学概論B	2	アメリカ文化・文学概論B	2	
		中国語文化概論A(文学)	2	社会学	2	イギリス文化・文学概論C	2	アメリカ文化・文学概論C	2	
		憲法	2	社会学	2	イギリス文化・文学概論D	2	アメリカ文化・文学概論D	2	
		法	2	社会学	2	イギリス文化・文学概論E	2	アメリカ文化・文学概論E	2	
		法	2	社会学	2	イギリス文化・文学概論F	2	アメリカ文化・文学概論F	2	
		法	2	社会学	2	イギリス文化・文学概論G	2	アメリカ文化・文学概論G	2	
		法	2	社会学	2	イギリス文化・文学概論H	2	アメリカ文化・文学概論H	2	
		法	2	社会学	2	イギリス文化・文学概論I	2	アメリカ文化・文学概論I	2	
		法	2	社会学	2	イギリス文化・文学概論J	2	アメリカ文化・文学概論J	2	

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 平成30年度入学生 (LF18台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	24単位	計64単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	24単位以上			
	選択科目……………	16単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計20単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
	外国語科目	第1 外国語…………… 8 単位	計16単位以上	}	
		第2 外国語…………… 8 単位以上			
	保健体育科目	…………… 4 単位			
	単位互換科目	……………			
(2)専門教育科目	必修科目……………	32単位	計68単位以上	}	総計124単位以上
	選択必修科目……………	22単位以上			
	選択科目……………	14単位以上			
(3)自由履修単位	共通教育科目	……………	計16単位以上	}	
	専門教育科目	……………			
	関連教育科目	……………			

(注) 第2外国語は、同一外国語で8単位を修得しなければならない。8単位を超えて修得した第2外国語の単位は、一カ国語に限り自由履修単位に算入する。

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、88～90を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 平成30年度入学生 (LF18台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文学	哲学 西洋史学 A	2	哲学 西洋史学 B	2	論理 西洋史学 A	2	論理 西洋史学 B	2
		社会科学	政治学 社会学 A	2	政治学 社会学 B	2	政治学 社会学 A	2	政治学 社会学 B	2
		自然科学	物理学 化学 A	2	物理学 化学 B	2	物理学 化学 A	2	物理学 化学 B	2
		総合系科目 学修基盤科目	生命・健康と医療 現代を生きる	2	生命・健康と医療 アカデミックスキルズゼミI	2	国際化と日本 アカデミックスキルズゼミII	2	科学・技術・情報と社会 福岡大学を学ぶ福岡大学への入学か	2
	外国語科目	第1	フランス語 I A	2	フランス語 II A	2	アドバンスト・イングリッシュ II	1		
		第2	フランス語 I B	2	フランス語 II B	2				
		海外英会話	海外英会話 I A	2	海外英会話 II A	2				
		海外英会話	海外英会話 I B	2	海外英会話 II B	2				
		海外英会話	海外英会話 I C	2	海外英会話 II C	2				
		海外英会話	海外英会話 I D	2	海外英会話 II D	2				
保健体育科目 単位互換科目	※生涯スポーツ演習 I	1	※生涯スポーツ演習 II	1						
他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										
専門教育科目	両コース共通科目	フランス語基礎演習 A	1			演習 I A	2	演習 II A	2	
		フランス語基礎演習 B	1			演習 I B	2	演習 II B	2	
		フランス語基礎会話 A	1							
		フランス語基礎会話 B	1							
	フランス語圏コース科目	フランス語学入門 A	2	フランス語基礎講読 A	2					
		フランス語学入門 B	2	フランス語基礎講読 B	2					
		フランス語学入門 A	2	フランス語圏文化基礎論 A	2					
		フランス語学入門 B	2	フランス語圏文化基礎論 B	2					
	ヨーロッパ特別コース科目	日本語リテラシー A	2	クロスカルチュラル・リテラシー A	2					
		日本語リテラシー B	2	クロスカルチュラル・リテラシー B	2					
ヨーロッパ学入門 A		2	コミュニケーション基礎 A	2						
ヨーロッパ学入門 B		2	コミュニケーション基礎 B	2						
両コース共通科目					ヨーロッパ地域文化特講 A	2	【ヨーロッパ地域文化特講 C】	2		
					ヨーロッパ地域文化特講 B	2	【ヨーロッパ地域文化特講 D】	2		
					ヨーロッパ言語文化特講 A	2	【ヨーロッパ言語文化特講 C】	2		
					ヨーロッパ言語文化特講 B	2	【ヨーロッパ言語文化特講 D】	2		
フランス語圏コース科目					ヨーロッパ表象文化特講 A	2	【ヨーロッパ表象文化特講 C】	2		
					ヨーロッパ表象文化特講 B	2	【ヨーロッパ表象文化特講 D】	2		
					フランス語圏地域文化講読 A	2	【フランス語圏地域文化講読 C】	2		
					フランス語圏地域文化講読 B	2	【フランス語圏地域文化講読 D】	2		
ヨーロッパ特別コース科目					フランス語圏言語文化講読 A	2	【フランス語圏言語文化講読 C】	2		
					フランス語圏言語文化講読 B	2	【フランス語圏言語文化講読 D】	2		
					フランス語圏表象文化講読 A	2	【フランス語圏表象文化講読 C】	2		
					フランス語圏表象文化講読 B	2	【フランス語圏表象文化講読 D】	2		
両コース共通科目					フランス語学 I C II A	1	卒業論文	8		
					フランス語学 I C II B	1	時事フランス語 B	2		
							実務外国語 A	2		
							実務外国語 B	2		
フランス語圏コース科目					ドイツ語圏現地研修	4	ドイツ文学史 A	2		
					ドイツ文学史 B	2	ドイツ文学史 B	2		
							ドイツ文学概論 A	2		
							ドイツ文学概論 B	2		
関連教育科目	比較文学概論 I	2	文化人類学特講	2	イギリス文化・文学概論 A	2	アメリカ文化・文学概論 A	2		
	比較文学概論 II	2	社会人類学	2	イギリス文化・文学概論 B	2	アメリカ文化・文学概論 B	2		
	日本文学概論 I	2	フランス語学	2	日本の文化と歴史 A	2	日本の文化と歴史 C	2		
	日本文学概論 II	2	フランス語学	2	日本の文化と歴史 B	2	日本の文化と歴史 D	2		
	中国語文化概論 A (文学)	2	フランス語学	2	東洋の文化と歴史 A	2	東洋の文化と歴史 C	2		
	憲法	2	フランス語学	2	東洋の文化と歴史 B	2	東洋の文化と歴史 D	2		
	民法	2	フランス語学	2	西洋の文化と歴史 A	2	西洋の文化と歴史 C	2		
	刑法	2	フランス語学	2	西洋の文化と歴史 B	2	西洋の文化と歴史 D	2		
	コンピュータ入門 I	2	フランス語学	2	マス・コミュニケーション論	2	図書館概論	2		
	コンピュータ入門 II	2	フランス語学	2	現代メディア論	2	国際法総論	4		
現代思想史 A	2	フランス語学	2	欧米各国史 A	2	親族文化講読 C	2			
現代思想史 B	2	フランス語学	2	欧米各国史 B	2	親族文化講読 D	2			
西洋史概論	2	フランス語学	2	ドイツ語圏地域文化講読 A	2	ドイツ語圏地域文化講読 C	2			
西洋史概論	2	フランス語学	2	ドイツ語圏地域文化講読 B	2	ドイツ語圏地域文化講読 D	2			
西洋史概論	2	フランス語学	2	ドイツ語圏言語文化講読 A	2	ドイツ語圏言語文化講読 C	2			
西洋史概論	2	フランス語学	2	ドイツ語圏言語文化講読 B	2	ドイツ語圏言語文化講読 D	2			
西洋史概論	2	フランス語学	2	ドイツ語圏表象文化講読 A	2	ドイツ語圏表象文化講読 C	2			
西洋史概論	2	フランス語学	2	ドイツ語圏表象文化講読 B	2	ドイツ語圏表象文化講読 D	2			
西洋史概論	2	フランス語学	2	東アジア相互理解演習 A	2					
西洋史概論	2	フランス語学	2	東アジア相互理解演習 B	2					
現代語学 [E]	2									
現代語学 [F]	2									
現代語学 [G]	2									
現代語学 [H]	2									
現代語学 [I]	2									
現代語学 [J]	2									
現代語学 [K]	2									
現代語学 [L]	2									
現代語学 [M]	2									
現代語学 [N]	2									
現代語学 [O]	2									
現代語学 [P]	2									
現代語学 [Q]	2									
現代語学 [R]	2									
現代語学 [S]	2									
現代語学 [T]	2									
現代語学 [U]	2									
現代語学 [V]	2									
現代語学 [W]	2									
現代語学 [X]	2									
現代語学 [Y]	2									
現代語学 [Z]	2									
現代語学 [AA]	2									
現代語学 [AB]	2									
現代語学 [AC]	2									
現代語学 [AD]	2									
現代語学 [AE]	2									
現代語学 [AF]	2									
現代語学 [AG]	2									
現代語学 [AH]	2									
現代語学 [AI]	2									
現代語学 [AJ]	2									
現代語学 [AK]	2									
現代語学 [AL]	2									
現代語学 [AM]	2									
現代語学 [AN]	2									
現代語学 [AO]	2									
現代語学 [AP]	2									
現代語学 [AQ]	2									
現代語学 [AR]	2									
現代語学 [AS]	2									
現代語学 [AT]	2									
現代語学 [AU]	2									
現代語学 [AV]	2									
現代語学 [AW]	2									
現代語学 [AX]	2									
現代語学 [AY]	2									
現代語学 [AZ]	2									
現代語学 [BA]	2									
現代語学 [BB]	2									
現代語学 [BC]	2									
現代語学 [BD]	2									
現代語学 [BE]	2									
現代語学 [BF]	2									
現代語学 [BG]	2									
現代語学 [BH]	2									
現代語学 [BI]	2									
現代語学 [BJ]	2									
現代語学 [BK]	2									
現代語学 [BL]	2									
現代語学 [BM]	2									
現代語学 [BN]	2									
現代語学 [BO]	2									
現代語学 [BP]	2									
現代語学 [BQ]	2									
現代語学 [BR]	2									
現代語学 [BS]	2									
現代語学 [BT]	2									
現代語学 [BU]	2									
現代語学 [BV]	2									
現代語学 [BW]	2									
現代語学 [BX]	2									
現代語学 [BY]	2									
現代語学 [BZ]	2									
現代語学 [CA]	2									
現代語学 [CB]	2									
現代語学 [CC]	2									
現代語学 [CD]	2									
現代語学 [CE]	2									
現代語学 [CF]	2									
現代語学 [CG]	2									
現代語学 [CH]	2									
現代語学 [CI]	2									
現代語学 [CJ]	2									
現代語学 [CK]	2									
現代語学 [CL]	2									
現代語学 [CM]	2									
現代語学 [CN]	2									
現代語学 [CO]	2									
現代語学 [CP]	2									
現代語学 [CQ]	2									
現代語学 [CR]	2									
現代語学 [CS]	2									
現代語学 [CT]	2									
現代語学 [CU]	2									
現代語学 [CV]	2									
現代語学 [CW]	2									
現代語学 [CX]	2									
現代語学 [CY]	2									
現代語学 [CZ]	2									
現代語学 [DA]	2									
現代語学 [DB]	2									
現代語学 [DC]	2									
現代語学 [DD]	2									
現代語学 [DE]	2									
現代語学 [DF]	2									
現代語学 [DG]	2									
現代語学 [DH]	2									
現代語学 [DI]	2									
現代語学 [DJ]	2									
現代語学 [DK]	2									
現代語学 [DL]	2									
現代語学 [DM]	2									
現代語学 [DN]	2									
現代語学 [DO]	2									
現代語学 [DP]	2									
現代語学 [DQ]	2									
現代語学 [DR]	2									
現代語学 [DS]	2									
現代語学 [DT]	2									
現代語学 [DU]	2									
現代語学 [DV]	2									
現代語学 [DW]	2									
現代語学 [DX]	2									
現代語学 [DY]	2									
現代語学 [DZ]	2									
現代語学 [EA]	2									
現代語学 [EB]	2									
現代語学 [EC]	2									
現代語学 [ED]	2									
現代語学 [EE]	2									
現代語学 [EF]	2									
現代語学 [EG]	2									



人文学部 フランス語学科 平成29年度入学生 (LF17台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	} 計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
総合系列科目 学修基盤科目					
(1)共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (フランス語)	} 計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 24単位	} 計64単位以上	}	}	総計124単位以上
	選択必修科目…………… 24単位以上				
	選択科目…………… 16単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	} 計20単位以上	}	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	} 計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
総合系列科目 学修基盤科目					
(1)共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (フランス語)	} 計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 32単位	} 計68単位以上	}	}	総計124単位以上
	選択必修科目…………… 22単位以上				
	選択科目…………… 14単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	} 計16単位以上	}	}	
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、88～90を参照すること。



年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 平成29年度入学生 (LF17台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位
共通教育科目	総合合教養科目	人文科学	哲学 西洋史学 文学 国文	2	哲学 西洋史学 文学 国文	2	論宗 東日西日 本洋 教文 育史 学法	2	論宗 東日西日 本洋 教文 育史 学法	2
		社会科学	法政商社 政治 学術 学論	2	法政商社 政治 学術 学論	2	政治 社会 学法 学論	2	政治 社会 学法 学論	2
		自然科学	物理学 化学 生物学	2	物理学 化学 生物学	2	物理学 化学 生物学	2	物理学 化学 生物学	2
		総合系科目 学修基礎科目	生命科学 環境教育	2	生命科学 環境教育	2	国際化と日本 アカデミックスキルズゼミI	2	国際化と日本 アカデミックスキルズゼミII 福岡大学を学ぶ福岡大学への入学か	2
	外国語科目	第1	フランス語 I A	2	フランス語 II A	2				
		第2	△ フレッシュマン・イングリッシュII	1	△ インターミディエイト・イングリッシュII	1	アドバンスト・イングリッシュII	1		
			△ フレッシュマン・イングリッシュIII	1	△ インターミディエイト・イングリッシュIII	1				
			△ フレッシュマン・イングリッシュIV	1	△ インターミディエイト・イングリッシュIV	1				
			△ ドイツ語 I A	2	△ ドイツ語 II A	2				
			△ 中国語 I A	2	△ 中国語 II A	2				
保健体育科目 単位互換科目	※生涯スポーツ演習II	1	※生涯スポーツ論	2						
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										
専門教育科目	必修科目	両コース共通科目	フランス語基礎演習A	1		演習 I A	2	演習 II A	2	
		フランス語圏コース科目	フランス語基礎会話A	1		演習 I B	2	演習 II B	2	
		ヨーロッパ特別コース科目	日本語リテラシーA	2	フランス語基礎講読A	2				
			日本語リテラシーB	2	フランス語基礎講読B	2				
	選択必修科目	両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論A	2	フランス語圏文化基礎論B	2	ヨーロッパ地域文化特講A	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2
		フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論B	2	フランス語圏文化基礎論C	2	ヨーロッパ言語文化特講A	2	ヨーロッパ言語文化特講C	2
		ヨーロッパ特別コース科目	フランス語圏文化基礎論C	2	フランス語圏文化基礎論D	2	ヨーロッパ言語文化特講B	2	ヨーロッパ言語文化特講D	2
			フランス語圏文化基礎論D	2	フランス語圏文化基礎論E	2	ヨーロッパ表象文化特講A	2	ヨーロッパ表象文化特講C	2
			フランス語圏文化基礎論E	2	フランス語圏文化基礎論F	2	ヨーロッパ表象文化特講B	2	ヨーロッパ表象文化特講D	2
			フランス語圏文化基礎論F	2	フランス語圏文化基礎論G	2	フランス語圏地域文化講読A	2	フランス語圏地域文化講読C	2
選択科目	両コース共通科目	フランス語圏文化基礎論G	2	フランス語圏文化基礎論H	2	フランス語圏地域文化講読B	2	フランス語圏地域文化講読D	2	
	フランス語圏コース科目	フランス語圏文化基礎論H	2	フランス語圏文化基礎論I	2	フランス語圏言語文化講読A	2	フランス語圏言語文化講読C	2	
	ヨーロッパ特別コース科目	フランス語圏文化基礎論I	2	フランス語圏文化基礎論J	2	フランス語圏言語文化講読B	2	フランス語圏言語文化講読D	2	
		フランス語圏文化基礎論J	2	フランス語圏文化基礎論K	2	フランス語圏表象文化講読A	2	フランス語圏表象文化講読C	2	

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 平成28年度入学生 (LF16台)

【卒業要件】

〈フランス語圏コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	} 計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
総合系列科目 学修基盤科目					
(1)共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (フランス語)	} 計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目……………				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 24単位	} 計64単位以上	}	}	総計124単位以上
	選択必修科目…………… 24単位以上				
	選択科目…………… 16単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目……………	} 計20単位以上	}	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

〈ヨーロッパ特別コース〉

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	} 計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
総合系列科目 学修基盤科目					
(1)共通教育科目	外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (フランス語)	} 計16単位以上	}	
		第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)			
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目……………				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 32単位	} 計68単位以上	}	}	総計124単位以上
	選択必修科目…………… 22単位以上				
	選択科目…………… 14単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目……………	} 計16単位以上	}	}	
	専門教育科目……………				
	関連教育科目……………				

卒業要件を満たす上での注意事項

〈フランス語圏コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで16単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで、8単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計16単位以上を修得しなければならない。
- (8) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

〈ヨーロッパ特別コース〉

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 他コースの科目は、一定の基準を満たした学生のみ受講できる。
- (3) 専門教育科目の選択必修科目は、「両コース共通選択必修科目」から定められた組み合わせで4単位以上、「両コース共通選択必修科目及び自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで8単位以上、「自コース選択必修科目」から定められた組み合わせで10単位以上を修得しなければならない。
- (4) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。
- (5) 他コースの選択必修科目の修得単位は、選択科目の必要単位を満たしていない場合は選択科目に振り替え、選択科目の必要単位を満たしている場合は自由履修単位に算入する。
- (6) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (7) 専門教育科目の選択科目は、「両コース共通科目」「自コース選択科目」から合計14単位以上を修得しなければならない。
- (8) 他コースの必修科目及び選択科目の修得単位は、すべて自由履修単位に算入する。
- (9) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。
- (9) フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。

詳細は、p. 71、88～90を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 フランス語学科 平成28年度入学生 (LF16台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合合教養科目	人文学	哲学 西洋史学 A	2	哲学 西洋史学 B	2	論理 西洋史学 A	2	論理 西洋史学 B	2
		社会科学	政治学 社会学 A	2	政治学 社会学 B	2	政治学 社会学 A	2	政治学 社会学 B	2
		自然科学	物理学 化学 A	2	物理学 化学 B	2	物理学 化学 A	2	物理学 化学 B	2
		総合系科目 学修基礎科目	地文化 環境教育	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2
	外国語科目	第1	フランス語 I A	2	フランス語 II A	2	アドバンスト・イングリッシュ II	1		
		第2	△ フレッシュマン・イングリッシュ II	1	△ インターミディエイト・イングリッシュ II	1				
			△ フレッシュマン・イングリッシュ III	1	△ インターミディエイト・イングリッシュ III	1				
			△ フレッシュマン・イングリッシュ IV	1	△ インターミディエイト・イングリッシュ IV	1				
			△ ドイツ語 I A	2	△ ドイツ語 II A	2				
			△ 中国語 I A	2	△ 中国語 II A	2				
保健体育科目 単位互換科目	※生涯スポーツ演習 II	1	※生涯スポーツ論	2						
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目										
専門教育科目	必修科目	フランス語基礎演習 A	1			演習 I A	2	演習 II A	2	
		フランス語基礎演習 B	1			演習 I B	2	演習 II B	2	
		フランス語基礎会話 A	1							
		フランス語基礎会話 B	1							
	選択必修科目	フランス語圏コース科目	フランス語学入門 A	2	フランス語基礎講読 A	2				
		ヨーロッパ特別コース科目	日本語リテラシー A	2	クロスカルチャル・リテラシー A	2				
		両コース共通科目	フランス語圏地域文化講読 A	2	フランス語圏地域文化講読 B	2	ヨーロッパ地域文化講読 A	2	ヨーロッパ地域文化講読 B	2
			フランス語圏言語文化講読 A	2	フランス語圏言語文化講読 B	2	ヨーロッパ言語文化講読 A	2	ヨーロッパ言語文化講読 B	2
			フランス語圏表象文化講読 A	2	フランス語圏表象文化講読 B	2	ヨーロッパ表象文化講読 A	2	ヨーロッパ表象文化講読 B	2
			フランス語圏表象文化講読 C	2	フランス語圏表象文化講読 D	2	ヨーロッパ表象文化講読 C	2	ヨーロッパ表象文化講読 D	2
フランス語圏コース科目	フランス語作文 A	2	フランス語作文 B	2	フランス語作文 C	2	フランス語作文 D	2		
フランス語圏コース科目	フランス語会話 A	2	フランス語会話 B	2	フランス語会話 C	2	フランス語会話 D	2		
選択科目	両コース共通科目	フランス語圏現地研修	4	フランス語学 A	2	フランス語学 B	2	フランス語学 C	2	
	フランス語圏コース科目	時事フランス語 A	2	時事フランス語 B	2	時事フランス語 C	2	時事フランス語 D	2	
	ヨーロッパ特別コース科目	ドイツ語圏現地研修	4	ドイツ語圏現地研修	4	ドイツ語学 A	2	ドイツ語学 B	2	
	ドイツ語学 B	2	ドイツ語学 C	2	ドイツ語学 D	2	ドイツ語学 E	2		

(注) (1) 選択必修科目の必要単位を超えて修得した単位は、選択科目に振り替えることができる。  
 (2) 選択科目の「卒業論文」あるいは「卒業研究」を履修する者は、どちらか一方のみを履修できる。  
 (3) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 フランス語学科 平成27年度入学生 (LF15台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目	第1外国語…………… 8 単位 (フランス語)	計16単位以上	}		
	第2外国語…………… 8 単位以上 (二カ国語履修可)				
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 20 単位	計76単位以上	}		総計128単位以上
	選択必修科目…………… 40 単位以上				
	選択科目…………… 16 単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計12単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 第2外国語は同一外国語で8単位を修得しなければならない。
- (2) 選択必修科目の各グループは、いずれもその内4科目8単位を選択履修すること。

詳細は、p. 71、88、91を参照すること。







人文学部 東アジア地域言語学科 令和2年度入学生 (LA20台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
		外国語科目……………16単位以上			}
		保健体育科目…………… 4 単位			
		単位互換科目			
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 6 単位	計60単位以上	}	総計128単位以上	
	選択必修科目……………34単位				
	選択科目……………20単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計28単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 92を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 令和2年度入学生 (LA20台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2	
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学研究A	2	宗教学研究B	2	
		西洋史A	2	西洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2	
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	憲法史A	2	憲法史B	2	
		商学A	2	商学B	2	日本国憲法A	2	日本国憲法B	2	
		教育学A	2	教育学B	2	西洋教育史A	2	西洋教育史B	2	
	自然科学	数学A	2	数学B	2	統計学A	2	統計学B	2	
		物理学A	2	物理学B	2	化学A	2	化学B	2	
		地球科学A	2	地球科学B	2	環境化学A	2	環境化学B	2	
		生物科学A	2	生物科学B	2	微生物学A	2	微生物学B	2	
総合系科目	文化と環境	2	生命・健康と医療	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2		
	福大生のためのキャリアデザイン	2	アカデミックスキルズゼミI	2	アカデミックスキルズゼミII	2	福岡大学を学ぶ・福岡大学でいかに学ぶか	2		
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
外国語科目	外国語科目	※中国語I A	2	△中国語II A	2	アドバンス・イングリッシュI	1			
		※中国語I B	2	△中国語II B	2	アドバンス・イングリッシュII	1			
		※朝鮮語I A	1	△朝鮮語II A	1					
		※朝鮮語I B	1	△朝鮮語II B	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1					
		フレッシュマン・イングリッシュIII	1	インターメディアイト・イングリッシュIII	1					
		フレッシュマン・イングリッシュIV	1	インターメディアイト・イングリッシュIV	1					
		ドクトリン・スピーチ	2	ドクトリン・スピーチ	2					
		ドクトリン・スピーチ	2	ドクトリン・スピーチ	2					
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ論	2						
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	必修科目	中国・韓国学入門演習	2							
		中国・韓国事情概説	2							
	選択必修科目	中国コース	中国学基礎演習A	2	中国学基礎演習B	2	中国学演習IA	2	中国学演習IIA	2
			コミュニケーション中国語IA	1	コミュニケーション中国語IB	1	コミュニケーション中国語IIA	1	コミュニケーション中国語IIB	1
		韓国コース	中国学文献講読IA	2	中国学文献講読IB	2	中国学文献講読IIA	2	中国学文献講読IIB	2
			中国語表現法A	2	中国語表現法B	2				
	選択科目	選択科目	韓国学基礎演習A	2	韓国学基礎演習B	2	[韓国学演習IA]	2	韓国学演習IIA	2
			コミュニケーション朝鮮語A	1	コミュニケーション朝鮮語B	1	[韓国学演習IB]	2	韓国学演習IIB	2
			韓国学文献講読IA	2	韓国学文献講読IB	2	コミュニケーション朝鮮語IA	1	コミュニケーション朝鮮語IIB	1
			韓国学文献講読IIA	2	韓国学文献講読IIB	2	コミュニケーション朝鮮語IIA	1	コミュニケーション朝鮮語IIB	1
関連教育科目	関連教育科目	中国言語文化概説A(文学)	2			[中国事情特講A]	2	[中国事情特講B]	2	
		中国言語文化概説B(言語)	2			中国事情特講C	2	中国事情特講D	2	
		韓国言語文化概説A(文学)	2			[中国事情講読A]	2	[中国事情講読B]	2	
		韓国言語文化概説B(言語)	2			中国事情講読C	2	中国事情講読D	2	
						[中国言語文化特講A]	2	[中国言語文化特講B]	2	
						中国言語文化講読A	2	中国言語文化講読B	2	
						[韓国事情特講A]	2	[韓国事情特講B]	2	
						韓国事情特講C	2	韓国事情特講D	2	
						[韓国事情講読A]	2	[韓国事情講読B]	2	
						韓国事情講読C	2	韓国事情講読D	2	
				[韓国言語文化特講A]	2	[韓国言語文化特講B]	2			
				韓国言語文化特講C	2	韓国言語文化特講D	2			
				[東アジア地域事情特講A]	2	[東アジア地域事情特講B]	2			
				[東アジア各種言語講義A]	2	[東アジア各種言語講義B]	2			
				東アジア相互理解演習A	2	東アジア相互理解演習B	2			
						卒業論文	8			

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語II A、II B、韓国コースは朝鮮語II A、II Bを必ず選択するものとする。  
 (2) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) ( ) 内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 平成31年度入学生 (LA19台)

【卒業要件】

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目……………16単位以上					
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2)専門教育科目	必修科目…………… 6 単位	計60単位以上	}	総計128単位以上	
	選択必修科目……………34単位				
	選択科目……………20単位以上				
(3)自由履修単位	共通教育科目	計28単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 92を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 平成31年度入学生 (LA19台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
		西洋史A	2	西洋史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		西アジアの文化A	2	西アジアの文化B	2	西アジアの文化A	2	西アジアの文化B	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日本国憲法A	2	政商政治学A	2
		法政商教心育論A	2	法政商教心育論B	2	日本国憲法B	2	政商政治学B	2
	自然科学	数理学入門A	2	基礎数学A	2	統計学A	2	物理科学入門A	2
		世界の地理学A	2	自然界と物質の化学A	2	生活と環境の化学A	2	物理科学入門B	2
	総合系科目	地球と環境A	2	生命・健康と医療A	2	国際化と日本A	2	科学・技術・情報と社会A	2
		現代教育A	2	現代を生きるA	2	国際化と日本B	2	科学・技術・情報と社会B	2
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
	※中国語I A	2	△中国語II A	2	アドバンス・イングリッシュI	1			
	※中国語I B	2	△中国語II B	2	アドバンス・イングリッシュII	1			
	※朝鮮語I A	1	△朝鮮語II A	1					
	※朝鮮語I B	1	△朝鮮語II B	1					
	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディアイト・イングリッシュI	1					
	※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディアイト・イングリッシュII	1					
	フレッシュマン・イングリッシュIII	1	インターメディアイト・イングリッシュIII	1					
	フレッシュマン・イングリッシュIV	1	インターメディアイト・イングリッシュIV	1					
ドクトリン語学A	2	ドクトリン語学B	2						
ドクトリン語学B	2	ドクトリン語学C	2						
ドクトリン語学C	2	ドクトリン語学D	2						
ドクトリン語学D	2	ドクトリン語学E	2						
ドクトリン語学E	2	ドクトリン語学F	2						
ドクトリン語学F	2	ドクトリン語学G	2						
ドクトリン語学G	2	ドクトリン語学H	2						
ドクトリン語学H	2	ドクトリン語学I	2						
ドクトリン語学I	2	ドクトリン語学J	2						
ドクトリン語学J	2	ドクトリン語学K	2						
ドクトリン語学K	2	ドクトリン語学L	2						
ドクトリン語学L	2	ドクトリン語学M	2						
ドクトリン語学M	2	ドクトリン語学N	2						
ドクトリン語学N	2	ドクトリン語学O	2						
ドクトリン語学O	2	ドクトリン語学P	2						
ドクトリン語学P	2	ドクトリン語学Q	2						
ドクトリン語学Q	2	ドクトリン語学R	2						
ドクトリン語学R	2	ドクトリン語学S	2						
ドクトリン語学S	2	ドクトリン語学T	2						
ドクトリン語学T	2	ドクトリン語学U	2						
ドクトリン語学U	2	ドクトリン語学V	2						
ドクトリン語学V	2	ドクトリン語学W	2						
ドクトリン語学W	2	ドクトリン語学X	2						
ドクトリン語学X	2	ドクトリン語学Y	2						
ドクトリン語学Y	2	ドクトリン語学Z	2						
ドクトリン語学Z	2								
保健体育科目	※生涯スポーツ演習I	1	※生涯スポーツ演習II	1					
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	必修科目	中国・韓国学入門演習	2						
		中国・韓国事情概説	2						
	選択必修科目	中国語I A	2	中国語II A	2	中国語III A	2	中国語IV A	2
		中国語I B	2	中国語II B	2	中国語III B	2	中国語IV B	2
	韓国語I A	2	韓国語II A	2	韓国語III A	2	韓国語IV A	2	
		韓国語I B	2	韓国語II B	2	韓国語III B	2	韓国語IV B	2
	選択科目	中国事情特講A	2	中国事情特講B	2	中国事情特講C	2	中国事情特講D	2
		中国事情特講E	2	中国事情特講F	2	中国事情特講G	2	中国事情特講H	2
	韓国事情特講A	2	韓国事情特講B	2	韓国事情特講C	2	韓国事情特講D	2	
		韓国事情特講E	2	韓国事情特講F	2	韓国事情特講G	2	韓国事情特講H	2
東アジア地域事情特講A	2	東アジア地域事情特講B	2	東アジア地域事情特講C	2	東アジア地域事情特講D	2		
	東アジア地域事情特講E	2	東アジア地域事情特講F	2	東アジア地域事情特講G	2	東アジア地域事情特講H	2	
東アジア各種言語特講A	2	東アジア各種言語特講B	2	東アジア各種言語特講C	2	東アジア各種言語特講D	2		
	東アジア各種言語特講E	2	東アジア各種言語特講F	2	東アジア各種言語特講G	2	東アジア各種言語特講H	2	
東アジア相互理解演習A	2	東アジア相互理解演習B	2	東アジア相互理解演習C	2	東アジア相互理解演習D	2		
	東アジア相互理解演習E	2	東アジア相互理解演習F	2	東アジア相互理解演習G	2	東アジア相互理解演習H	2	
卒業論文	卒	2	業	2	論	2	文	2	
	文	2	論	2	卒	2	業	2	
東洋史特講A	2	東洋史特講B	2	東洋史特講C	2	東洋史特講D	2		
	東洋史特講E	2	東洋史特講F	2	東洋史特講G	2	東洋史特講H	2	
日本語教授法演習I	2	日本語教授法演習II	2	日本語教授法演習III	2	日本語教授法演習IV	2		
	日本語教授法演習V	2	日本語教授法演習VI	2	日本語教授法演習VII	2	日本語教授法演習VIII	2	
宗教文化論	2	宗教文化論	2	宗教文化論	2	宗教文化論	2		
	宗教文化論	2	宗教文化論	2	宗教文化論	2	宗教文化論	2	
比較文化論	2	比較文化論	2	比較文化論	2	比較文化論	2		
	比較文化論	2	比較文化論	2	比較文化論	2	比較文化論	2	
文化地理学	2	文化地理学	2	文化地理学	2	文化地理学	2		
	文化地理学	2	文化地理学	2	文化地理学	2	文化地理学	2	
国際法論	2	国際法論	2	国際法論	2	国際法論	2		
	国際法論	2	国際法論	2	国際法論	2	国際法論	2	
[東洋の文化と歴史A]	2	[東洋の文化と歴史B]	2	[東洋の文化と歴史C]	2	[東洋の文化と歴史D]	2		
	[東洋の文化と歴史E]	2	[東洋の文化と歴史F]	2	[東洋の文化と歴史G]	2	[東洋の文化と歴史H]	2	
対外交渉史	2	対外交渉史	2	対外交渉史	2	対外交渉史	2		
	対外交渉史	2	対外交渉史	2	対外交渉史	2	対外交渉史	2	
日本語教育法III	2	日本語教育法IV	2	日本語教育法V	2	日本語教育法VI	2		
	日本語教育法VII	2	日本語教育法VIII	2	日本語教育法IX	2	日本語教育法X	2	
日本語学特講II a	2	日本語学特講II b	2	日本語学特講II c	2	日本語学特講II d	2		
	日本語学特講II e	2	日本語学特講II f	2	日本語学特講II g	2	日本語学特講II h	2	
日本語学特講III a	2	日本語学特講III b	2	日本語学特講III c	2	日本語学特講III d	2		
	日本語学特講III e	2	日本語学特講III f	2	日本語学特講III g	2	日本語学特講III h	2	
日本語学特講IV a	2	日本語学特講IV b	2	日本語学特講IV c	2	日本語学特講IV d	2		
	日本語学特講IV e	2	日本語学特講IV f	2	日本語学特講IV g	2	日本語学特講IV h	2	
日本語学特講V a	2	日本語学特講V b	2	日本語学特講V c	2	日本語学特講V d	2		
	日本語学特講V e	2	日本語学特講V f	2	日本語学特講V g	2	日本語学特講V h	2	
日本語学特講VI a	2	日本語学特講VI b	2	日本語学特講VI c	2	日本語学特講VI d	2		
	日本語学特講VI e	2	日本語学特講VI f	2	日本語学特講VI g	2	日本語学特講VI h	2	
開発経済論A	2	開発経済論B	2	開発経済論C	2	開発経済論D	2		
	開発経済論E	2	開発経済論F	2	開発経済論G	2	開発経済論H	2	
アジア経済論A	2	アジア経済論B	2	アジア経済論C	2	アジア経済論D	2		
	アジア経済論E	2	アジア経済論F	2	アジア経済論G	2	アジア経済論H	2	
発展途上国経済論	2	発展途上国経済論	2	発展途上国経済論	2	発展途上国経済論	2		
	発展途上国経済論	2	発展途上国経済論	2	発展途上国経済論	2	発展途上国経済論	2	
国際貿易論I	2	国際貿易論II	2	国際貿易論III	2	国際貿易論IV	2		
	国際貿易論V	2	国際貿易論VI	2	国際貿易論VII	2	国際貿易論VIII	2	
サービスマーケティング	2	サービスマーケティング	2	サービスマーケティング	2	サービスマーケティング	2		
	サービスマーケティング	2	サービスマーケティング	2	サービスマーケティング	2	サービスマーケティング	2	
国際企業論	2	国際企業論	2	国際企業論	2	国際企業論	2		
	国際企業論	2	国際企業論	2	国際企業論	2	国際企業論	2	
朝鮮史	2	朝鮮史	2	朝鮮史	2	朝鮮史	2		
	朝鮮史	2	朝鮮史	2	朝鮮史	2	朝鮮史	2	
ヨーロッパ地域文化特講A	2	ヨーロッパ地域文化特講B	2	ヨーロッパ地域文化特講C	2	ヨーロッパ地域文化特講D	2		
	ヨーロッパ地域文化特講E	2	ヨーロッパ地域文化特講F	2	ヨーロッパ地域文化特講G	2	ヨーロッパ地域文化特講H	2	
他大学の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める授業科目									
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語II A、II B、韓国コースは朝鮮語II A、II Bを必ず選択するものとする。  
 (2) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) ( ) 内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 平成30年度入学生 (LA18台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
	外国語科目……………16単位以上				
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 6 単位	計60単位以上	}	総計128単位以上	
	選択必修科目……………34単位				
	選択科目……………20単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計28単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 92を参照すること。



年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 平成30年度入学生 (LA18台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
		西洋文学A	2	西洋文学B	2	東洋文学A	2	東洋文学B	2
		国文学A	2	国文学B	2	西文学A	2	西文学B	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	日本国憲法	2	政治学A	2
		法政商教心育論A	2	法政商教心育論B	2	日経社地文	2	政商教心育論A	2
	自然科学	数理学A	2	数理学B	2	統計学A	2	物理科学入門	2
		地球環境学A	2	地球環境学B	2	生活と環境の化学	2	地球科学入門	2
	総合系科目	総合系科目	2	総合系科目	2	国際化と日本	2	科学・技術・情報と社会	2
		総合系科目	2	総合系科目	2	アカデミックスキルズゼミⅠ	2	アカデミックスキルズゼミⅡ	2
教育科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
	外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		
	保健体育科目		保健体育科目		保健体育科目		保健体育科目		
専門教育科目	必修科目	中国・韓国学入門	2	中国学基礎演習A	2	中国学演習ⅠA	2	中国学演習ⅡA	2
		中国事情概説	2	中国学基礎演習B	2	中国学演習ⅠB	2	中国学演習ⅡB	2
	選択必修科目	中国語ⅠA	1	中国語ⅠB	1	中国語ⅡA	1	中国語ⅡB	1
		中国語ⅡA	2	中国語ⅡB	2	中国語ⅢA	1	中国語ⅢB	1
	選択科目	韓国語ⅠA	1	韓国語ⅠB	1	韓国語ⅡA	1	韓国語ⅡB	1
		韓国語ⅢA	1	韓国語ⅢB	1	韓国語ⅣA	1	韓国語ⅣB	1
		中国事情特講A	2	中国事情特講B	2	中国事情特講C	2	中国事情特講D	2
		中国事情特講E	2	中国事情特講F	2	中国事情特講G	2	中国事情特講H	2
		中国事情特講I	2	中国事情特講J	2	中国事情特講K	2	中国事情特講L	2
		中国事情特講M	2	中国事情特講N	2	中国事情特講O	2	中国事情特講P	2
関連教育科目	東洋史特講A	2	東洋史特講B	2	東洋史特講C	2	東洋史特講D	2	
	東洋史特講E	2	東洋史特講F	2	東洋史特講G	2	東洋史特講H	2	
	東洋史特講I	2	東洋史特講J	2	東洋史特講K	2	東洋史特講L	2	
	東洋史特講M	2	東洋史特講N	2	東洋史特講O	2	東洋史特講P	2	
	東洋史特講Q	2	東洋史特講R	2	東洋史特講S	2	東洋史特講T	2	
	東洋史特講U	2	東洋史特講V	2	東洋史特講W	2	東洋史特講X	2	
	東洋史特講Y	2	東洋史特講Z	2	東洋史特講AA	2	東洋史特講AB	2	
	東洋史特講AC	2	東洋史特講AD	2	東洋史特講AE	2	東洋史特講AF	2	
	東洋史特講AG	2	東洋史特講AH	2	東洋史特講AI	2	東洋史特講AJ	2	
	東洋史特講AK	2	東洋史特講AL	2	東洋史特講AM	2	東洋史特講AN	2	

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国語は中国語ⅡA、ⅡB、韓国語は朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。  
 (2) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。  
 (3) 日本語教育法Ⅰ、日本語教育法Ⅱ、日本語教育法Ⅲ、日本語教育法Ⅳの履修についてはⅠ、Ⅱを履修したのちⅢ、Ⅳを履修し、日本語教授法演習Ⅰ、日本語教授法演習Ⅱは、日本語教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 平成29年度入学生 (LA17台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目……………16単位以上					
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 6 単位	計60単位以上	}	総計128単位以上	
	選択必修科目……………34単位				
	選択科目……………20単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計28単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 92を参照すること。

# 年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

## 人文学部 東アジア地域言語学科 平成29年度入学生 (LA17台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
共通教育科目	人文科学	哲学	学A	2	哲学	学B	2	論理	学A	2	論理	学B	2
		倫理	学A	2	倫理	学B	2	宗東	学A	2	宗東	学B	2
		西洋	学A	2	西洋	学B	2	日西	学A	2	日西	学B	2
		国文	学A	2	国文	学B	2	本洋	学A	2	本洋	学B	2
	社会科学	政治	学A	2	法経	学A	2	日経	学A	2	政商	学A	2
		教育	学A	2	社会	学A	2	本教	学A	2	育理	学A	2
	自然科学	数物	学A	2	基礎	学A	2	統計	学A	2	物理	学A	2
		理の	学A	2	自然界	学A	2	生活	学A	2	地球	学A	2
	総合系科目	地球	学A	2	ミクロ	学A	2	マクロ	学A	2	自然	学A	2
		文化	学A	2	生命	学A	2	国際	学A	2	科学	学A	2
科目	修習	学A	2	アカ	学A	2	アカ	学A	2	アカ	学A	2	
	修習	学A	2	アカ	学A	2	アカ	学A	2	アカ	学A	2	
教育科目	外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次					
		授業科目		単位	授業科目		単位	授業科目		単位			
	外国語科目	中朝	語I	A	2	△中朝	語II	A	2	アド	語I	1	
		中朝	語I	B	2	△中朝	語II	B	2	アド	語II	1	
		中朝	語I	A	1	△中朝	語II	A	1				
		中朝	語I	B	1	△中朝	語II	B	1				
		中朝	語I	A	1	△中朝	語II	A	1				
		中朝	語I	B	1	△中朝	語II	B	1				
		中朝	語I	A	1	△中朝	語II	A	1				
		中朝	語I	B	1	△中朝	語II	B	1				
保健	演習	I	1	※生涯	演習	I	1						
単位	演習	II	1	※生涯	演習	II	1						
専門教育科目	必修科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											
		他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目											
	選択必修科目	中国	学A	2	中国	学A	2	中国	学A	2	中国	学A	2
		中国	学B	2	中国	学B	2	中国	学B	2	中国	学B	2
	選択科目	△中朝	語I	A	2	韓国	語I	A	2	韓国	語I	A	2
		△中朝	語I	B	2	韓国	語I	B	2	韓国	語I	B	2
		△中朝	語I	A	1	韓国	語I	A	1	韓国	語I	A	1
		△中朝	語I	B	1	韓国	語I	B	1	韓国	語I	B	1
		△中朝	語I	A	1	韓国	語I	A	1	韓国	語I	A	1
		△中朝	語I	B	1	韓国	語I	B	1	韓国	語I	B	1
△中朝		語I	A	1	韓国	語I	A	1	韓国	語I	A	1	
△中朝		語I	B	1	韓国	語I	B	1	韓国	語I	B	1	
関連教育科目	日比	論I	2	日比	論I	2	東洋	論I	2	東洋	論I	2	
	日比	論II	2	日比	論II	2	東洋	論II	2	東洋	論II	2	
	日比	論III	2	日比	論III	2	東洋	論III	2	東洋	論III	2	
	日比	論IV	2	日比	論IV	2	東洋	論IV	2	東洋	論IV	2	
	日比	論V	2	日比	論V	2	東洋	論V	2	東洋	論V	2	
	日比	論VI	2	日比	論VI	2	東洋	論VI	2	東洋	論VI	2	
	日比	論VII	2	日比	論VII	2	東洋	論VII	2	東洋	論VII	2	
	日比	論VIII	2	日比	論VIII	2	東洋	論VIII	2	東洋	論VIII	2	
	日比	論IX	2	日比	論IX	2	東洋	論IX	2	東洋	論IX	2	
	日比	論X	2	日比	論X	2	東洋	論X	2	東洋	論X	2	

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語II A、II B、韓国コースは朝鮮語II A、II Bを必ず選択するものとする。  
 (2) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) [ ] 内は今年度休講。

人文学部 東アジア地域言語学科 平成28年度入学生 (LA16台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
外国語科目……………16単位以上					
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 6 単位	計60単位以上	}	総計128単位以上	
	選択必修科目……………34単位				
	選択科目……………20単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計28単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 92を参照すること。





人文学部 東アジア地域言語学科 平成27年度入学生 (LA15台)

【卒業要件】

(1) 共通教育科目	総合教養科目	人文科学…………… 4 単位以上	計20単位以上	}	合計40単位以上
		社会科学…………… 4 単位以上			
		自然科学…………… 4 単位以上			
		総合系列科目 学修基盤科目			
	外国語科目……………16単位以上				
	保健体育科目…………… 4 単位				
	単位互換科目				
(2) 専門教育科目	必修科目…………… 6 単位	計60単位以上	}	総計128単位以上	
	選択必修科目……………34単位				
	選択科目……………20単位以上				
(3) 自由履修単位	共通教育科目	計28単位以上	}		
	専門教育科目				
	関連教育科目				

卒業要件を満たす上での注意事項

- (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語ⅡA、ⅡB、韓国コースは朝鮮語ⅡA、ⅡBを必ず選択するものとする。
- (2) 選択必修科目の必要単位数34単位は、「中国語入門A」と「中国語入門B」または「朝鮮語入門A」と「朝鮮語入門B」のいずれかで4単位を修得し、自コースの選択必修科目で30単位を修得すること。
- (3) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができる。
- (4) 他コース科目の単位はすべて自由履修単位に算入する。

詳細は、p. 92を参照すること。

年次別授業科目表 (学科履修規程 第4条 別表)

人文学部 東アジア地域言語学科 平成27年度入学生 (LA15台)

※印は必修  
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	哲学A	2	哲学B	2	論理科学A	2	論理科学B	2
	社会科学	政治学A	2	政治学B	2	政治学A	2	政治学B	2
	自然科学	物理学A	2	物理学B	2	物理学A	2	物理学B	2
	総合科目	総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2
	総合科目	総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2	総合科目	2
教育科目	外国語科目	中国語I A	2	中国語II A	2	中国語I A	2	中国語II A	2
	保健体育科目	体育I	1	体育II	1	体育I	1	体育II	1
	単位互換科目	他大学 (短期大学を含む。) の授業科目のうち人文学部教授会が適当と認める科目							
	必修科目	中国・韓国学入門演習I	2	中国学基礎演習A	2	中国学演習I A	2	中国学演習II A	2
	選択必修科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
育科目	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
関連教育科目	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2
	選択科目	中国語II A	2	中国語II B	2	中国語II A	2	中国語II B	2

(注) (1) 共通教育科目外国語は、2年次以降、中国コースは中国語II A、II B、韓国コースは朝鮮語II A、II Bを必ず選択するものとする。  
 (2) 中国語入門A、B、朝鮮語入門A、Bは両方とも履修することができ。  
 (3) 日本語教育法I、日本語教育法II、日本語教育法III、日本語教育法IVの履修についてはI、IIを履修したのちIII、IVを履修し、日本語教授法演習I、日本語教授法演習IIは、日本語教育法I、II、III、IVのすべてを履修したのちに履修することを原則とする。  
 (4) ( ) 内は今年度休講。

**令和2年度入学生(20台)**

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
  - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A 及びドイツ語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。



## VI. 諸 規 程

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。  
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。



- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

- 2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

- 3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。  
(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。  
(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

- 2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。  
(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。  
(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。  
(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計

20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。受講人員は20人を原則とする。

## 附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成31年度入学生 (19台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。



- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
  - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A 及びドイツ語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。



3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。  
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含

め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。



平成30年度入学生 (18台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。



- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
  - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A 及びドイツ語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A 及びフランス語 I B の計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。  
第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

2 商学部のクリエイティブ・マネジメントプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。

(4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

(4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科



目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。受講人員は

20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。



平成29年度入学生 (17台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。

第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。

- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語 I A及びドイツ語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語 I A及びフランス語 I Bの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。

2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、語学力強化プログラムを履修することができる。

3 語学力強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。語学力強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。

2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。

3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この条において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目11単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
- (2) 物理数学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
- (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。
- (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目25単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
- (2) 物理数学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。



(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。

(3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、

3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。



### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成28年度入学生 (16台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。

ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定に関わらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。ただし、上位年次への進級又は卒業に関わるときは、教授会の承認を経て4単位までの登録を認めることがある。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、2年以上在学し、次の各号に定める授業科目の単位を修得していなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
  - (2) フランス語学科の学生は、フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
- 第6条の2 法学部法律学科の学生は、法律特修プログラムを履修することができる。
- 2 法律特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。法律特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。
- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この条において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

## VI. 諸 規 程

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目11単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
  - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
  - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。
  - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。
- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目25単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
  - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
  - (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
  - (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- 第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。
- (2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。
- (3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については18単位、合計53単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、51単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。



この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。

(3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

(4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。



ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ、教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合。
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く）について、登録の変更、追加、削除をする場合。

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は、年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取止めることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成27年度入学生 (15台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

- 6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の4第1項第1号又は第6条の4第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
  - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の4第1項第2号・3号又は第6条の4第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
  - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の4第1項第4号又は第6条の4第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
- 8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次40単位、第4年次36単位、第5年次34単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定に関わらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。ただし、上位年次への進級又は卒業に関わるときは、教授会の承認を経て4単位までの登録を認めることがある。

第6条 人文学部ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、次に掲げる科目の単位を修得していなければ、以下の特定科目の登録を行うことはできない。

(1) ドイツ語学科の学科履修における条件

「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」及び各講読(3・4年次科目)を履修する者は、1年次の「ドイツ語ⅠA」(2単位)及び「ドイツ語ⅠB」(2単位)を修得していなければならない。

第6条の2 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この条において「プログラム」という。)を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目11単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科



目について64単位以上。

- (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、化学コースの学生は専門教育科目については、第2年次までの選択必修実験科目10単位以上を含む。
- (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目25単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
- (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの各2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (3) 化学科において、化学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験科目から12単位以上及び系別の必修科目のうち実験科目4単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の必修実験科目22単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の5 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。
- (2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。
- (3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の6 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については14単位、合計49単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、47単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列



科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。
- (3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。
- (4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の7 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次の選択科目のうち、物理分野から2単位以上、化学分野から6単位以上、生物分野から4単位以上、総合分野から1単位以上を含め計20単位以上、合計38単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、計18単位以上の修得をもって足りる。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次の必修科目4単位、2年次の選択科目のうち、物理分野から4単位以上、化学分野から4単位以上、生物分野から4単位以上、衛生分野から2単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から2単位以上を含め計28単位以上、合計52単位以上、総計78単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計26単位以上の修得をもって足りる。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択科目のうち、物理分野から3単位以上、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、衛生分野から1単位以上、薬理分野から2単位以上、薬剤分野から4単位以上、実務分野から1単位以上を含め計19単位以上、合計78単位以上、総計106単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次の必修科目12単位、4年次の選択科目のうち、化学分野から1単位以上、生物分野から1単位以上、薬理分野から1単位以上、薬剤分野から1単位以上、実務分野から1単位以上を含め計9単位以上、合計99単位以上、総計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単位以上の修得をもって足りる。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目20単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目21単位以上、5年次の必修科目32単位、計131単位以上、合計159単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、計28単

位以上の修得をもって足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

(1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合

(2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。受講人員は20人を原則とする。

#### 附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

#### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の4、工学部は第5条と第6条の5、薬学部は第5条と第6条の7）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

## 平成26年度入学生 (14台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次38単位、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が78単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が118単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超え



てはならない。ただし、学科履修規程第6条の4第1項第1号又は第6条の4第2項第1号に該当する者は46単位まで履修することができる。

- (2) 物理科学科、化学科及び地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各54単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の4第1項第2号・3号・4号又は第6条の4第2項第2号・3号・4号に該当する者は54単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として50単位を超えてはならない。
- 8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次35単位、第4年次36単位、第5年次36単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定に関わらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。ただし、上位年次への進級又は卒業に関わるときは、教授会の承認を経て4単位までの登録を認めることがある。

第6条 人文学部ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、次に掲げる科目の単位を修得していなければ、以下の特定科目の登録を行うことはできない。

(1) ドイツ語学科の学科履修における条件

「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」及び各講読(3・4年次科目)を履修する者は、1年次の「ドイツ語ⅠA」(2単位)及び「ドイツ語ⅠB」(2単位)を修得していなければならない。

第6条の2 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。

3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この条において「プログラム」という。)を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次必修科目11単位並びに第2年次科目8単位を含む24単位以上。
- (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
- (3) 化学科において、化学コースの学生は第2年次までの選択必修実験科目の10単位以上を含み、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
- (4) 地球圏科学科の学生は、第2年次までの全実験科目8単位を含み、共通教育科目及び専門教育科目について70単位以上。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の単位を修得していなければ、以下の第4年次開講科目の登録をすることはできない。

(1) 応用数学科応用数学コースの学生は、第3年次までの必修専門教育科目25単位、第3年次の選択必修科目16単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。ただし、選択必修科目16単位のなかには、第2群科目6単位以上を含まなければならない。

社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、第3年次までの必修専門教育科目27単位、第3年次の選択必修科目12単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、第3年次までの必修とする全実験科目、物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を、また、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、第3年次までの必修とする全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は第3年次までの選択必修実験科目の12単位以上、第3年次の必修とする系別全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を、また、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は第3年次までの必修とする全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。

(4) 地球圏科学科の学生は、選択必修とする実験科目（A・B・C群のいずれかの科目群）の8単位及び第3年次までの外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。

第6条の5 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科、社会デザイン工学科は20単位まで、建築学科は18単位までとする。

第6条の6 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については14単位、合計49単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、47単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。



- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。
- (3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。
- (4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の7 薬学部の学生は、第1年次から第5年次のそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より10単位、第1外国語より2単位、単位互換科目を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次科目より17単位以上、合計35単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、合計18単位以上の修得を以って足りる。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、外国語科目より第1外国語6単位、単位互換科目を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目17単位以上、2年次科目31単位以上、計48単位以上、合計74単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計26単位以上の修得を以って足りる。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位、単位互換科目を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目17単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目26単位以上、計74単位以上、合計102単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位、単位互換科目を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目17単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目25単位以上、計99単位以上、合計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位、単位互換科目を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目17単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目25単位以上、5年次科目34単位、計133単位以上、合計161単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合

- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。受講人員は20人を原則とする。

#### 附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

#### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の4、工学部は第5条と第6条の5、薬学部は第5条と第6条の7）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成25年度入学生 (13台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次38単位、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が78単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が118単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超え

てはならない。ただし、学科履修規程第6条の3第1項第1号又は第6条の3第2項第1号に該当する者は46単位まで履修することができる。

- (2) 物理科学科、化学科及び地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各54単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の3第1項第2号・3号・4号又は第6条の3第2項第2号・3号・4号に該当する者は54単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として50単位を超えてはならない。
- 8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
- 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次35単位、第4年次36単位、第5年次36単位、第6年次37単位を超えてはならない。
- 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
- 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定に関わらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。ただし、上位年次への進級又は卒業に関わるときは、教授会の承認を経て4単位までの登録を認めることがある。

第6条 人文学部ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、次に掲げる科目の単位を修得していなければ、以下の特定科目の登録を行うことはできない。

(1) ドイツ語学科の学科履修における条件

「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」及び各講読(3・4年次科目)を履修する者は、1年次の「ドイツ語ⅠA」(2単位)及び「ドイツ語ⅠB」(2単位)を修得していなければならない。

第6条の2 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム(以下「プログラム」という。)を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次必修科目11単位並びに第2年次科目8単位を含む24単位以上。
  - (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
  - (3) 化学科において、化学コースの学生は第2年次までの選択必修実験科目の10単位以上を含み、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。
  - (4) 地球圏科学科の学生は、第2年次までの全実験科目8単位を含み、共通教育科目及び専門教育科目について70単位以上。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の単位を修得していなければ、以下の第4年次開講科目の登録をすることはできない。

(1) 応用数学科応用数学コースの学生は、第3年次までの必修専門教育科目25単位、第3年次の選択必修科目16単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。ただし、選択必修科目16単位のなかには、第2群科目6単位以上を含まなければならない。

社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、第3年次までの必修専門教育科目27単位、第3年次の選択必修科目12単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をす



ることはできない。

- (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、第3年次までの必修とする全実験科目、物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を、また、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、第3年次までの必修とする全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。
- (3) 化学科において、化学コースの学生は第3年次までの選択必修実験科目の12単位以上、第3年次の必修とする系別全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を、また、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は第3年次までの必修とする全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、選択必修とする実験科目（A・B・C群のいずれかの科目群）の8単位及び第3年次までの外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。

第6条の4 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。
- (2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。
- (3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科は20単位まで、建築学科は18単位までとする。

第6条の5 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、専門教育科目については14単位、合計49単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、47単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次の各号に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。
- (3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次



の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。

- (4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の6 薬学部の学生は、第1年次から第5年次のそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より10単位、第1外国語より2単位、単位互換科目を含め計18単位以上、専門教育科目について、1年次科目より17単位以上、合計35単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、合計18単位以上の修得を以って足りる。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、外国語科目より第1外国語6単位、単位互換科目を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目17単位以上、2年次科目31単位以上、計48単位以上、合計74単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計26単位以上の修得を以って足りる。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位、単位互換科目を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目17単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目26単位以上、計74単位以上、合計102単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位、単位互換科目を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目17単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目25単位以上、計99単位以上、合計127単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位、単位互換科目を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目17単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目26単位以上、4年次科目25単位以上、5年次科目34単位、計133単位以上、合計161単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。  
受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

**卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）**

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の3、工学部は第5条と第6条の4、薬学部は第5条と第6条の6）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

## 平成24年度入学生 (12台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次38単位、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が78単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が118単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における修得単位数が41単位に不足するときは、これに加えてその不足単位数に相当する単位を8単位を限度に履修することができる。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超え

てはならない。ただし、学科履修規程第6条の3第1項第1号又は第6条の3第2項第1号に該当する者は46単位まで履修することができる。

(2) 物理科学科、化学科及び地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各54単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の3第1項第2号・3号・4号又は第6条の3第2項第2号・3号・4号に該当する者は54単位まで履修することができる。

7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として50単位を超えてはならない。

8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。

9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次55単位、第2年次55単位、第3年次31単位、第4年次33単位、第5年次36単位、第6年次37単位を超えてはならない。

10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。

11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の時間制の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における時間制の専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定に関わらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。ただし、上位年次への進級又は卒業に関わるときは、教授会の承認を経て4単位までの登録を認めることがある。

第6条 人文学部ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、次に掲げる科目の単位を修得していなければ、以下の特定科目の登録を行うことはできない。

(1) ドイツ語学科の学科履修における条件

「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」及び各講読(3・4年次科目)を履修する者は、1年次の「ドイツ語ⅠA」(2単位)及び「ドイツ語ⅠB」(2単位)を修得していなければならない。

第6条の2 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム(以下「プログラム」という。)を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次必修科目11単位並びに第2年次科目8単位を含む24単位以上。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科において、化学コースの学生は第2年次までの選択必修実験科目の10単位以上を含み、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(4) 地球圏科学科の学生は、第2年次までの全実験科目8単位を含み、共通教育科目及び専門教育科目について70単位以上。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の単位を修得していなければ、以下の第4年次開講科目の登録をすることはできない。

(1) 応用数学科応用数学コースの学生は、第3年次までの必修専門教育科目25単位、第3年次の選択必修科目16単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。ただし、選択必修科目16単位のなかには、第2群科目6単位以上を含まなければならない。

社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、第3年次までの必修専門教育科目27単位、第3年次の選択必修科目12単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をす



ることはできない。

- (2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、第3年次までの必修とする全実験科目、物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を、また、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、第3年次までの必修とする全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。
- (3) 化学科において、化学コースの学生は第3年次までの選択必修実験科目の12単位以上、第3年次の必修とする系別全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を、また、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は第3年次までの必修とする全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、選択必修とする実験科目（A・B・C群のいずれかの科目群）の8単位及び第3年次までの外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。

第6条の4 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

- (1) 総合教養科目は、12単位までとする。
- (2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。
- (3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科は20単位まで、建築学科は18単位までとする。

第6条の5 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、基礎教育科目については8単位、専門教育科目6単位、合計49単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。

ただし、47単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次の各号に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より8単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目18単位、専門教育科目9単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目28単位、必修の専門教育科目37単位、合計89単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。
- (3) 第3年次前期終了時において、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、並びに第3年次前期に開講する必修の専門基礎科目1単位、必修の専門教育科目10単位を修得してい



なければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。

- (4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目6単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計26単位以上、必修の専門基礎科目29単位、必修の専門教育科目61単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の6 薬学部の学生は、第1年次から第5年次のそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より10単位、第1外国語より2単位を含んで計18単位以上、専門教育科目について、1年次科目より24単位以上、合計42単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、合計18単位以上の修得を以って足りる。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、外国語科目より第1外国語6単位を含んで計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目24単位以上、2年次科目31単位以上、計55単位以上、合計81単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計26単位以上の修得を以って足りる。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位を含んで計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目24単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目21単位以上、計76単位以上、合計104単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位を含んで計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目24単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目21単位以上、4年次科目22単位以上、計98単位以上、合計126単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位を含んで計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目24単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目21単位以上、4年次科目22単位以上、5年次科目34単位、計132単位以上、合計160単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）

- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。  
受講人員は20人を原則とする。

#### 附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の3、工学部は第5条と第6条の4、薬学部は第5条と第6条の6）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

平成23年度入学生 (11台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次38単位、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が78単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が118単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として41単位を超えてはならない。ただし、前年度における合格科目の単位数が41単位に不足する場合、さらにその不足単位数に相当する科目を8単位を限度に登録することができる。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の2第1項第1号又は第6条の2第2項第1号に該当する者は46単位まで履修することができる。
- (2) 物理科学科、化学科及び地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各54単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の2第1項第2号・3号・4号又は第6条の2第2項第2号・3号・4号に該当する者は54単位まで履修することができる。

7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として50単位を超えてはならない。

8 医学部看護学科の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。

9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次55単位、第2年次55単位、第3年次31単位、第4年次33単位、第5年次36単位、第6年次37単位を超えてはならない。

10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。

11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。

第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、再度その学年の時間制の専門教育科目の全科目を受講し、受験しなければならない。その学年における時間制の専門教育科目の既得の全科目は、すべてこれを無効とする。

第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定に関わらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。

2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。ただし、上位年次への進級

又は卒業に関わるときは、教授会の承認を経て4単位までの登録を認めることがある。

第6条 人文学部ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、次に掲げる科目の単位を修得していなければ、以下の特定科目の登録を行うことはできない。

(1) ドイツ語学科の学科履修における条件

「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」及び各講読(3・4年次科目)を履修する者は、1年次の「ドイツ語ⅠA」(2単位)及び「ドイツ語ⅠB」(2単位)を修得していなければならない。

第6条の2 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

(1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次必修科目11単位並びに第2年次科目8単位を含む24単位以上。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(3) 化学科において、化学コースの学生は第2年次までの選択必修実験科目の10単位以上を含み、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。

(4) 地球圏科学科の学生は、第2年次までの全実験科目8単位を含み、共通教育科目及び専門教育科目について70単位以上。

2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の単位を修得していなければ、以下の第4年次開講科目の登録をすることはできない。

(1) 応用数学科応用数学コースの学生は、第3年次までの必修専門教育科目25単位、第3年次の選択必修科目16単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。ただし、選択必修科目16単位のなかには、第2群科目6単位以上を含まなければならない。

社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、第3年次までの必修専門教育科目27単位、第3年次の選択必修科目12単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

(2) 物理科学科において、物理科学コースの学生は、第3年次までの必修とする全実験科目、物理学基礎ゼミナール、物理科学研究Ⅰ、物理科学研究Ⅱの単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を、また、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は、第3年次までの必修とする全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。

(3) 化学科において、化学コースの学生は第3年次までの選択必修実験科目の12単位以上、第3年次の必修とする系別全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を、また、ナノサイエンス・インスティテュートコースの学生は第3年次までの必修とする全実験科目の単位及び外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。

(4) 地球圏科学科の学生は、選択必修とする実験科目(A・B・C群のいずれかの科目群)の8単位及び第3年次までの外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の卒業論文の登録をすることはできない。

第6条の3 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。



- (2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。
- (3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科、電子情報工学科、化学システム工学科、社会デザイン工学科は20単位まで、建築学科は18単位までとする。

第6条の4 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より6単位以上、自然科学より15単位以上、計21単位以上、外国語科目の第1外国語8単位、第2外国語4単位以上、計12単位以上、保健体育科目の2単位、基礎教育科目については8単位、専門教育科目6単位、合計49単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。

ただし、47単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次の各号に掲げる条件を満たしていなければならない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より8単位以上、必修の自然科学科目2単位、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計16単位以上、必修の専門基礎科目14単位、専門教育科目9単位、合計39単位以上を修得していなければ第2年次に進級できない。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学及び総合系列科目より12単位以上、自然科学より必修科目を含め4単位、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目について、1年次科目14単位、2年次科目8単位、計22単位、専門教育科目について、1年次科目9単位、2年次科目26単位、計35単位、合計81単位以上を修得していなければ第3年次に進級できない。
- (3) 第3年次前期においては、3年次前期に開講する必修の専門基礎科目4単位、専門教育科目12単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取消す。
- (4) 第3年次後期においては、共通教育科目について、総合教養科目として必修科目を含んで16単位以上、必修の外国語科目6単位、必修の保健体育科目2単位、計24単位以上、必修の専門基礎科目について、1年次科目14単位、2年次科目8単位、3年次科目4単位、計26単位、専門教育科目について、1年次科目9単位、2年次科目26単位、3年次科目26単位、計61単位、合計111単位以上を修得していなければ第4年次に進級できない。

第6条の5 薬学部の学生は、第1年次から第5年次のそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

- (1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より10単位、第1外国語より2単位を含んで計18単位以上、専門教育科目について、1年次科目より24単位以上、合計42単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第23条第2項第1号の規定に該当し編入学する者（以下「学士入学者」という。）は、共通教育科目については、合計18単位以上の修得を以って足りる。
- (2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、外国語科目より第1外国語6単位を含んで計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目24単位以上、2年次科目31単位以上、計55単位以上、合計81単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計26単位以上の修得を以って足りる。
- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位を含んで計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目24単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目21単位以上、計76単位以上、合計104単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位を含んで計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目24単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科



目21単位以上、4年次科目22単位以上、計98単位以上、合計126単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。

- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目より12単位、第1外国語8単位を含んで計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目24単位以上、2年次科目31単位以上、3年次科目21単位以上、4年次科目22単位以上、5年次科目34単位、計132単位以上、合計160単位以上を修得していなければならない。ただし、学士入学者は、共通教育科目については、合計28単位以上の修得を以って足りる。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

### 第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取消す。

受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

#### 卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の2、工学部は第5条と第6条の3、薬学部は第5条と第6条の5）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。